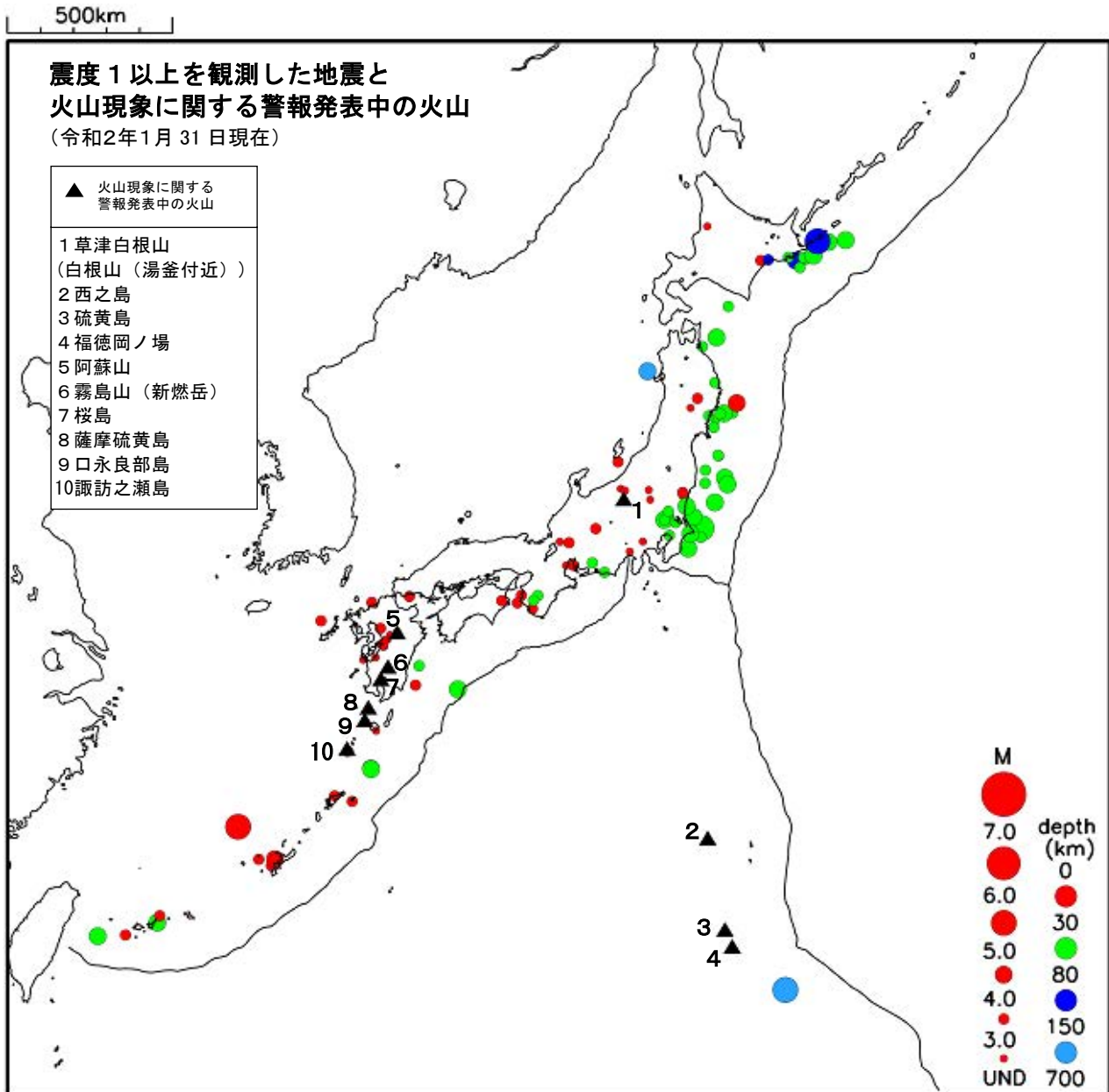


# 令和2年1月 地震・火山月報(防災編)

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

January 2020



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

## 利用にあたって

本書は、地震・火山に関連した各種防災情報や地震・火山活動に関する分析結果の最新版を防災機関等における効果的な利用に供するため、毎月刊行している。

気象庁では、平成9年(1997年)11月10日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体\*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成9年(1997年)10月1日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け\*\*、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

注\* 令和2年1月31日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市（北海道）、仙台市（宮城県）、千葉市（千葉県）、横浜市（神奈川県）、川崎市（神奈川県）、相模原市（神奈川県）、名古屋市（愛知県）、京都市（京都府）の47都道府県、8政令指定都市。

注\*\* 令和2年1月31日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県、温泉地学研究所及び気象庁のデータを基に作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを利用している。

### □本書利用上の注意

#### ・震央分布図中の語句について

M：マグニチュード（通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードの場合がある。）

Mw：モーメントマグニチュード（特にことわりがない限り、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードを表す。）

depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N=xx, yy/ZZ：図中に表示している地震の回数を表す（通常図の右肩上に示してある）。ZZ は回数の総数を表し、xx, yy は期間別に表示色を変更している場合に、期間毎の回数を表す。

#### ・発震機構解について

本書での発震機構解の図は下半球投影である。また、本書での発震機構解は、特にことわりがない限り、初動による発震機構解である。初動発震機構解が求められない場合や、十分な精度が得られない場合には、初動発震機構解に替えて CMT 解を掲載する場合がある。

#### ・発震機構解の図中の語句について

P：P 軸（圧力軸） T：T 軸（張力軸）

N：N 軸（中立軸）

#### ・Global CMT解について

Global CMT解は、米国のコロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震の CMT 解を求めるプロジェクト（Global CMT Project）により求められた解である。

#### ・M-T図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図であり、地震活動の経過を見るために用いる。

#### ・震央地名について

本書での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものをを用いるが、震央を精査した結果等により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報（防災編）」1月号の付録「地震・火山月報（防災編）で用いる震央地名」を参照のこと。

#### ・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

#### ・地震の震源要素等について

2016年4月1日以降の震源では、Mの小さな地震は、自動処理による震源を表示している場合がある。自動処理による震源は、震源誤差の大きなものが表示されることがある。

震源の深さを「CMT解による」とした場合は、気象庁 CMT 解のセントロイド（破壊の重心）の深さをを用いている。

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については、地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>]に掲載する。

#### ・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：[https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/bulletin/index\\_vcatalog.html](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/bulletin/index_vcatalog.html)]に掲載する。

#### ・本書で使用した地図等について

本書中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用した（承認番号 平 29 情使、第 798 号）。また、震央分布図等に表記した活断層は、地震調査研究推進本部の長期評価による。

・図版作成には一部 GMT (Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W. H. F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol. 79 (47), pp. 579, 1998]) を使用した。

## 目次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	6
東北地方の地震活動	8
関東・中部地方の地震活動	9
近畿・中国・四国地方の地震活動	13
九州地方の地震活動	14
沖縄地方の地震活動	15
その他の地域の地震活動	17
● 南海トラフ周辺の地殻活動	18
● 日本の主な火山活動	48
北海道地方の火山活動	58
東北地方の火山活動	60
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動	62
近畿・中国・四国地方の火山活動	66
九州地方の火山活動	67
沖縄地方の火山活動	70
火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴	71
● 世界の主な地震	73
● 世界の主な火山活動	75
● 付録	
1. 震度1以上を観測した地震の表	76
2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	93
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数	94
4. 長周期地震動階級1以上を観測した地震	95
5. 緊急地震速報の提供状況	97
6. 地震・火山月報（防災編）で用いる震央地名	100

## ● 日本及びその周辺での主な地震活動

2020 01 01 00:00 -- 2020 01 31 24:00

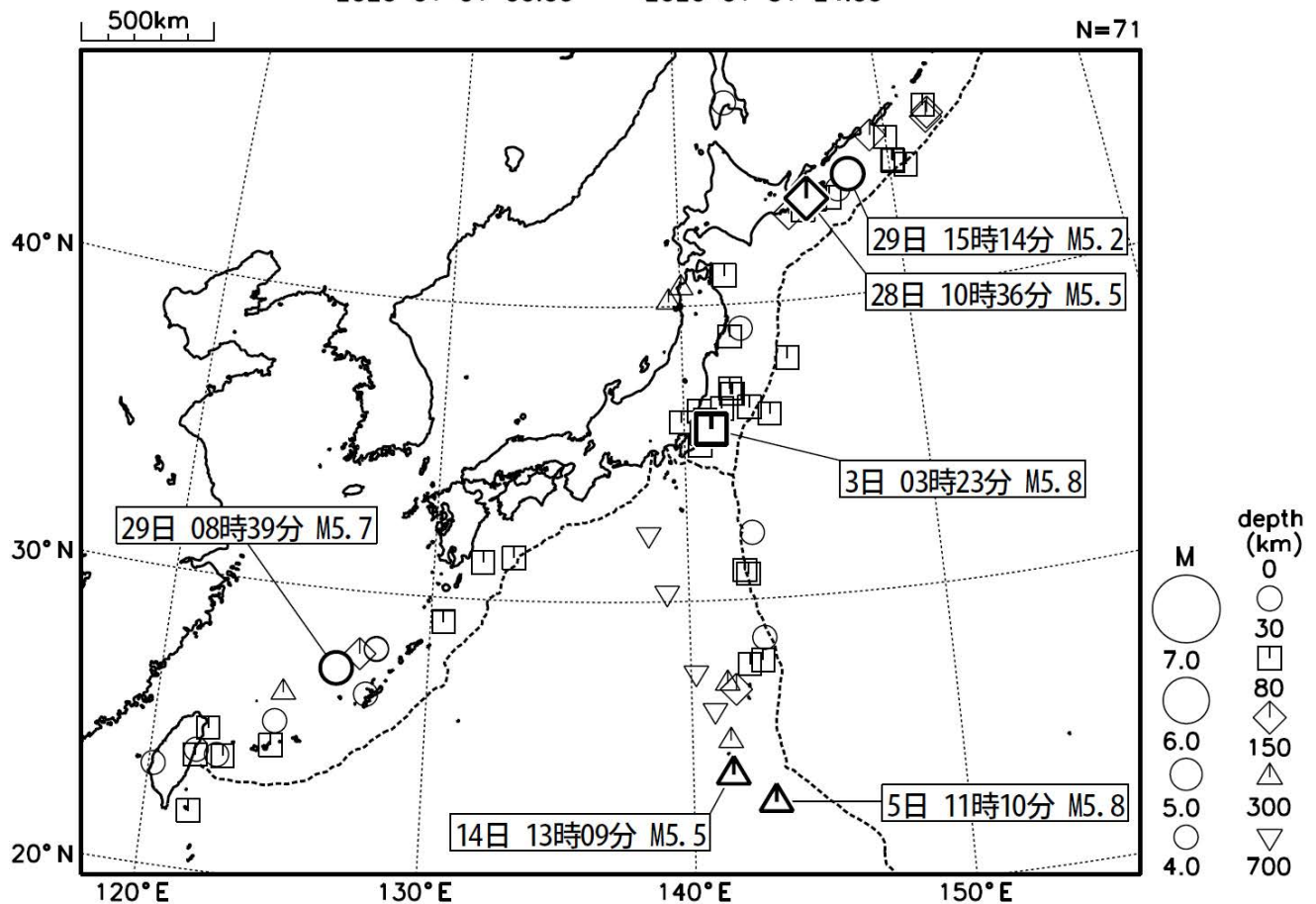


図1 令和2年1月に日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の震央分布図

(図中に日時分、マグニチュードを付した地震はM5.0以上の地震、またはM4.0以上で最大震度5弱以上を観測した地震である。)

令和2年(2020年)1月に日本国内で震度4以上を観測した地震は5回(2019年12月は6回)、日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の回数は71回(2019年12月は109回)であった(図1)。

1月中に発生した主な地震を表1、震度1以上を観測した地震の震央を図2、M4.0以上の地震の震央を図3に示す。1月中に震度5弱以上を観測した地震はなく、津波を観測した地震もなかった(2019年12月は震度5弱以上を観測した地震は2回あり、津波を観測した地震はなかった)。

# 令和2年1月 地震・火山月報（防災編）

表1 令和2年1月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注1）（注2）（注3）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	Mw (注4)	M H S T (注5)	最大震度・被害状況等（注6）	掲載 ページ
1	1 3 3 23	千葉県東方沖	5.8	5.7	・ ・ S ・	4：茨城県 神栖市溝口* 千葉県 銚子市川口町 銚子市若宮町* 長周期地震動階級1を観測 緊急地震速報（警報）を発表	4、10
2	1 14 4 53	茨城県南部	4.8	4.7	・ ・ S ・	4：茨城県 小美玉市上玉里* 筑西市舟生 栃木県 宇都宮市明保野町 宇都宮市旭* など4県12地点	4、11
3	1 16 18 36	沖縄本島近海	4.2	—	・ ・ S ・	4：沖縄県 恩納村恩納*	4、16
4	1 21 19 17	茨城県沖	4.2	—	・ ・ S ・	4：茨城県 東海村東海*	5、12
5	1 28 10 36	根室半島南東沖	5.5	5.4	・ ・ S ・	4：北海道 別海町常盤 別海町西春別* 根室市牧の内*	5、7

- （注1）主な地震とは、図1の領域内で発生した①M6.0以上、②震度4以上、③内陸M4.5以上かつ震度3、④海域M5.0以上かつ震度3、⑤その他注目した地震を指す。
- （注2）震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。
- （注3）空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない場合がある。
- （注4）Mw欄の「—」はMwが求められていないことを示す。
- （注5）M H S Tの各項目について、M:M6.0以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度4以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。
- （注6）最大震度の観測点名にある\*印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。

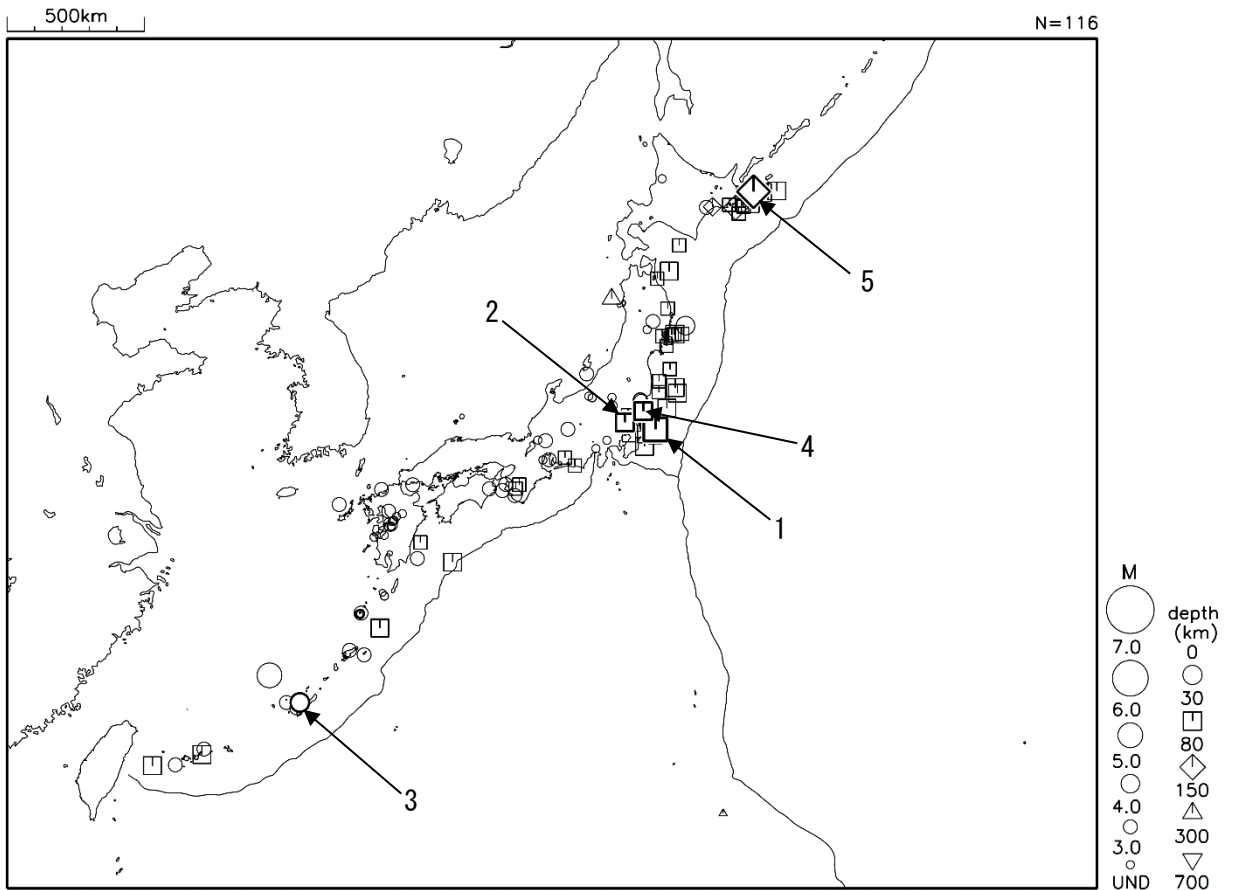


図2 令和2年1月に震度1以上を観測した地震（図中の番号は、表の番号に対応）

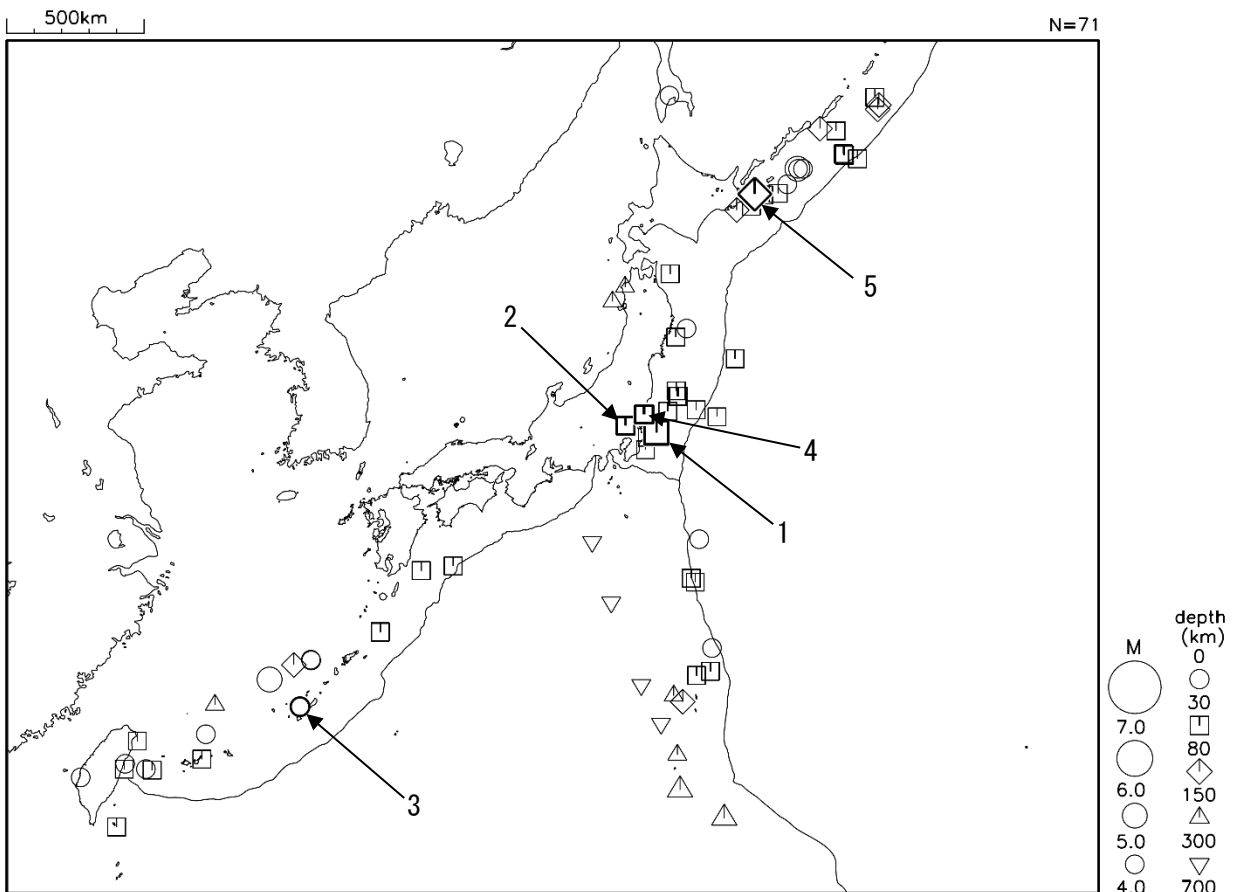
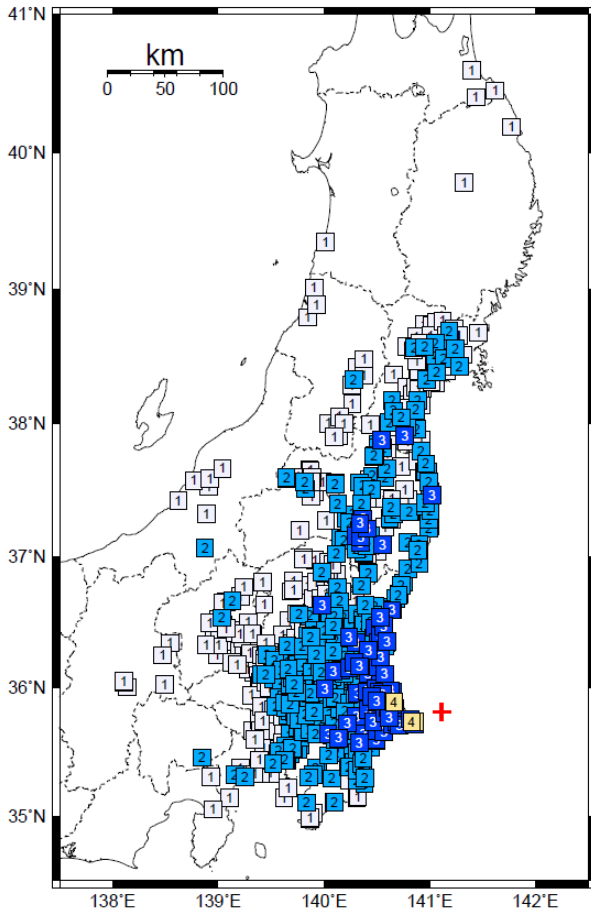
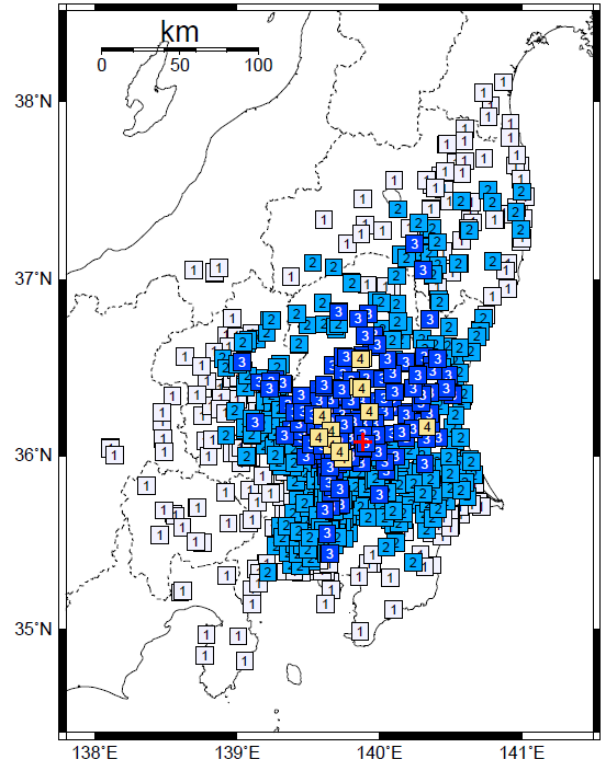


図3 令和2年1月に発生したM4.0以上の地震（図中の番号は、表の番号に対応）

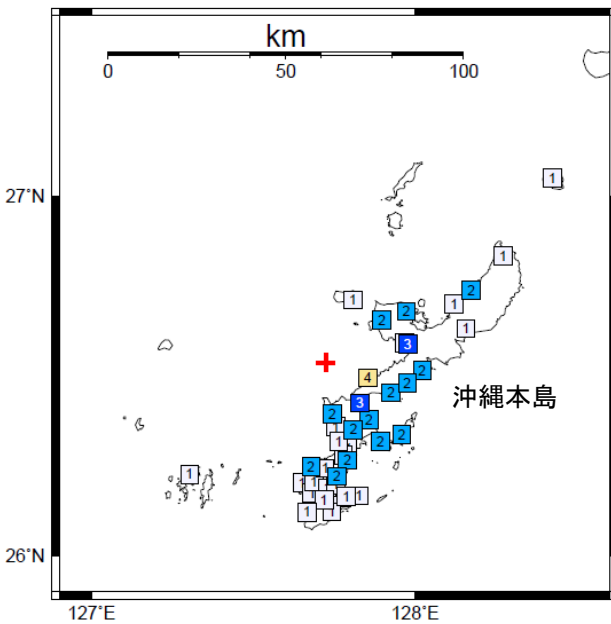
1 1月3日03時23分 千葉県東方沖  
(M5.8、深さ34km、最大震度4)



2 1月14日04時53分 茨城県南部  
(M4.8、深さ46km、最大震度4)



3 1月16日18時36分 沖縄本島近海  
(M4.2、深さ14km、最大震度4)



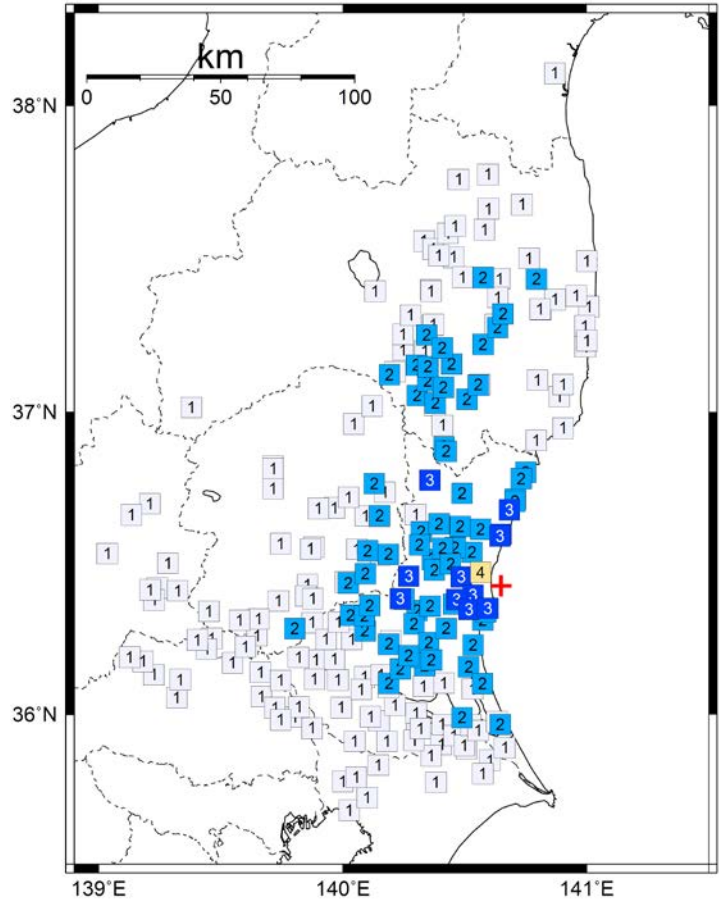
震度分布図 凡例	
4	震度4
3	震度3
2	震度2
1	震度1

図4 震度分布図（続く）  
（各図の左上の数字は表1、図2、図3の番号に対応する。+印は震央を示す）

※その他の地震の震度分布図については、気象庁HPの震度データベース  
(<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>) をご覧ください。

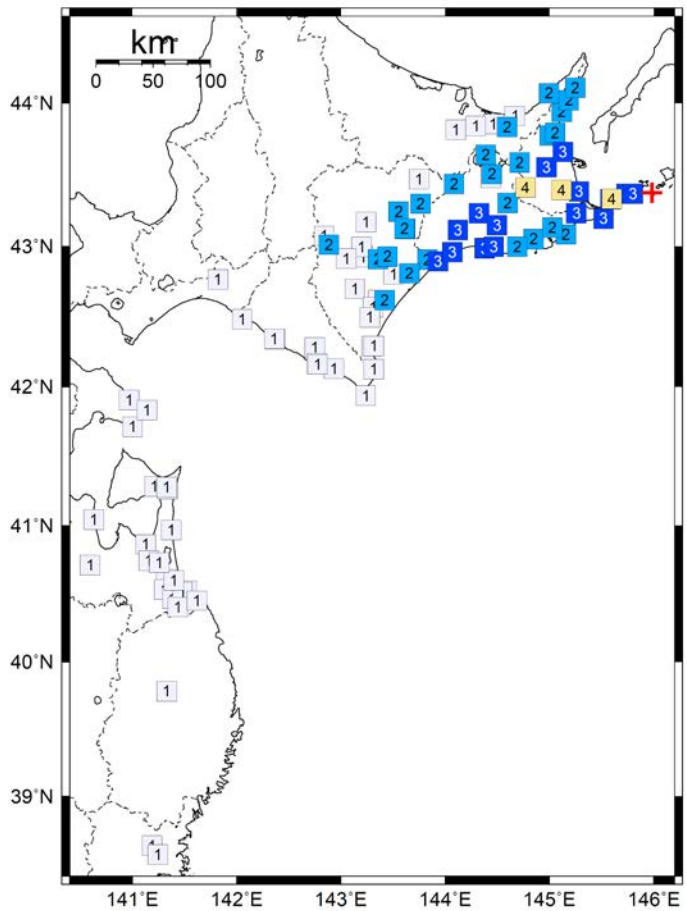
4

1月21日19時17分 茨城県沖  
(M4.2、深さ53km、最大震度4)



5

1月28日10時36分 根室半島南東沖  
(M5.5、深さ96km、最大震度4)



震度分布図 凡例	
4	震度 4
3	震度 3
2	震度 2
1	震度 1

図4 震度分布図（続き）  
(各図の左上の数字は表1、図2、図3の番号に対応する。+印は震央を示す)



## ○北海道地方の地震活動

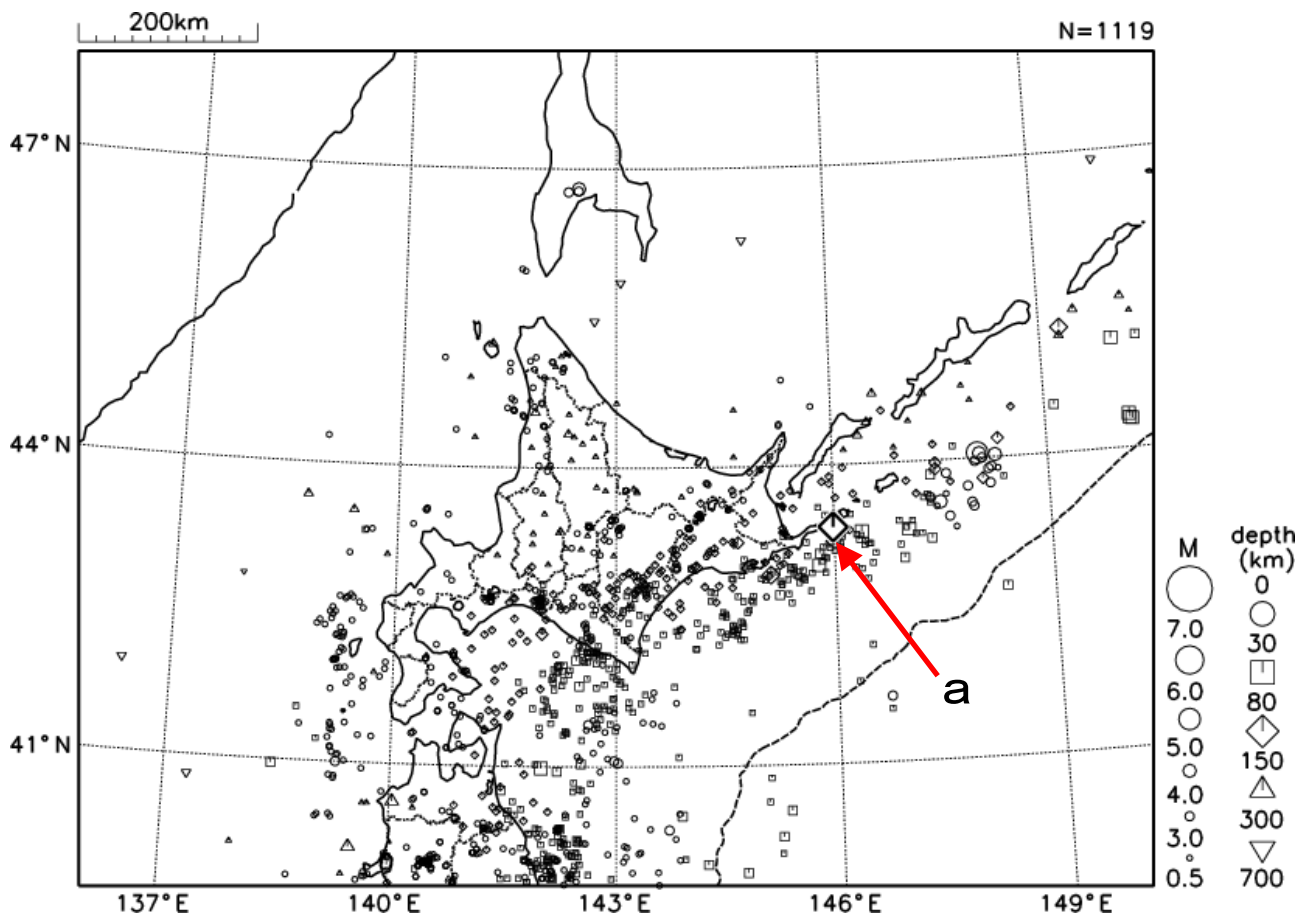


図5 北海道地方の震央分布図（2020年1月1日～1月31日、 $M \geq 0.5$ ）

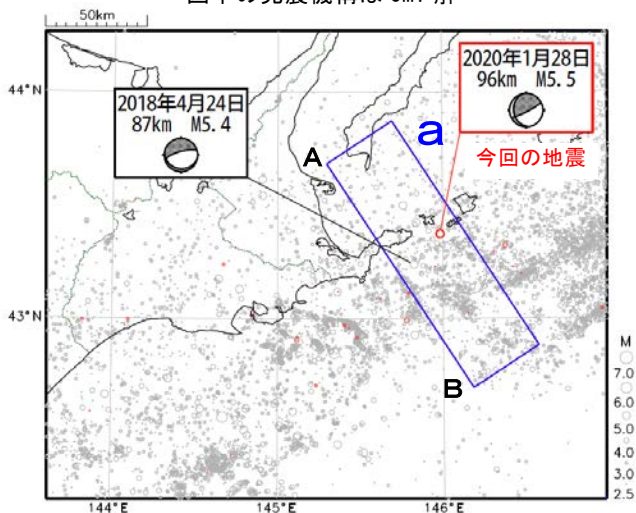
### 〔概況〕

1月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は15回（2019年12月は23回）であった。1月中の主な地震活動は次のとおりである。

28日10時36分に根室半島南東沖の深さ96kmでM5.5の地震（図5中のa）が発生し、北海道根室市、別海町で震度4を観測したほか、北海道、青森県、岩手県、宮城県で震度3～1を観測した（p. 5、7参照）。

## 1月28日 根室半島南東沖の地震

震央分布図  
 (2001年10月1日～2020年1月31日、  
 深さ0～150km、 $M \geq 2.5$ )  
 2020年1月の地震を赤で表示  
 図中の発震機構はCMT解

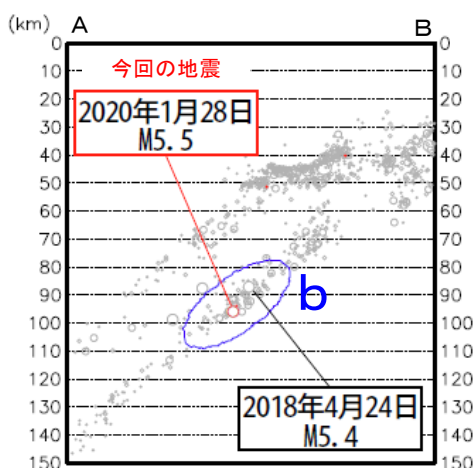


2020年1月28日10時36分に根室半島南東沖の深さ96kmでM5.5の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が南北方向に張力軸を持つ型で、太平洋プレート内部（二重地震面の下面）で発生した。

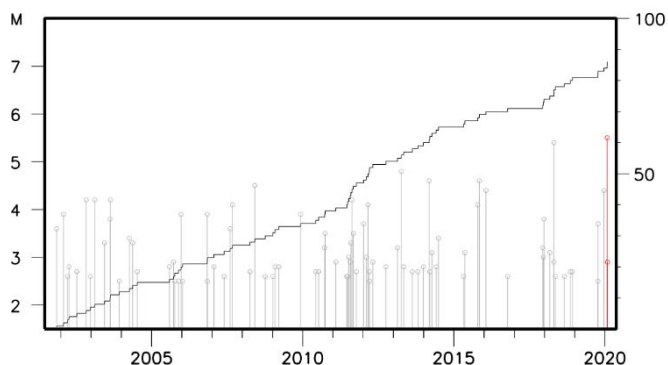
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、2018年4月24日にM5.4の地震（最大震度4）が発生した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M7.0以上の地震が4回発生している。最大規模の地震は「1973年6月17日根室半島沖地震」（M7.4、最大震度5）で、北海道では負傷者28人、住家被害5,153棟などの被害が生じ、根室市花咲で280cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測した（「昭和48・49年災害記録 北海道」による）。

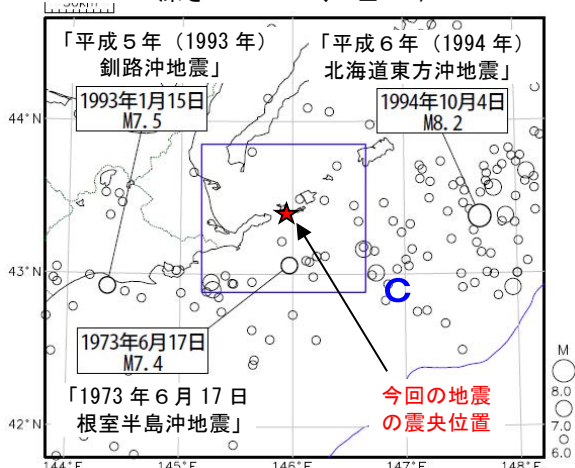
領域a内の断面図（A-B投影）



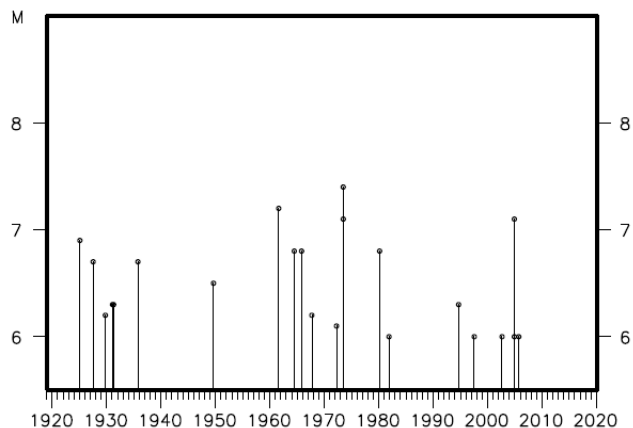
領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図  
 (1919年1月1日～2020年1月31日、  
 深さ0～200km、 $M \geq 6.0$ )



領域c内のM-T図



## ○東北地方の地震活動

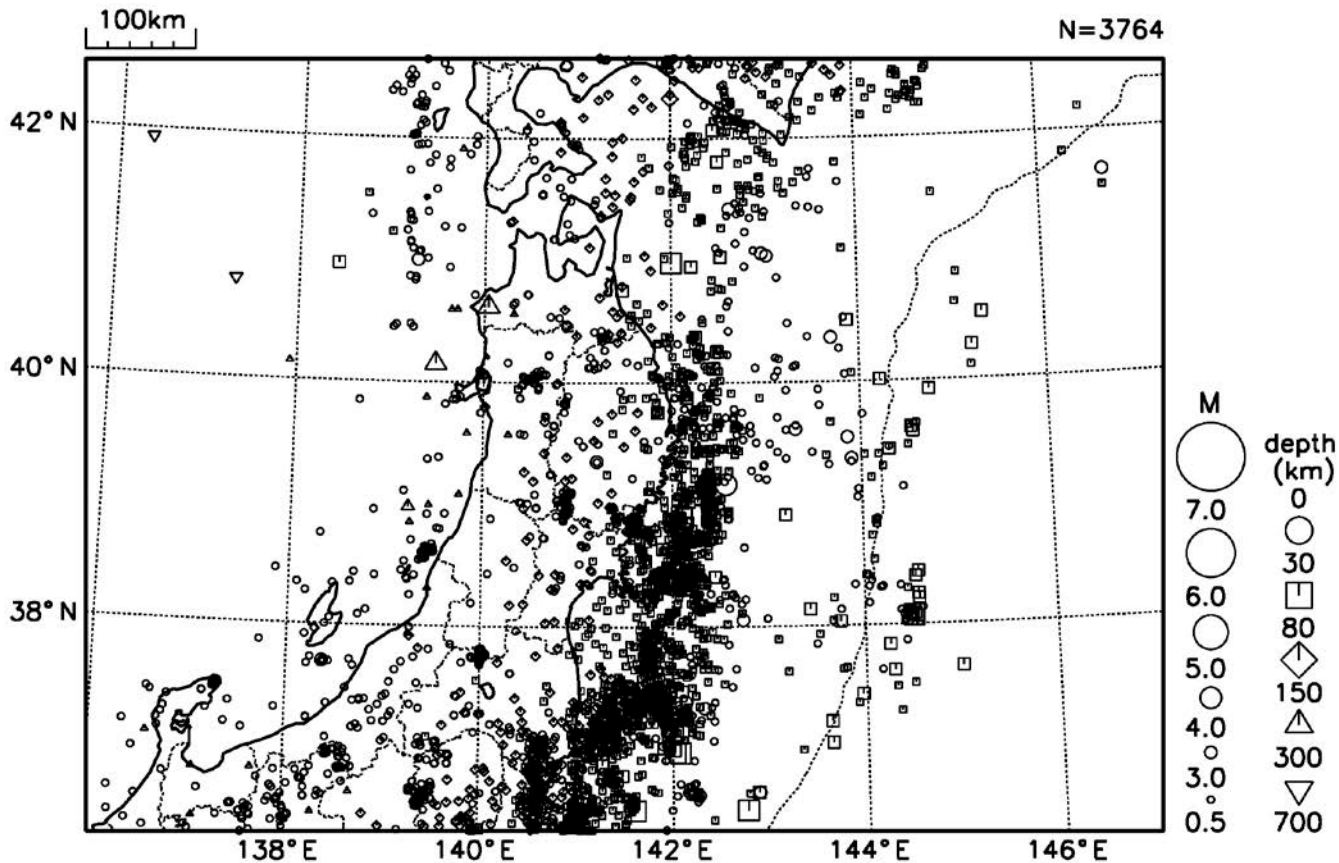


図6 東北地方の震央分布図（2020年1月1日～1月31日、M $\geq$ 0.5）

### [概況]

1月に東北地方で震度1以上を観測した地震は30回（2019年12月は45回）であった。  
1月中、特に目立った活動はなかった。

## ○関東・中部地方の地震活動

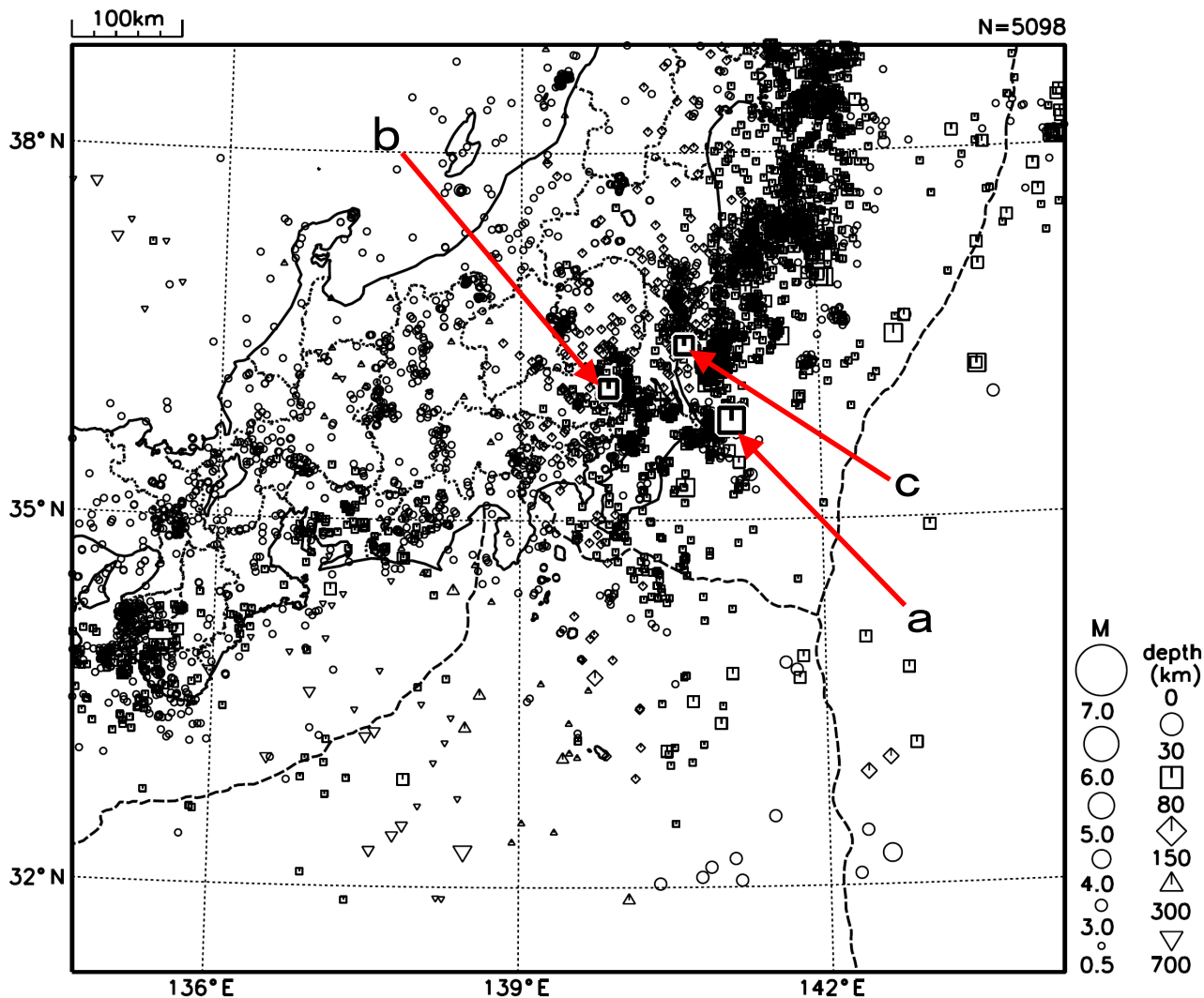


図7 関東・中部地方の震央分布図（2020年1月1日～1月31日、 $M \geq 0.5$ ）

### 〔概況〕

1月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は40回（2019年12月は46回）であった。

1月中の主な活動は次の通りである。

3日03時23分に千葉県東方沖の深さ34kmでM5.8の地震（図7中のa）が発生し、茨城県神栖市及び千葉県銚子市で震度4を観測したほか、東北地方、関東甲信越地方及び静岡県で震度3～1を観測した（p.4、10参照）。

21日19時17分に茨城県沖の深さ53kmでM4.2の地震（図7中のc）が発生し、茨城県東海村で震度4を観測したほか、関東地方及び東北地方南部で震度3～1を観測した（p.5、12参照）。

14日04時53分に茨城県南部の深さ46kmでM4.8の地震（図7中のb）が発生し、茨城県、栃木県、群馬県及び埼玉県で震度4を観測したほか、東北地方、関東甲信越地方及び静岡県で震度3～1を観測した（p.4、11参照）。

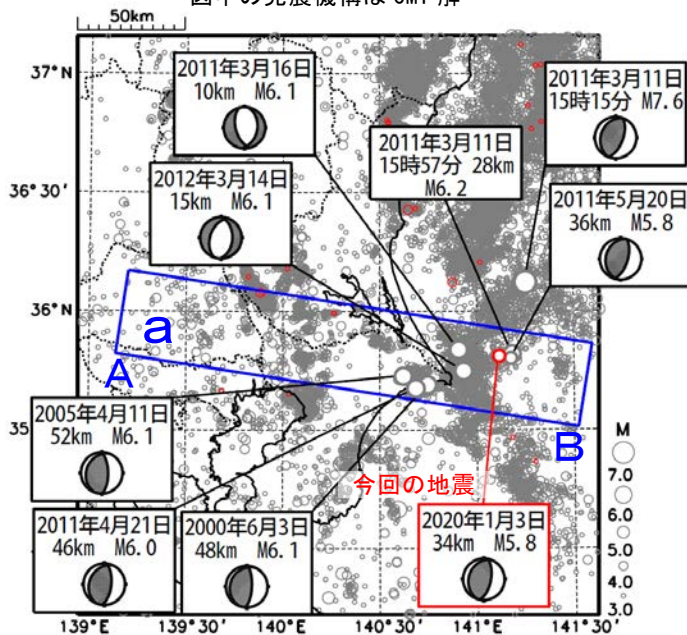
## 1月3日 千葉県東方沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2020年1月31日、  
深さ0～150km、 $M \geq 3.0$ )

2020年1月の地震を赤く表示

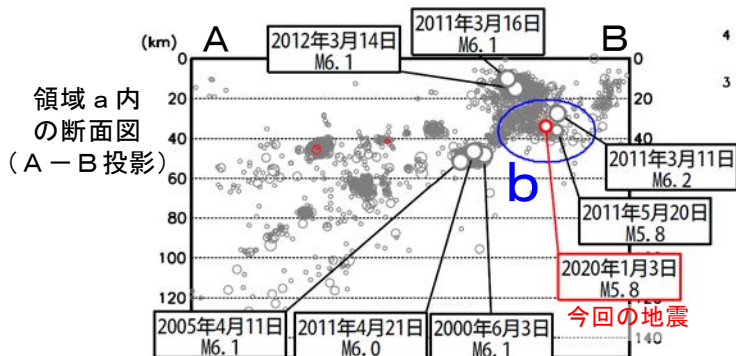
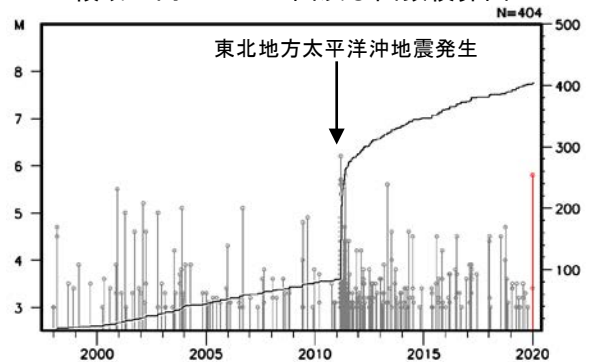
図中の発震機構はCMT解



2020年1月3日03時23分に千葉県東方沖の深さ34kmで $M 5.8$ の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、 $M 5.0$ 以上の地震が時々発生している。「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」(以下、「東北地方太平洋沖地震」と記す)の発生後は、2011年3月11日15時57分に $M 6.2$ の地震(最大震度4)が発生するなど、地震活動が一時的に活発になった。

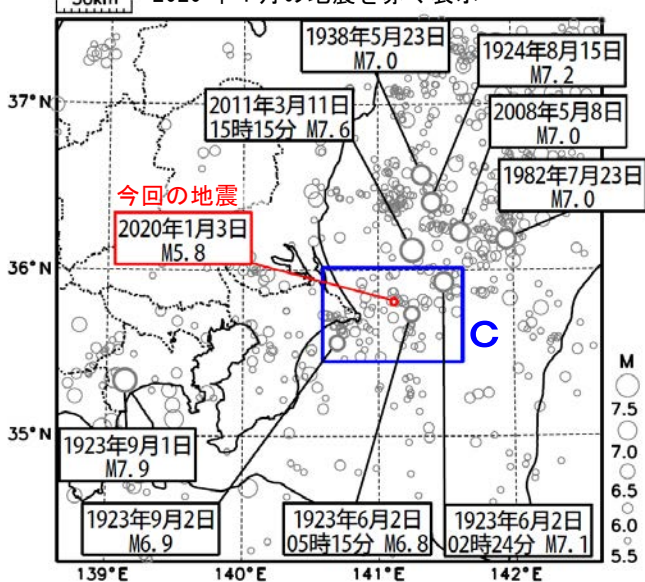
領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図

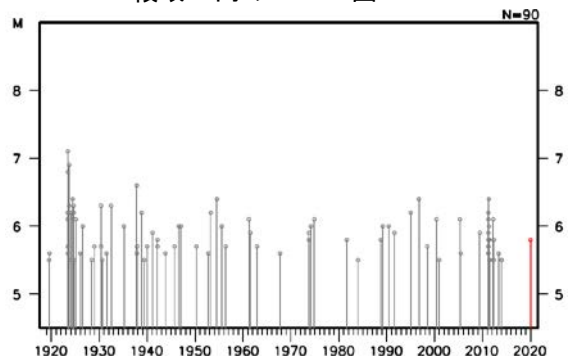
(1919年1月1日～2020年1月31日、  
深さ0～100km、 $M \geq 5.5$ )

2020年1月の地震を赤く表示



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生している。1923年6月2日02時24分の $M 7.1$ の地震では、鮎川で32cm(最大全振幅)の津波を観測した(「日本被害津波総覧」による)。また、この領域の北側では2011年3月11日15時15分に $M 7.6$ の地震(「東北地方太平洋沖地震」の最大余震、最大震度6強)が発生している。

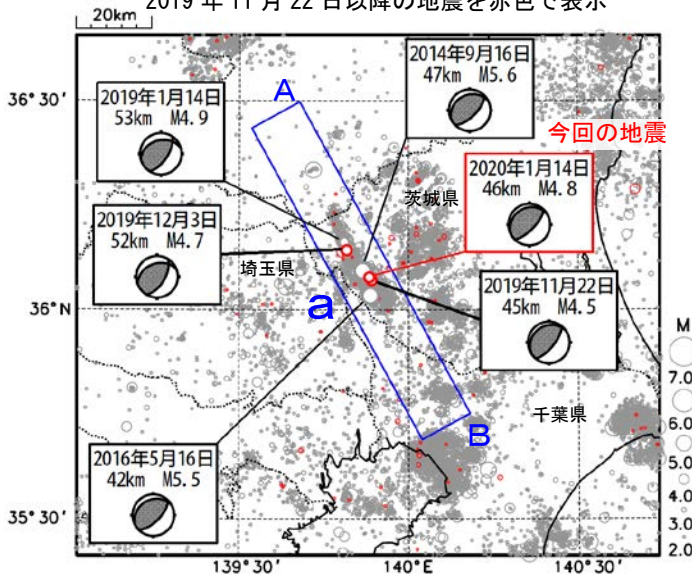
領域c内のM-T図



# 1月14日 茨城県南部の地震

震央分布図

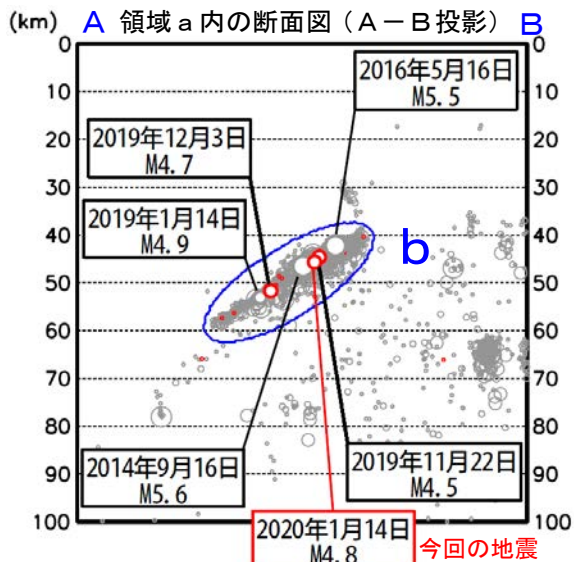
(1997年10月1日～2020年1月31日、  
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$ )  
2019年11月22日以降の地震を赤色で表示



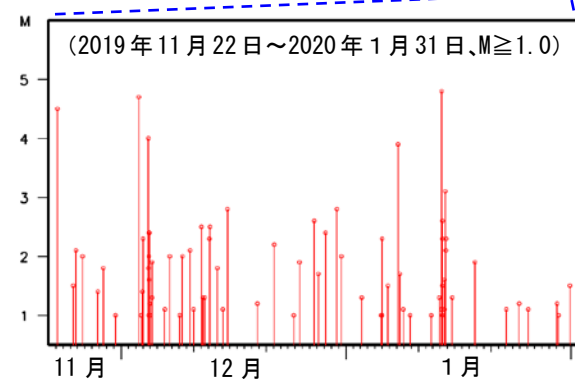
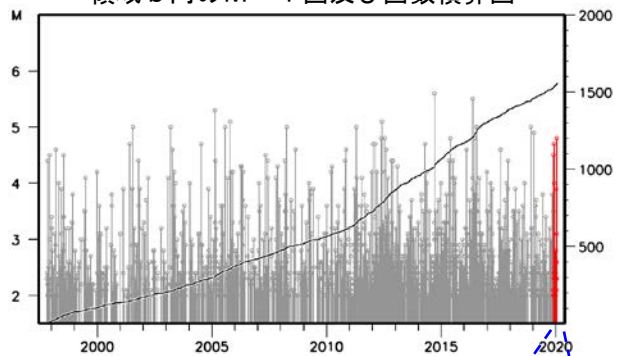
2020年1月14日04時53分に茨城県南部の深さ46kmで $M 4.8$ の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、発震機構が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）は活動が活発な領域で、最近では2019年11月22日に $M 4.5$ の地震（最大震度3）が発生した。また、今回の地震の発生場所の近くでは、2014年9月16日に $M 5.6$ の地震（最大震度5弱）が発生し、負傷者10人、住家一部破損1,060棟等の被害を生じた（総務省消防庁による）。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、 $M 6.0$ 程度の地震がまれに発生している。

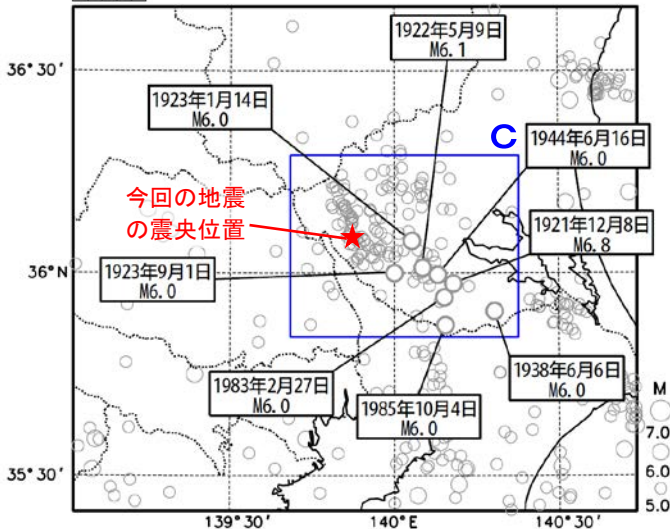


領域b内のM-T図及び回数積算図

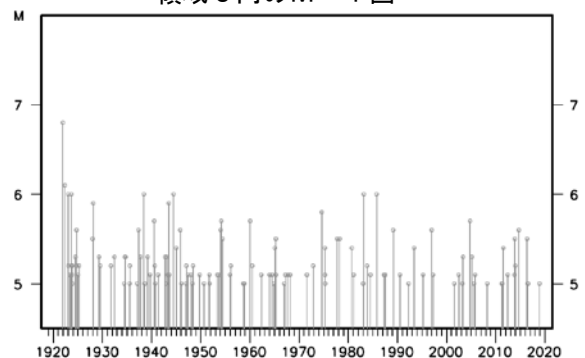


震央分布図

(1919年1月1日～2020年1月31日、  
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$ )

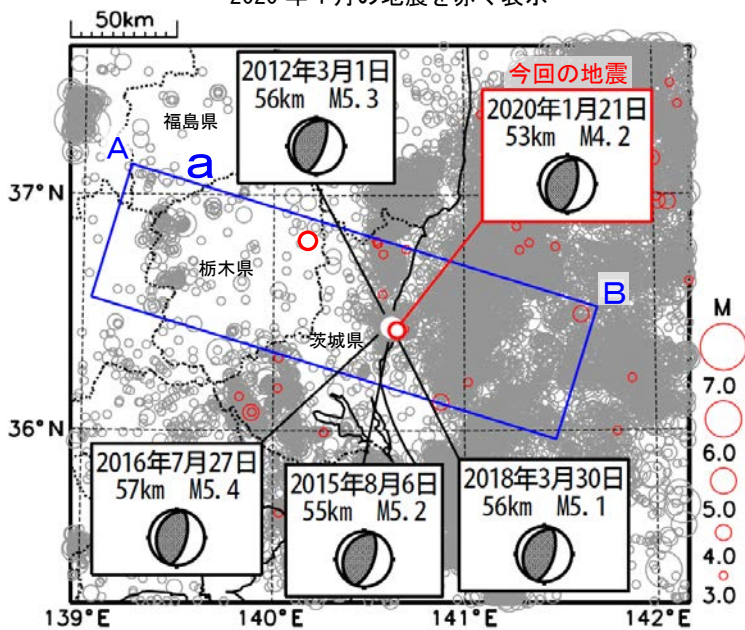


領域c内のM-T図



# 1月21日 茨城県沖の地震

震央分布図  
(1997年10月1日～2020年1月31日、  
深さ0～150km、 $M \geq 3.0$ )  
2020年1月の地震を赤く表示

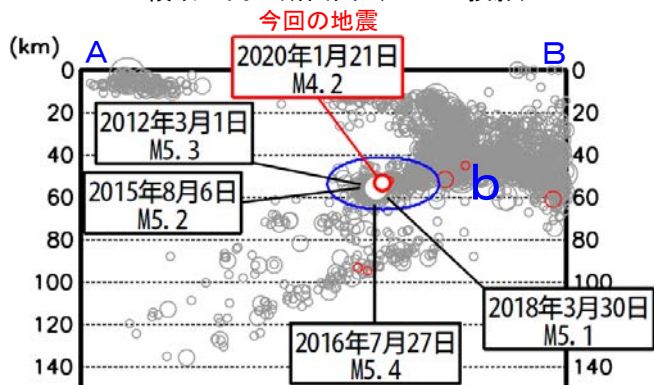


2020年1月21日13時25分に茨城県沖の深さ53kmでM4.2の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は発震機構が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

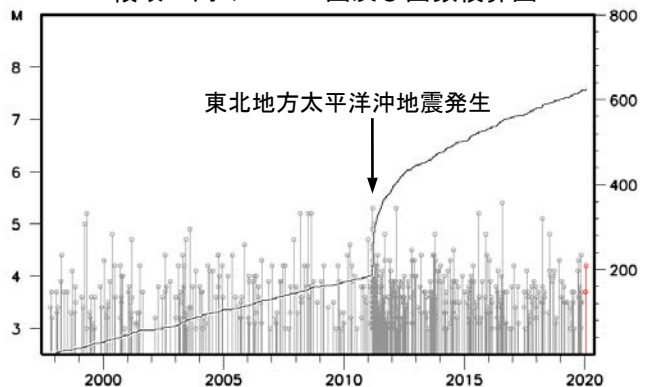
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) は、M5.0以上の地震が時々発生している。東北地方太平洋沖地震の発生以降、活動がより活発になっており、2012年3月1日にはM5.3の地震 (最大震度5弱)、2016年7月27日にはM5.4の地震 (最大震度5弱) が発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近 (領域c) では、M5.0以上の地震が度々発生しており、このうち、1930年6月1日に発生したM6.5の地震 (最大震度5) では、がけ崩れ、煙突倒壊などの被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。

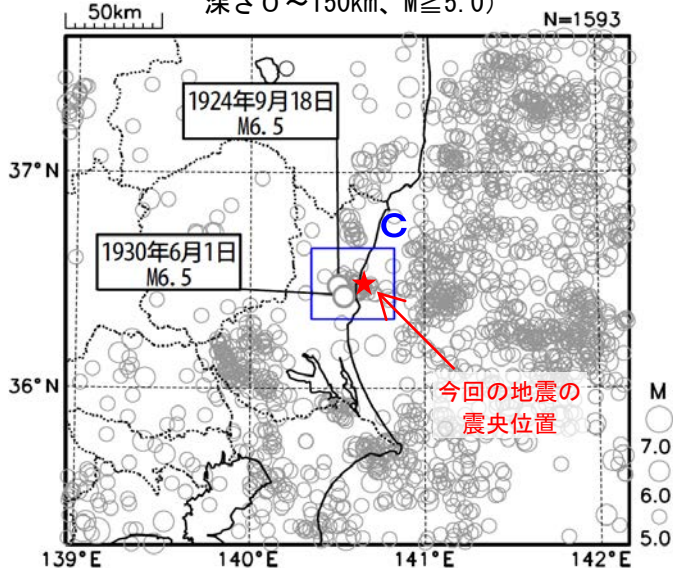
領域a内の断面図 (A-B投影)



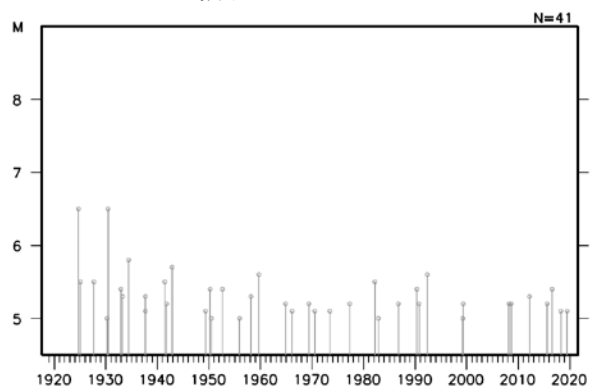
領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図  
(1919年1月1日～2020年1月31日、  
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$ )



領域c内のM-T図



## ○近畿・中国・四国地方の地震活動

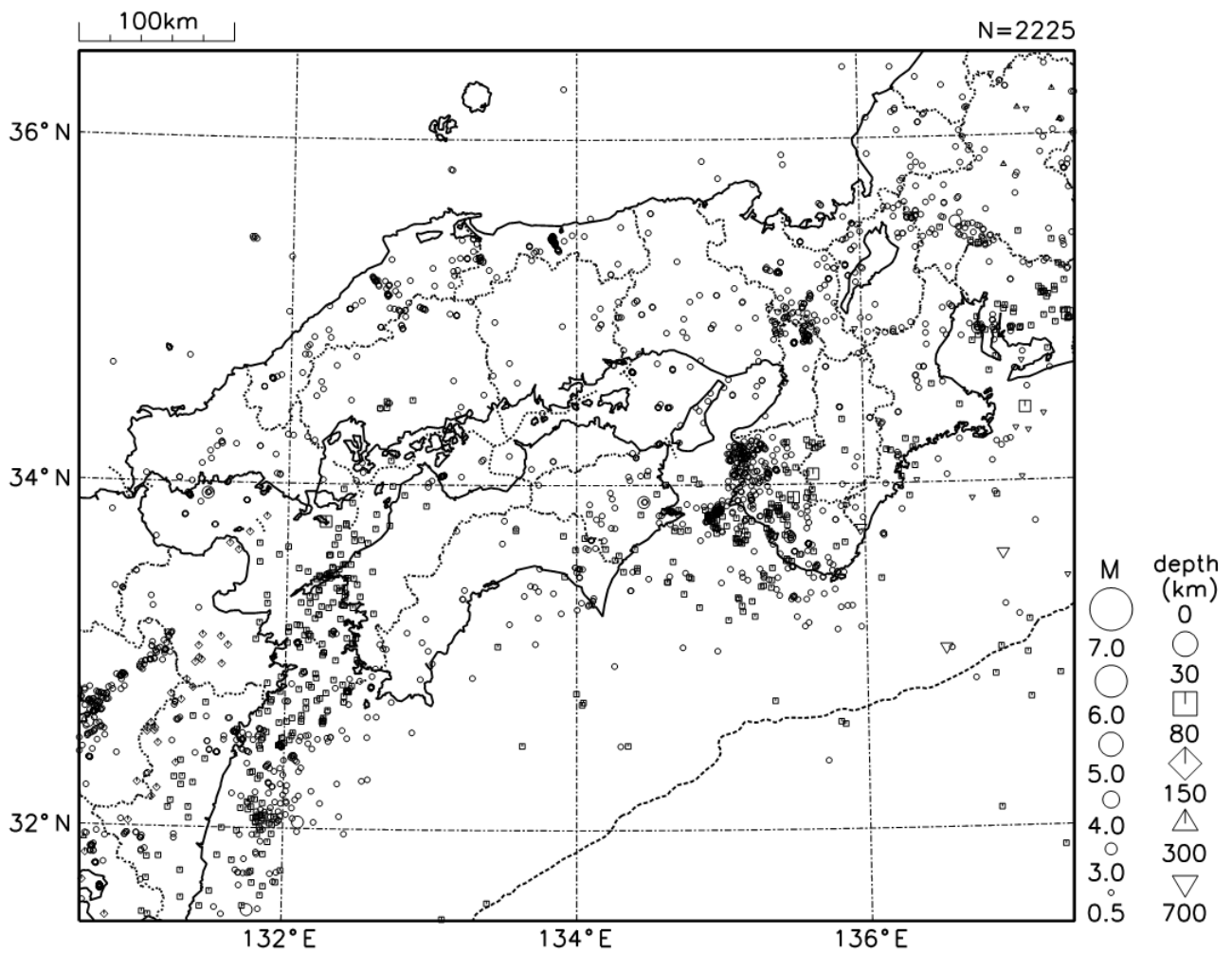


図8 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2020年1月1日～1月31日、 $M \geq 0.5$ ）

### [概況]

1月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は9回（2019年12月は9回）であった。

1月中、特に目立った活動はなかった。



## ○九州地方の地震活動

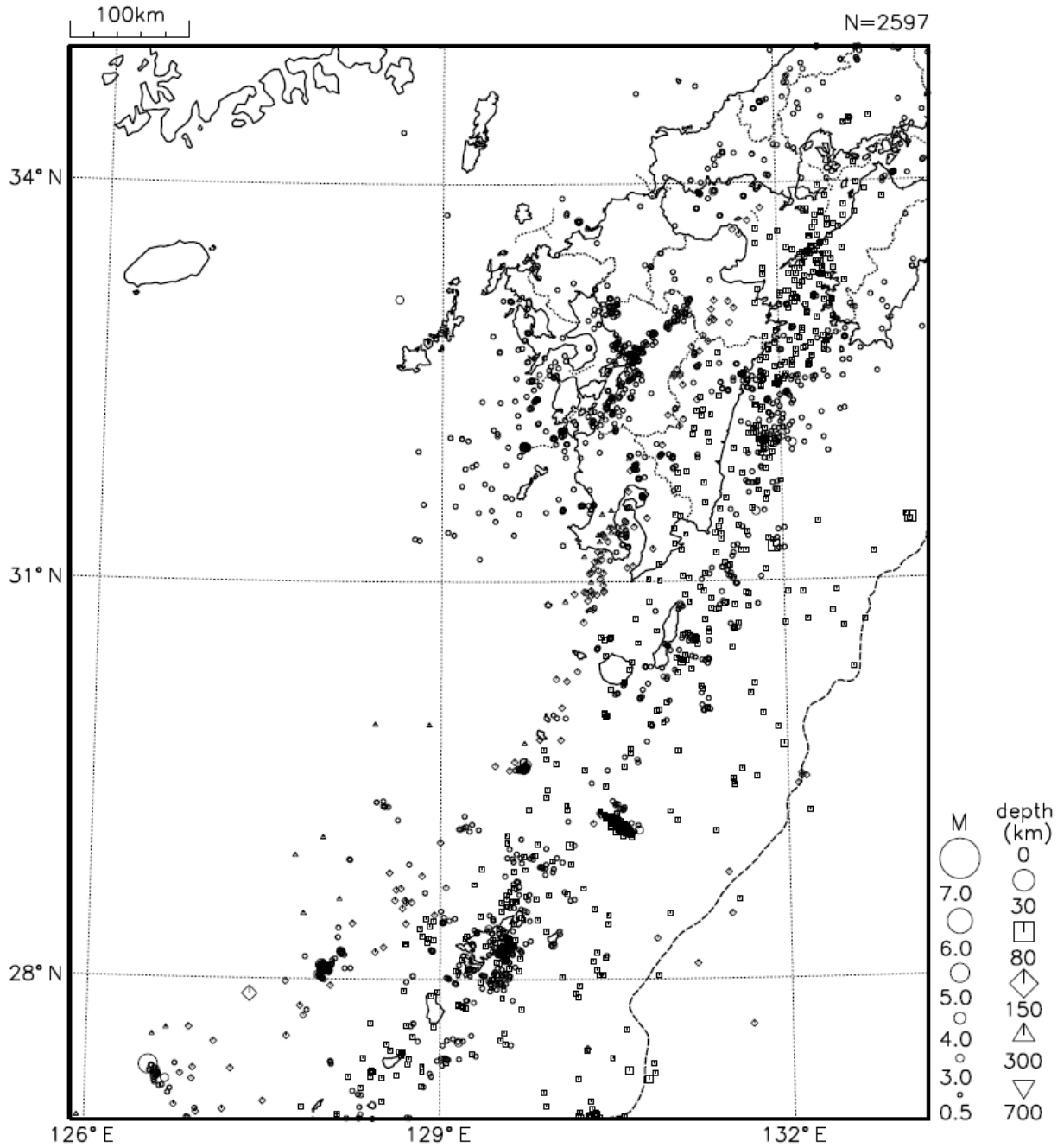


図9 九州地方の震央分布図（2020年1月1日～1月31日、M $\geq$ 0.5）

[概況]

1月に九州地方で震度1以上を観測した地震は33回（2019年12月は30回）であった。1月中、特に目立った活動はなかった。

## ○沖縄地方の地震活動

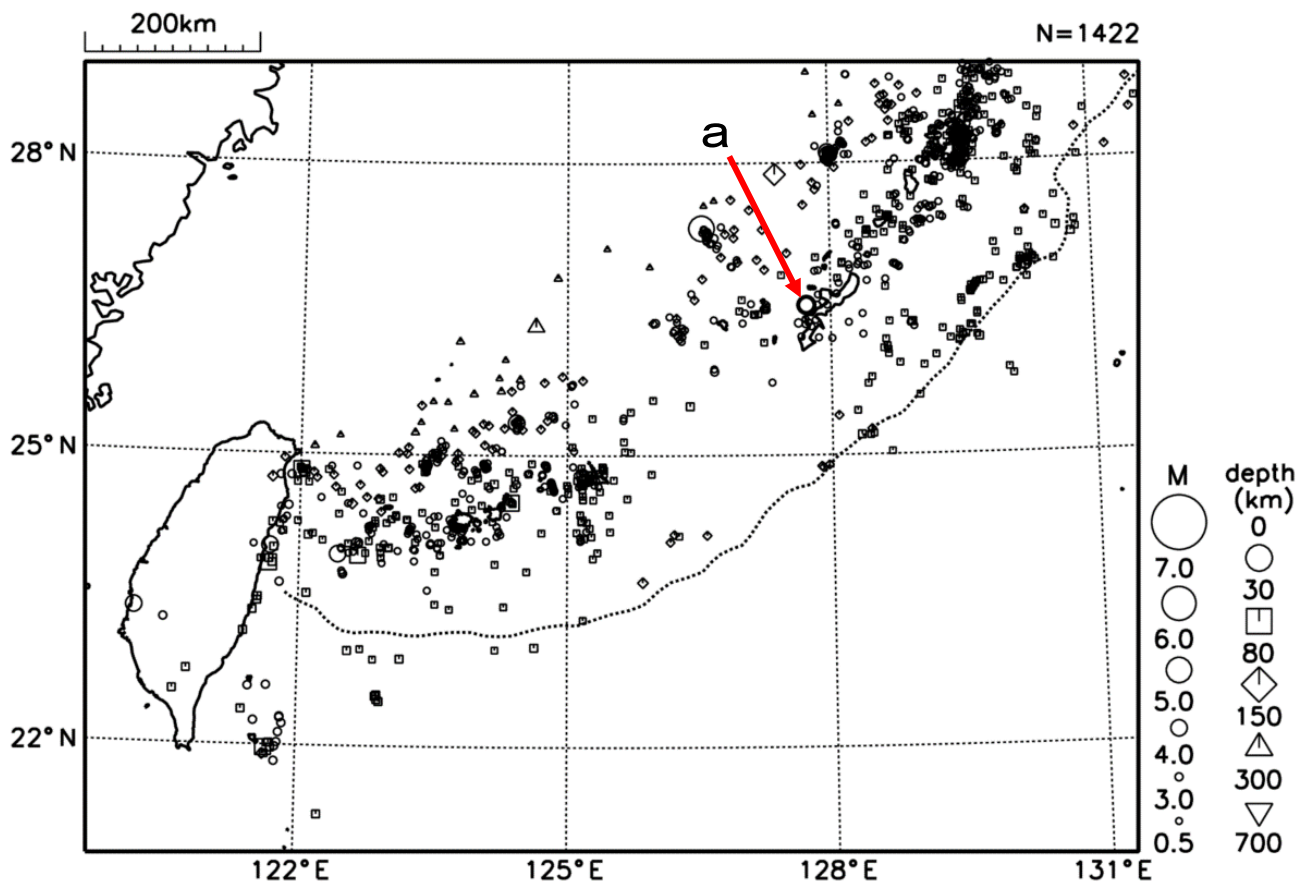


図10 沖縄地方の震央分布図（2020年1月1日～1月31日、 $M \geq 0.5$ ）

### [概況]

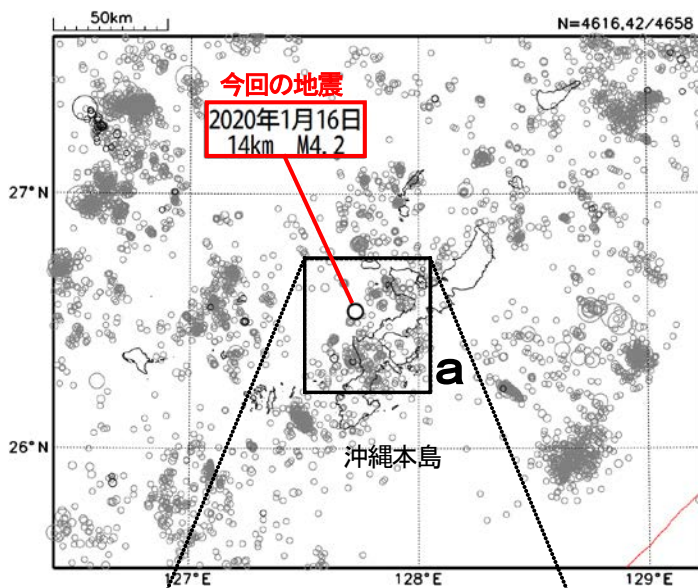
1月に沖縄地方で震度1以上を観測した地震は9回（2019年12月は13回）であった。1月中の主な活動は次のとおりである。

16日18時36分に沖縄本島近海の深さ14kmでM4.2の地震（図10中のa）が発生し、沖縄県恩納村で震度4を観測したほか、沖縄本島、その周辺離島及び鹿児島県（与論島）で震度3～1を観測した（p. 4、16参照）。

# 1月16日 沖縄本島近海の地震

震央分布図

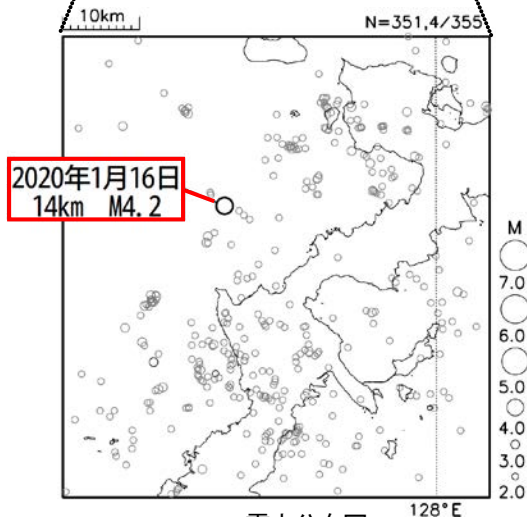
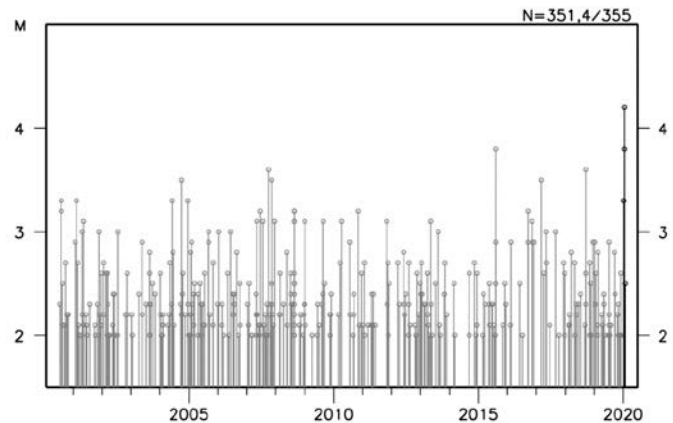
(2000年7月1日～2020年1月31日、  
深さ0km～30km、 $M \geq 2.0$ )  
2020年1月の地震を濃く表示



2020年1月16日18時36分に沖縄本島近海の深さ14kmで $M 4.2$ の地震（最大震度4）が発生した。この地震は陸のプレートの地殻内で発生した。

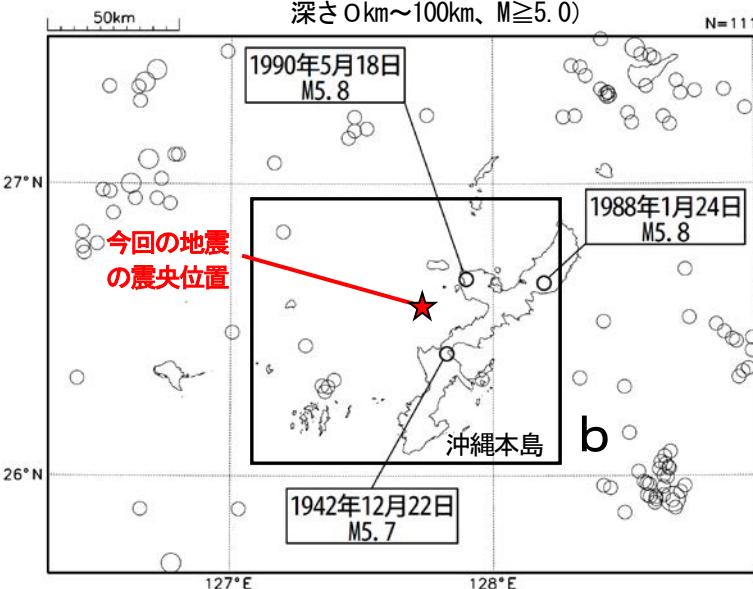
2000年7月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では $M 3.0$ 程度の地震は時々発生しているが、 $M 4.0$ 以上の地震は今回が初めてである。

領域a内のM-T図



震央分布図

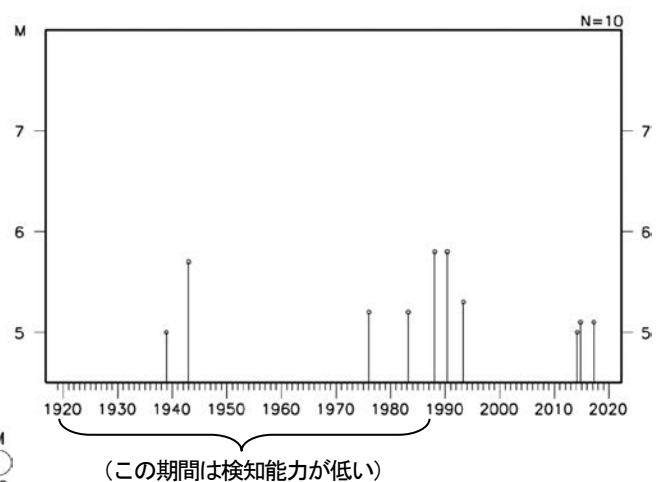
(1919年1月1日～2020年1月31日、  
深さ0km～100km、 $M \geq 5.0$ )



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、 $M 5.0$ 以上の地震が時々発生している。

最近では1990年5月18日に $M 5.8$ の地震（最大震度3）が発生し、約2万世帯が停電した（地震予知連絡会会報第45巻による）。

領域b内のM-T図



## ○その他の地域の地震活動

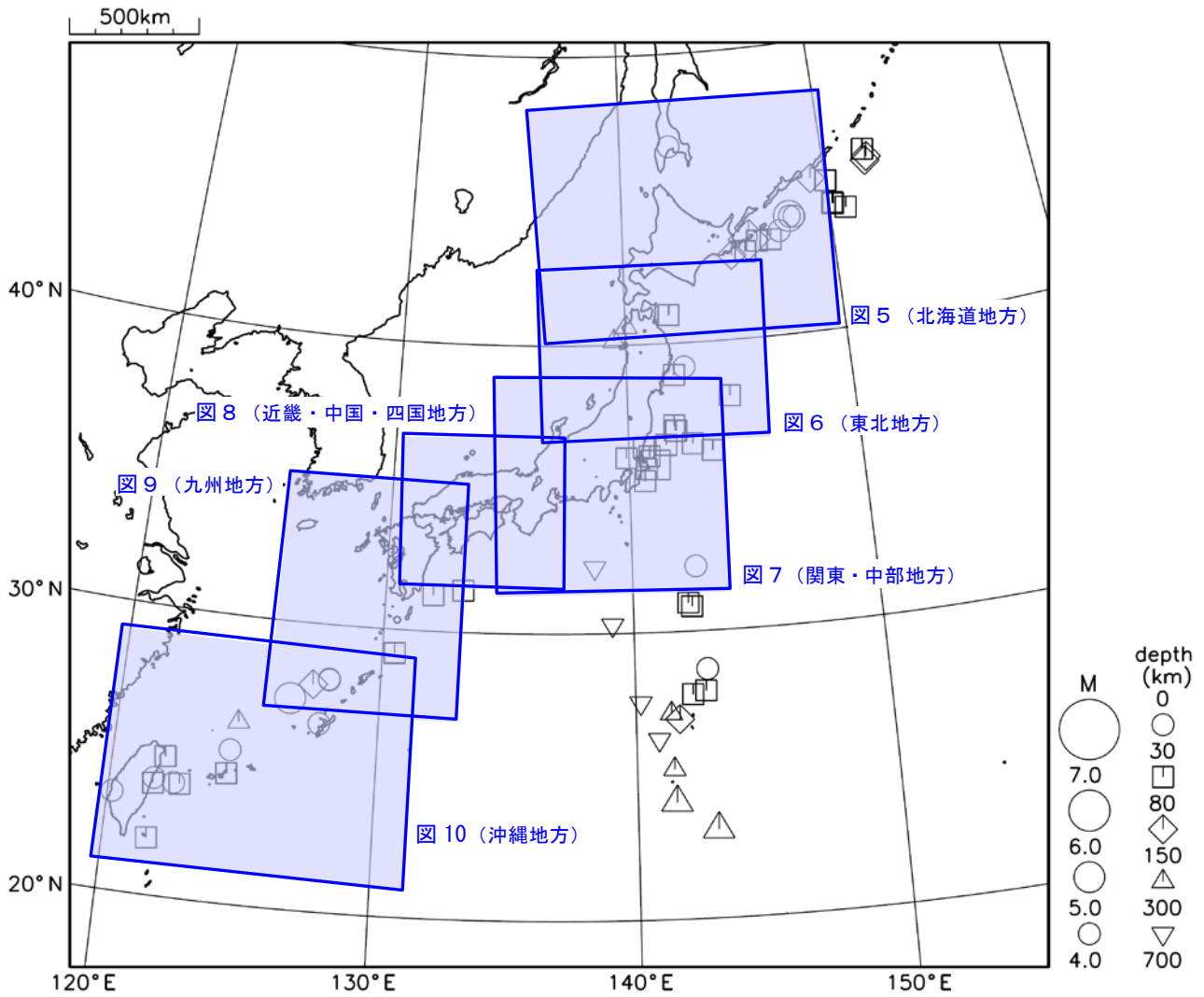


図 11 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図（2020年1月1日～1月31日、 $M \geq 4.0$ ）

### [概況]

1月に日本周辺で発生したM6.0以上の地震はなかった（2019年12月は1回）。

1月中に図5～10の領域外で特に目立った活動はなかった。

## ● 南海トラフ周辺の地殻活動

令和2年2月7日に気象庁において第28回南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、第406回地震防災対策強化地域判定会（定例）を開催し、気象庁は「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として次の内容の南海トラフ地震関連解説情報を発表した。これに関連する資料をp.20～47に掲載する。

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時<sup>(注)</sup>と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

（注）南海トラフ沿いの大規模地震（M8～M9クラス）は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率が70～80%であり、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から既に70年以上が経過していることから切迫性の高い状態です。

### 1. 地震の観測状況

（顕著な地震活動に関する現象）

南海トラフ周辺では、特に目立った地震活動はありませんでした。

（ゆっくりすべりに関係する現象）

プレート境界付近を震源とする深部低周波地震（微動）のうち、主なものは以下のとおりです。

- （1）四国東部から中部：12月27日から1月9日
- （2）東海：1月11日から14日

### 2. 地殻変動の観測状況

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（1）、（2）の深部低周波地震（微動）とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計でわずかな地殻変動を観測しました。また、周辺の傾斜データでも、わずかな変化が見られています。

2018年秋頃から四国西部のGNS S観測及びひずみ観測で観測されていた、それまでの傾向とは異なる地殻変動は、収束したとみられます。

GNS S観測によると、2019年4月頃から紀伊半島西部・四国東部でそれまでの傾向とは異なる地殻変動を観測しています。

（長期的な地殻変動）

GNS S観測等によると、御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺では長期的な沈降傾向が継続しています。

### 3. 地殻活動の評価

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（1）、（2）の深部低周波地震（微動）と地殻変動は、想定震源域のプレート境界深部において発生した短期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。

2018年秋頃からの四国西部の地殻変動は、豊後水道周辺のプレート境界深部における長期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。この長期的ゆっくりすべりは、すでに停止していると考えられます。

2019年4月頃からの紀伊半島西部・四国東部の地殻変動は、紀伊水道周辺のプレート境界深部における長期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。

これらの深部低周波地震（微動）、短期的ゆっくりすべり、及び長期的ゆっくりすべりは、それぞれ、従来からも繰り返し観測されてきた現象です。

（長期的な地殻変動）

御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺で見られる長期的な沈降傾向はフィリピン海プレートの沈み込みに伴うもので、その傾向に大きな変化はありません。

上記観測結果を総合的に判断すると、南海トラフ地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは得られておらず、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

【「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」についての頁で使われる用語】

・「想定震源域」

南海トラフ沿いの大規模地震発生時に、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が破壊されると想定される領域。「想定震源域」全体もしくは一部が破壊されたと考えられている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」

地震は時間空間的に群（クラスタ：cluster）をなして起きることが多くある。「本震とその後起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。例えば、相互の震央間の距離が3km以内で、相互の発生時間差が7日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が1つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくりすべり（長期的スロースリップ）」

想定震源域の深部で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が数ヶ月～数年間かけてゆっくりとすべる現象で、数年～十年程度の間隔で繰り返し発生していると考えられている。例えば、東海地域では、前々回は2000年秋頃～2005年夏頃にかけて発生し、前回は2013年はじめ頃から2017年はじめ頃にかけて発生した。

・「深部低周波地震（微動）」

深さ約30km～40kmで発生する、通常の地震より長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、P波やS波が明瞭ではなく震動が継続するもので、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。

・「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」

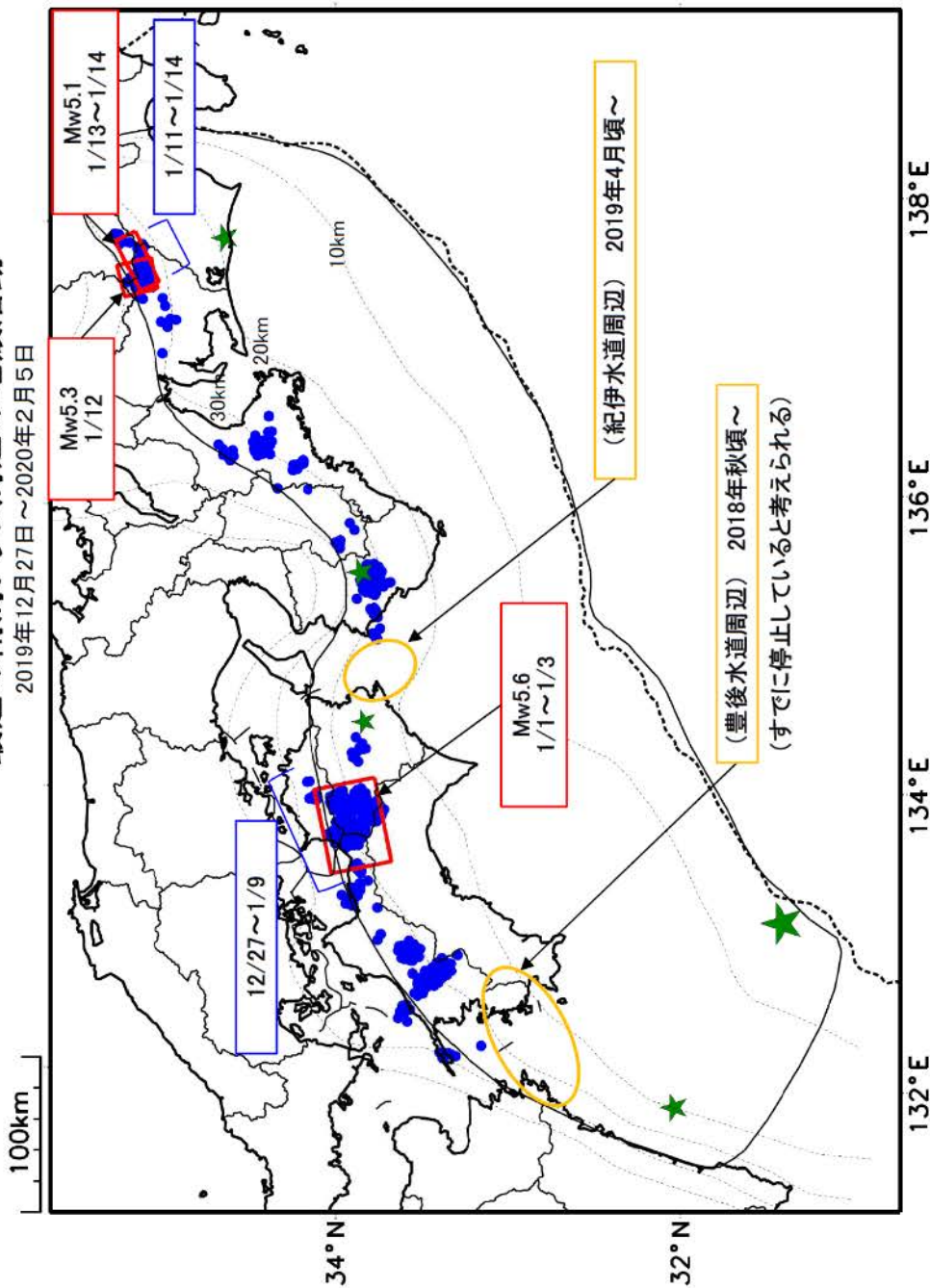
「短期的ゆっくりすべり」は、長期的ゆっくりすべりが発生する領域のさらに深部の、深部低周波地震（微動）の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震（微動）活動が観測されることが多い。短期的ゆっくりすべりは、数ヶ月から1年程度の間隔で繰り返し発生している。

注）地震活動および地殻活動の解析にはHirose et al. (2008)、Baba et al. (2002)によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として取りまとめ南海トラフ地震関連解説情報を発表している。

### 最近の南海トラフ周辺の地殻活動

2019年12月27日～2020年2月5日



- 緑(★) 通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上)
- 青(●) 深部低周波地震(微動)
- 赤(□) 短期的ゆっくりすべり
- 黄(○) 長期的ゆっくりすべり

※地図中の点線は、Hirose et al.(2008), Baba et al.(2002)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。

※M5.0以上の地震に吹き出しを付けている。

通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上)……………気象庁の解析結果による。  
 深部低周波地震(微動)……………(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)防災科学技術研究所及び気象庁の解析結果による。  
 短期的ゆっくりすべり……………【東海】気象庁の解析結果による。【四国東部から四国中部】産業技術総合研究所の解析結果による。  
 長期的ゆっくりすべり……………【豊後水道周辺、紀伊水道周辺】国土地理院の解析結果を元におよその場所を表示している。

気象庁作成

令和2年1月1日～令和2年2月5日の主な地震活動

○南海トラフ巨大地震の想定震源域およびその周辺の地震活動：

【最大震度3以上を観測した地震もしくはM3.5以上の地震及びその他の主な地震】

月/日	時:分	震央地名	深さ (km)	M	最大 震度	発生場所
1/5	21:25	四国沖	-	4.4	1	フィリピン海プレート内部
1/20	08:46	和歌山県南部	52	3.5	2	フィリピン海プレート内部
1/22	18:52	徳島県南部	3	3.1	3	地殻内
1/23	06:09	日向灘	33	3.6	1	フィリピン海プレート内部
1/23	16:13	静岡県西部	34	3.7	2	フィリピン海プレート内部

※震源の深さは、精度がやや劣るものは表記していない。

※太平洋プレートの沈み込みに伴う震源が深い地震は除く

○深部低周波地震（微動）活動期間

四国	紀伊半島	東海
<p>■四国東部</p> <p><b>12月28日～1月8日<sup>注1)</sup>...</b>(1)</p> <p>1月10日～12日</p> <p>1月16日</p> <p>1月19日～20日</p> <p>1月25日～26日</p> <p>2月5日～（継続中）</p> <p>■四国中部</p> <p>1月3日～5日</p> <p>1月12日</p> <p>1月28日</p> <p>■四国西部</p> <p>12月28日～1月6日</p> <p>1月8日</p> <p>1月11日～12日</p> <p>1月17日～18日</p> <p>1月26日</p> <p>1月30日～31日</p> <p>2月3日～4日</p>	<p>■紀伊半島北部</p> <p>1月1日</p> <p>1月4日～6日</p> <p>1月17日</p> <p>1月20日</p> <p>1月22日</p> <p>1月27日～29日</p> <p>2月5日～（継続中）</p> <p>■紀伊半島中部</p> <p>2月5日～（継続中）</p> <p>■紀伊半島西部</p> <p>1月4日</p> <p>1月7日</p> <p>1月9日</p> <p>1月15日～17日</p> <p>1月20日～21日</p> <p>1月30日～2月1日</p>	<p>1月9日</p> <p><b>1月11日～14日</b>・・・(2)</p> <p>1月19日</p>

※深部低周波地震（微動）活動は、気象庁一元化震源を用い、地域ごとの一連の活動（継続日数2日以上または活動日数1日の場合で複数個検知したもの）について、活動した場所ごとに記載している。

※ひずみ変化と同期して観測された深部低周波地震（微動）活動を赤字で示す。

※上の表中（1）（2）を付した活動は、今期間、主な深部低周波地震（微動）活動として取り上げたものの。

注1）防災科学技術研究所による解析では、12月27日から1月9日頃に四国東部から四国中部にかけて活発な微動活動が見られた。

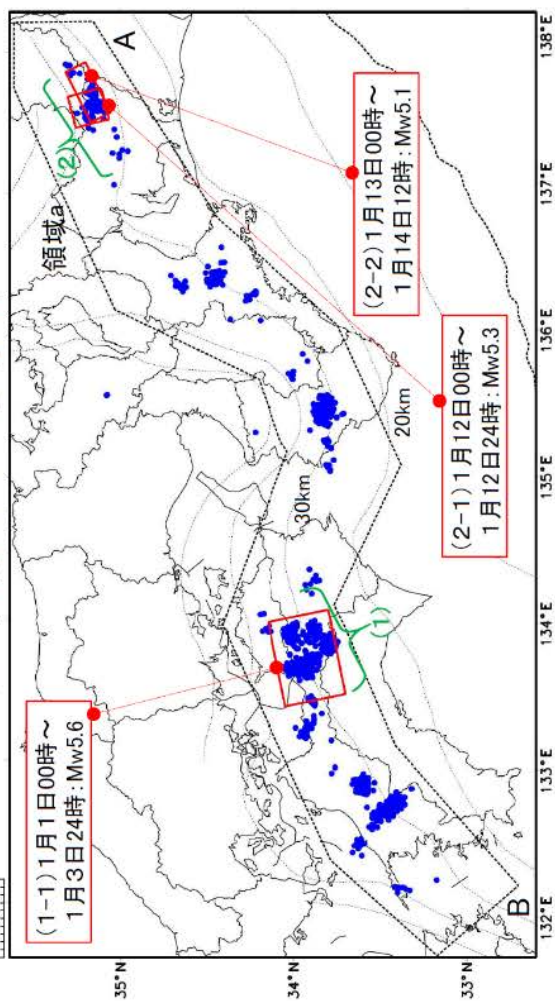
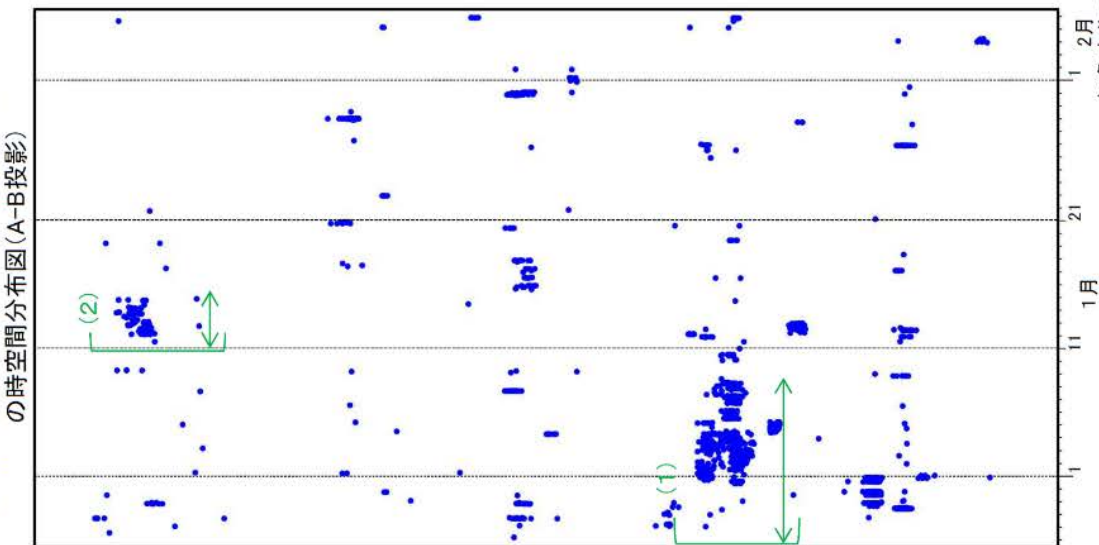
気象庁作成



# 深部低周波地震（微動）活動と短期的ゆっくりすべりの全体概要

領域a（点線矩形）内の深部低周波地震（微動）の時空間分布図（A-B投影）

深部低周波地震（微動）の震央分布図と短期的ゆっくりすべりの断層モデル  
（2019年12月27日～2020年2月5日）



主な深部低周波地震（微動）活動と短期的ゆっくりすべり

活動場所	深部低周波地震（微動）活動の活動の期間	短期的ゆっくりすべりの期間と規模
(1) 四国東部から中部	12月27日～1月9日	(1-1) 1月1日00時～1月3日24時: Mw5.6
(2) 東海	1月11日～1月14日	(2-1) 1月12日00時～1月12日24時: Mw5.3 (2-2) 1月13日00時～1月14日12時: Mw5.1

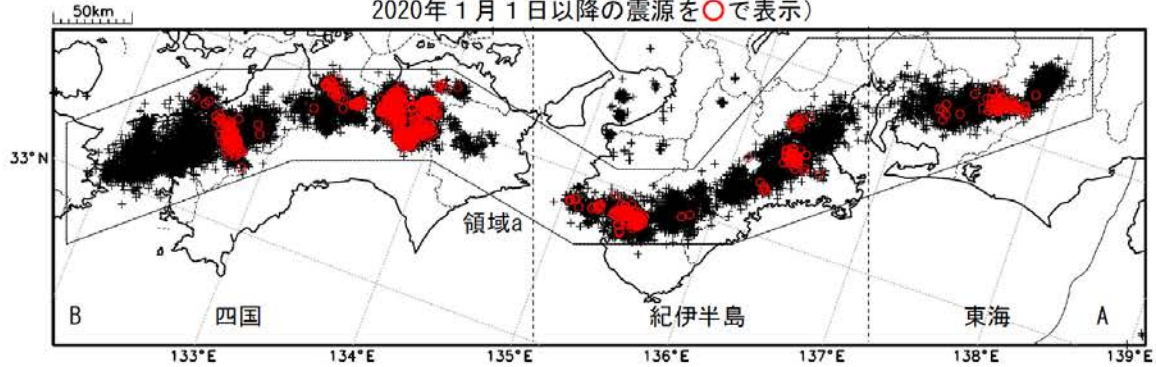
●: 深部低周波地震（微動）活動 震央（気象庁の解析結果を示す）  
 期間 (1)は防災科学技術研究所の、(2)は気象庁の解析結果を示す  
 □: 短期的ゆっくりすべりの断層モデルは(1)は産業技術総合研究所の、(2)は気象庁の解析結果を示す  
 点線は、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)によるフィリピン海プレート上面の深さ(10km)ごとの等深線)を示す。

気象庁作成

## 深部低周波地震（微動）活動（2010年2月1日～2020年1月31日）

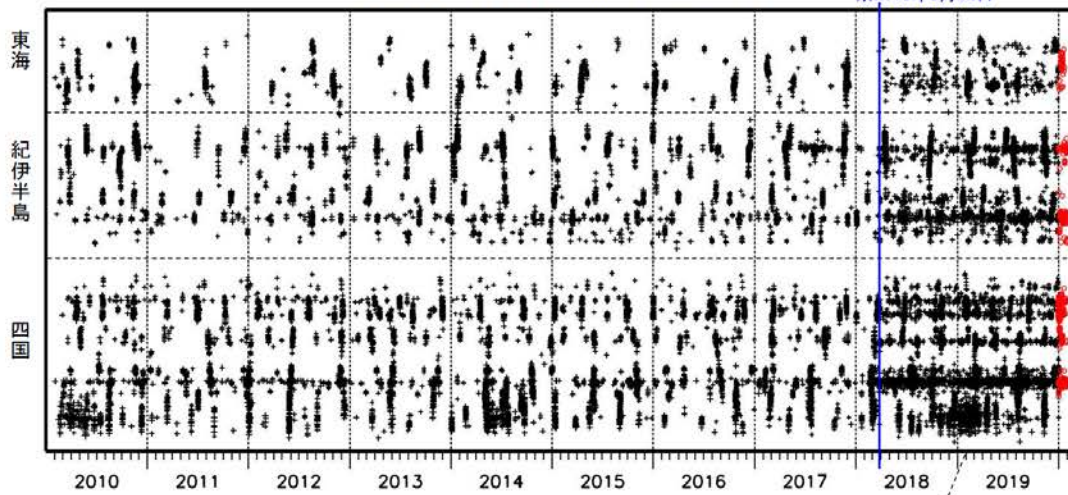
深部低周波地震（微動）は、「短期的ゆっくりすべり」に密接に関連する現象とみられており、プレート境界の状態の変化を監視するために、その活動を監視している。

震央分布図（2010年2月1日～2020年1月31日：過去10年間  
2020年1月1日以降の震源を○で表示）

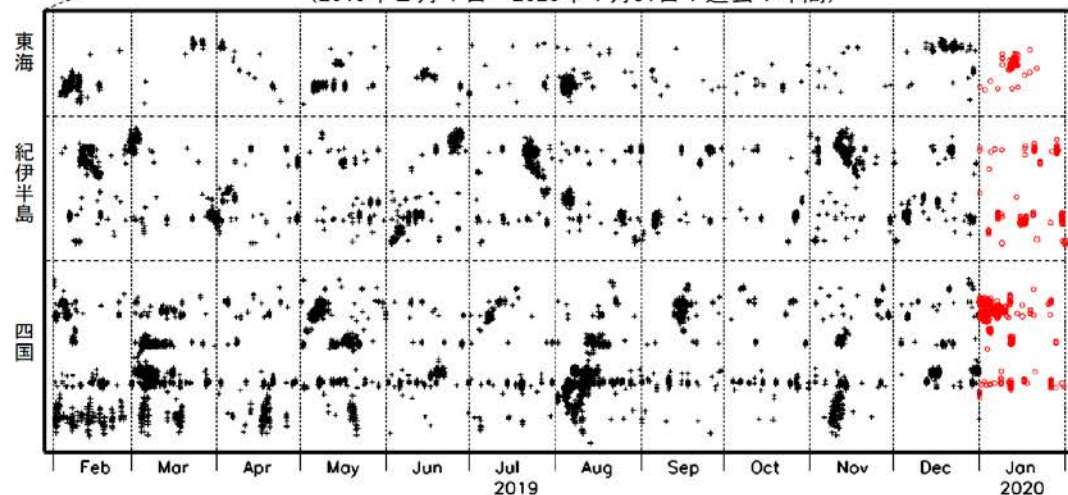


上図領域a内の時空間分布図（A-B投影）

※2018年3月22日



（2019年2月1日～2020年1月31日：過去1年間）



※2018年3月22日から、深部低周波地震（微動）の処理方法の変更（Matched Filter法の導入）により、それ以前と比較して検知能力が変わっている。

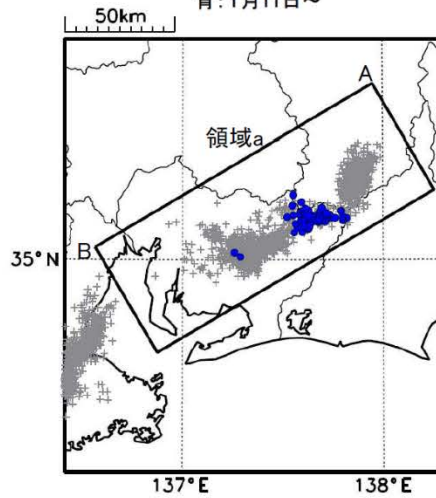
気象庁作成

## 東海の深部低周波地震(微動)活動と 短期的ゆっくりすべり

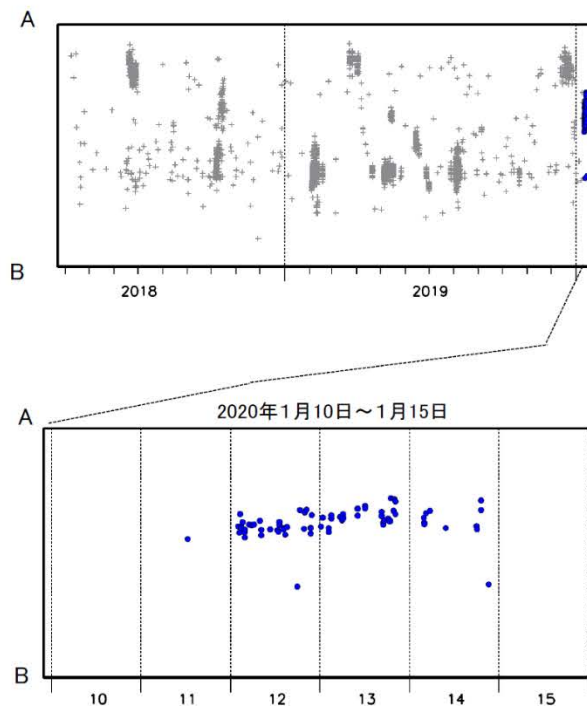
1月11日から14日にかけて、東海で深部低周波地震(微動)を観測した。  
深部低周波地震(微動)活動とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計で地殻変動を観測した。  
これらは、短期的ゆっくりすべりに起因すると推定される。

### 深部低周波地震(微動)活動

震央分布図  
(2018年4月1日～2020年1月15日、  
深さ0～60km、Mすべて)  
灰:2018年4月1日～2020年1月10日  
青:1月11日～



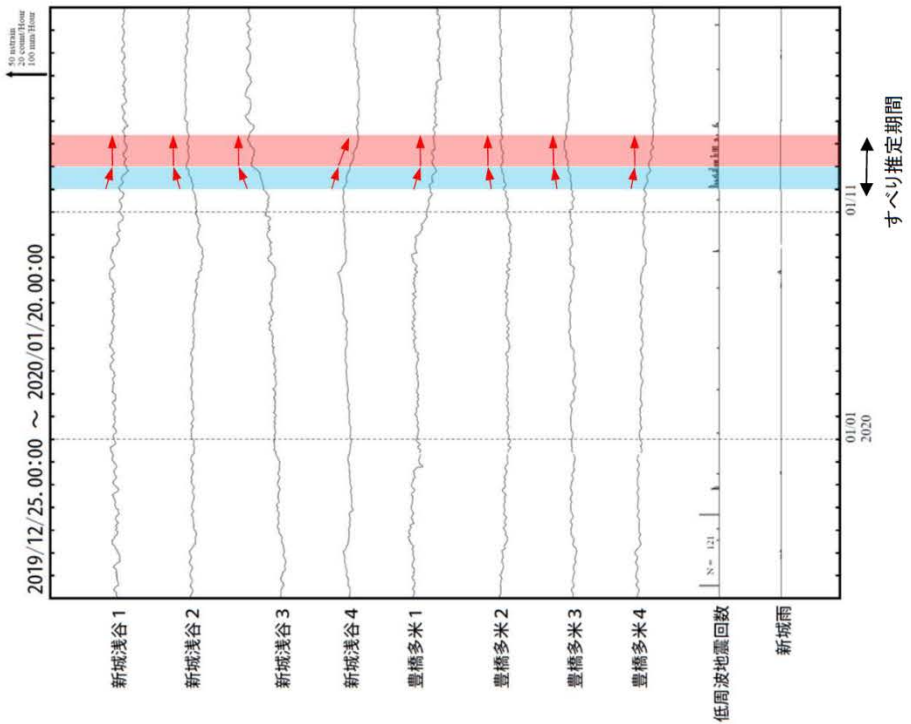
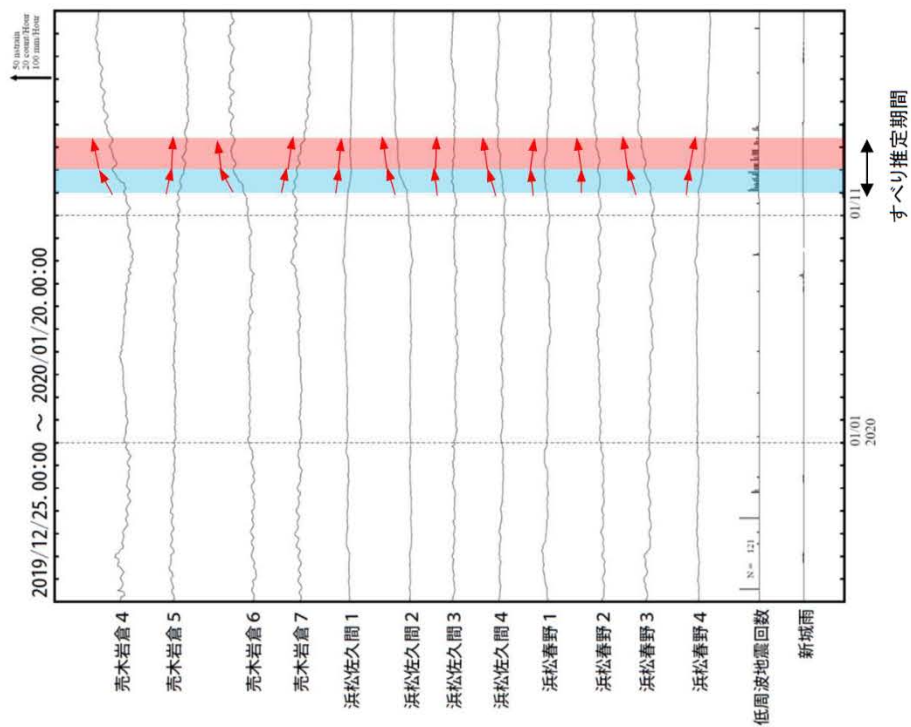
震央分布図の領域a内の時空間分布図(A-B投影)



気象庁作成

東海で発生した短期的ゆっくりすべり(1月12日～14日)

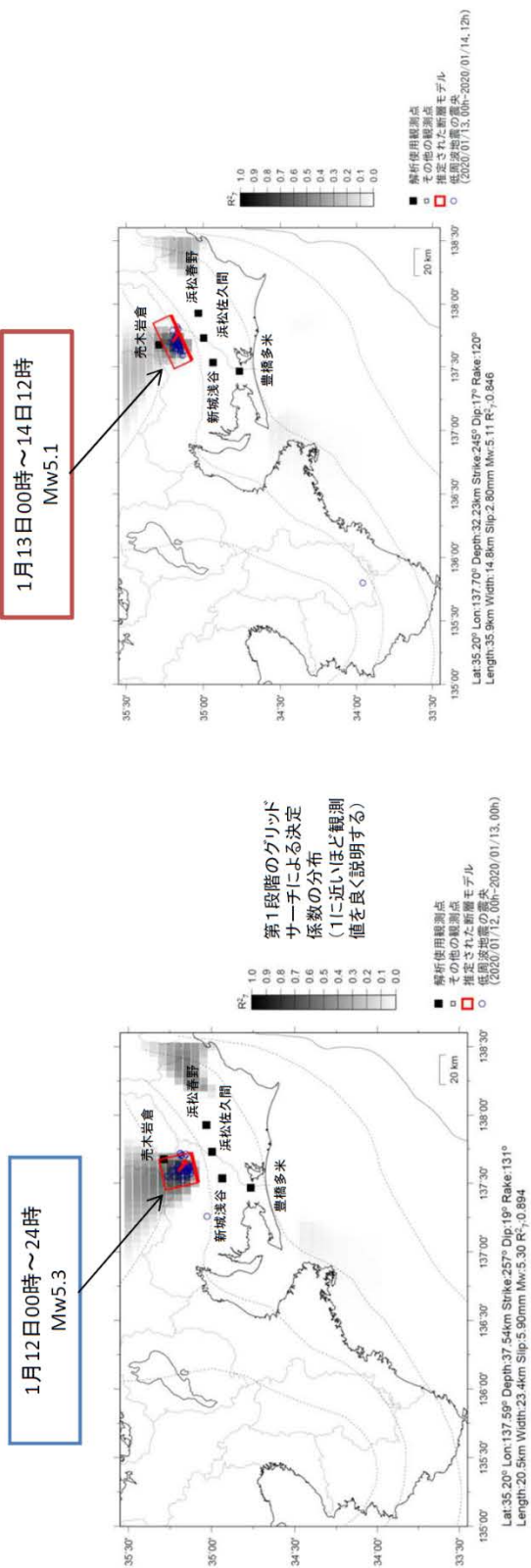
長野県から愛知県で観測されたひずみ変化



浜松春野は静岡県、豊橋多米は産業技術総合研究所のひずみ計である。

気象庁作成

東海で発生した短期的ゆっくりすべり(1月12日～14日)



前図に観測されたひずみ観測点での変化量を元にすべり推定を行ったところ、低周波地震とほぼ同じ場所ですべり域が求まった。

断面モデルの推定は、産総研の解析方法(板場ほか, 2012)を参考に以下の2段階で行う。  
 ・断面サイズを20km×20kmに固定し、位置を0.05度単位でグリッドサーチにより推定する。  
 ・その位置を中心にして、他の断面パラメータの最適解を求める。

## 四国の深部低周波地震(微動)活動とゆっくりすべり

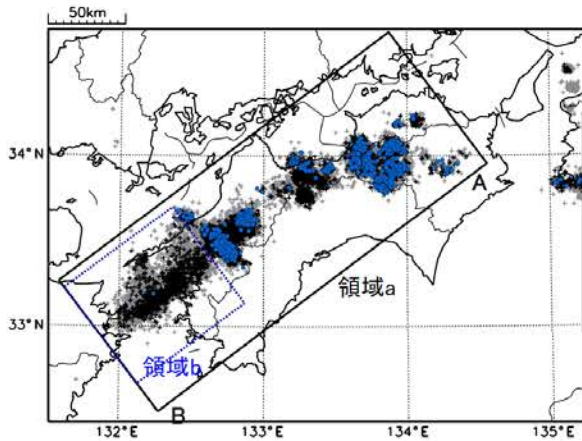
### 【四国東部】

(A) 2019年12月28日から2020年1月8日にかけて、四国東部で深部低周波地震(微動)を観測した。深部低周波地震(微動)活動とはほぼ同期して、周辺に設置されているひずみ計で地殻変動を観測した。これらは、短期的ゆっくりすべりに起因すると推定される。

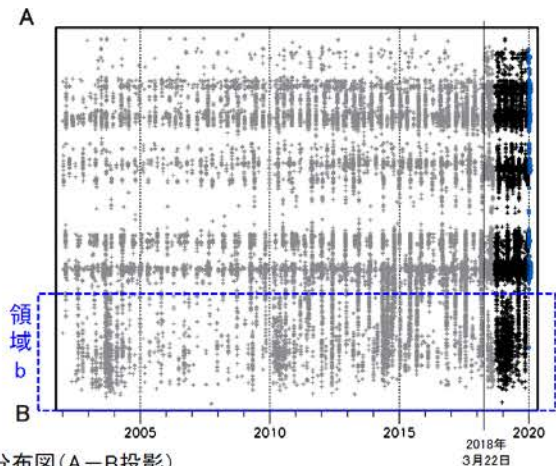
### 【四国西部の南西側(領域b:豊後水道とその付近)】

豊後水道付近(領域b)では、2018年秋頃から深部低周波地震(微動)活動が活発になってきたが、2019年6月頃から減衰傾向がみられている。また、2018年秋頃から、周辺に設置されている複数のひずみ計で地殻変動を観測している。これらは、豊後水道周辺のプレート境界深部において発生している長期的ゆっくりすべりに関係すると推定される。この長期的ゆっくりすべりは、2019年6月頃から停滞しているように見える。

震央分布図  
(2002年1月1日～2020年1月31日、深さ0～60km、Mすべて)  
黒: 2018年9月1日～2019年12月27日、  
青: 2019年12月28日～2020年1月31日、灰: それ以外の期間

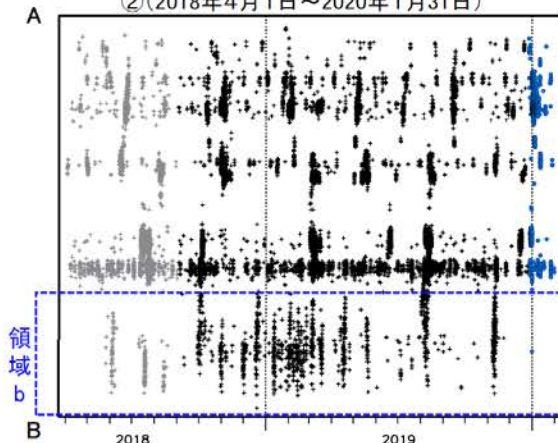


震央分布図の領域a内の時空間分布図(A-B投影)  
①(2002年1月1日～2020年1月31日)

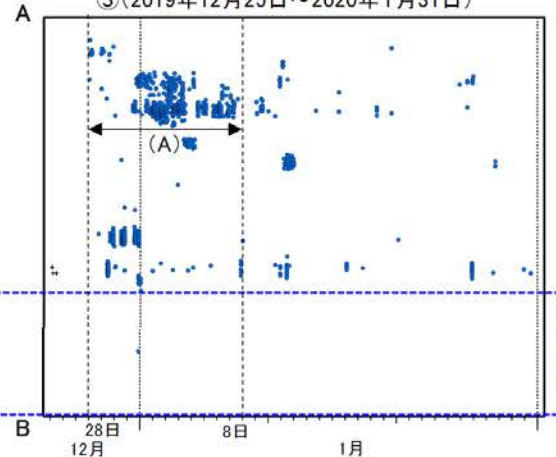


震央分布図の領域a内の時空間分布図(A-B投影)

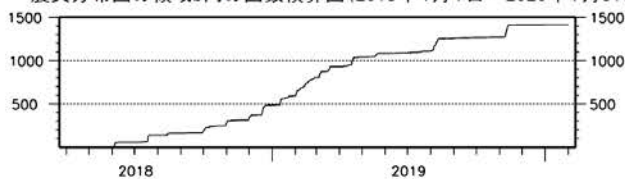
②(2018年4月1日～2020年1月31日)



③(2019年12月25日～2020年1月31日)



震央分布図の領域b内の回数積算図(2018年4月1日～2020年1月31日)



※2018年3月22日から、深部低周波地震(微動)の処理方法の変更(Matched Filter法の導入)により、それ以前と比較して検知能力が変わっている。

気象庁作成

四国の深部低周波微動活動状況（2020年1月）

● 12月27日～1月9日頃に四国東部から中部において、活発な微動活動。

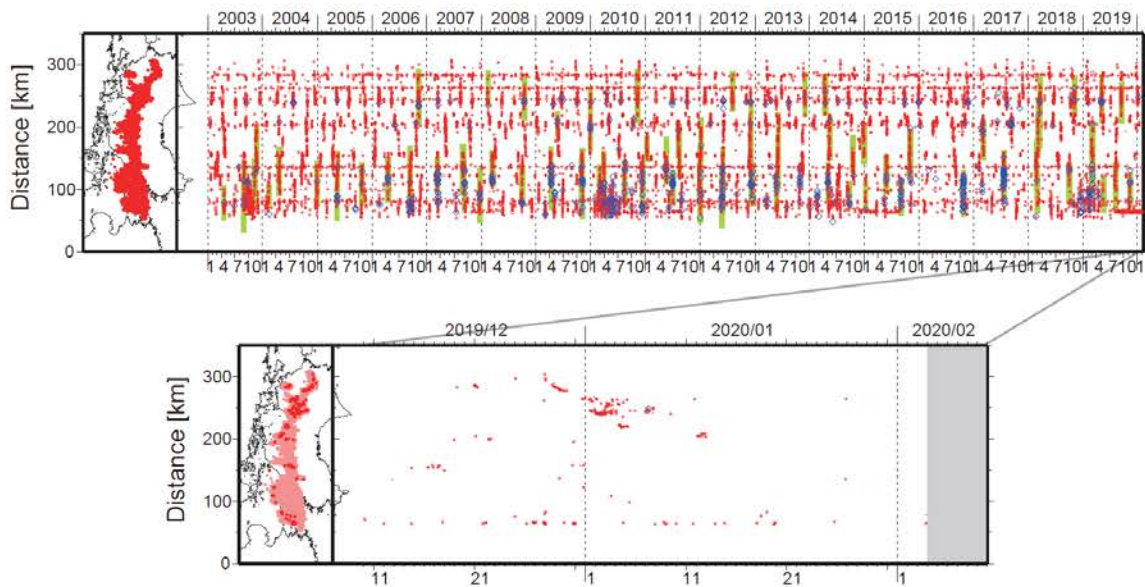


図1. 四国における2003年1月～2020年2月3日までの深部低周波微動の時空間分布(上图)。赤丸はエンベロープ相関・振幅ハイブリッド法 (Maeda and Obara, 2009) およびクラスタ処理 (Obara et al., 2010) によって1時間毎に自動処理された微動分布の重心である。青菱形は周期20秒に卓越する超低周波地震 (Ito et al., 2007) である。黄緑色太線は、これまでに検出された短期的スロースリップイベント (SSE) を示す。下图は2020年1月を中心とした期間の拡大図である。12月27日～1月9日頃には、徳島県東部から愛媛県東部において活発な微動活動がみられた。この活動は徳島県東部において開始したのち、西方向への活動域の移動がみられた。その後、1月1日頃からは徳島・香川・愛媛県境付近において活発化がみられ、4日頃まで西方向への活動域の拡大がみられた。その後活動は低調になりつつ、9日頃まで継続した。これ以外の活動として、1月12日頃には愛媛県東部においてごく小規模な活動がみられた。1月18～19日頃には豊後水道において、小規模な活動がみられた。

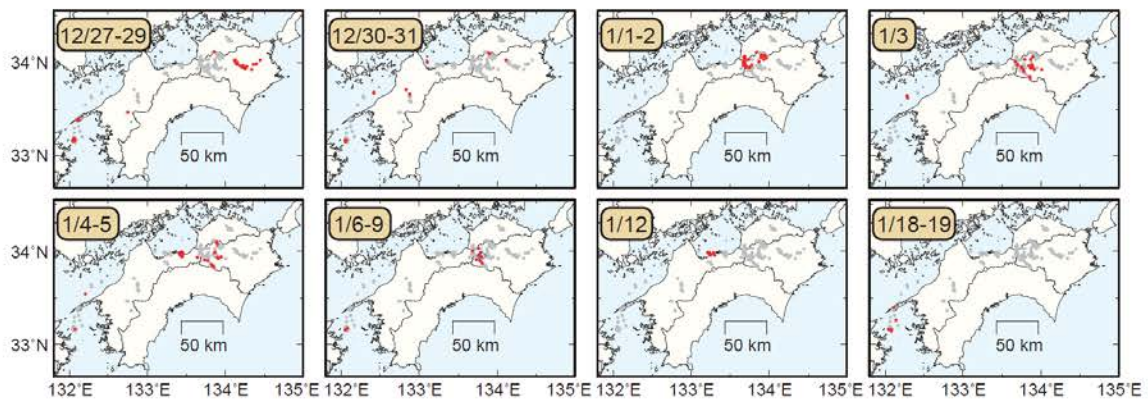


図2. 各期間に発生した微動分布（赤丸）および深部超低周波地震（青菱形）。灰丸は図1の拡大図で示した期間の微動分布。

防災科学技術研究所資料

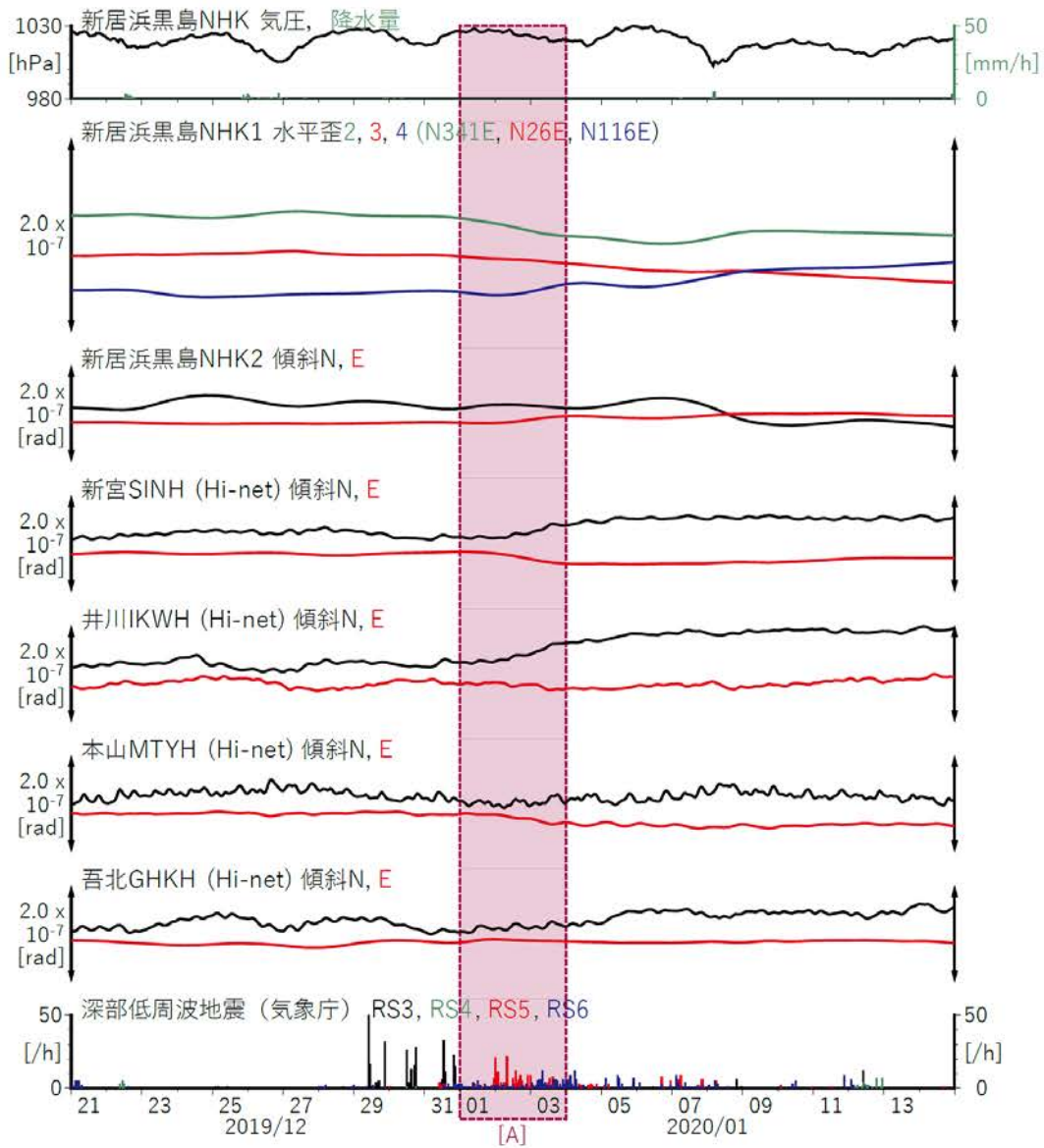
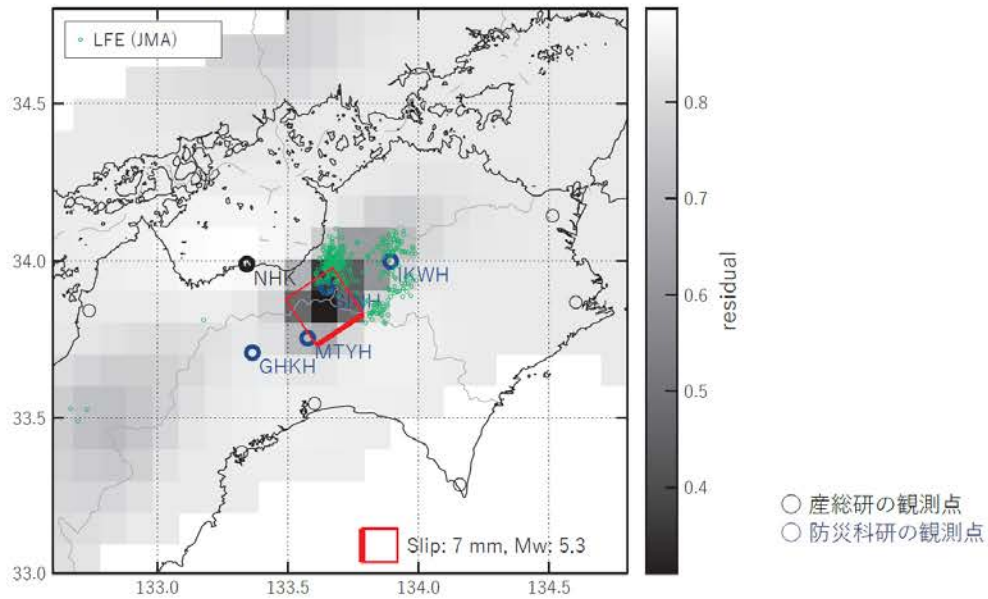


図2 四国地方における歪・傾斜観測結果 (2019/12/21 00:00 - 2020/01/15 00:00 (JST))

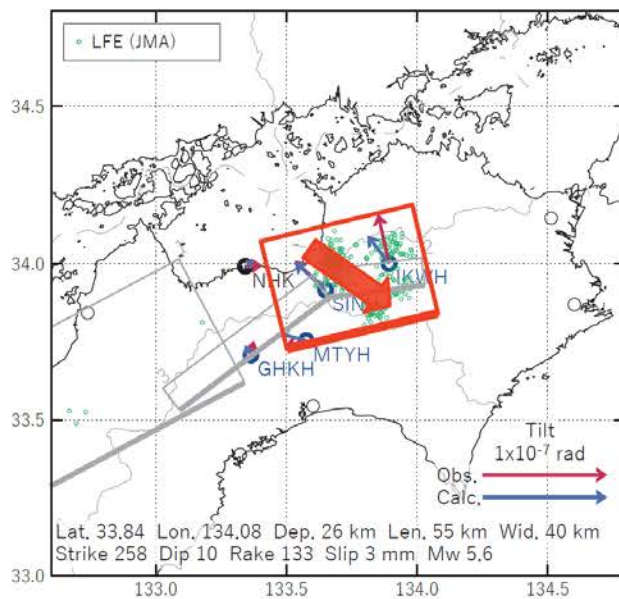


[A] 2020/01/01-03

(a) 断層の大きさを固定した場合の断層モデルと残差分布



(b1) 推定された断層モデル



(b2) 主歪

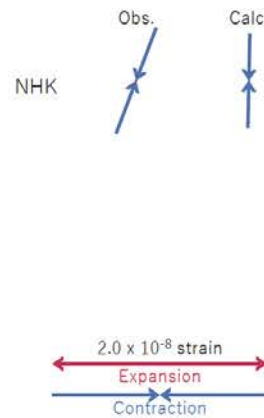


図3 2020/01/01-03の歪・傾斜変化（図2[A]）を説明する断層モデル。

(a) プレート境界面に沿って分布させた20×20kmの矩形断層面を移動させ、各位置で残差の総和を最小とするすべり量を選んだ時の残差の総和の分布。赤色矩形が残差の総和が最小となる断層面の位置。

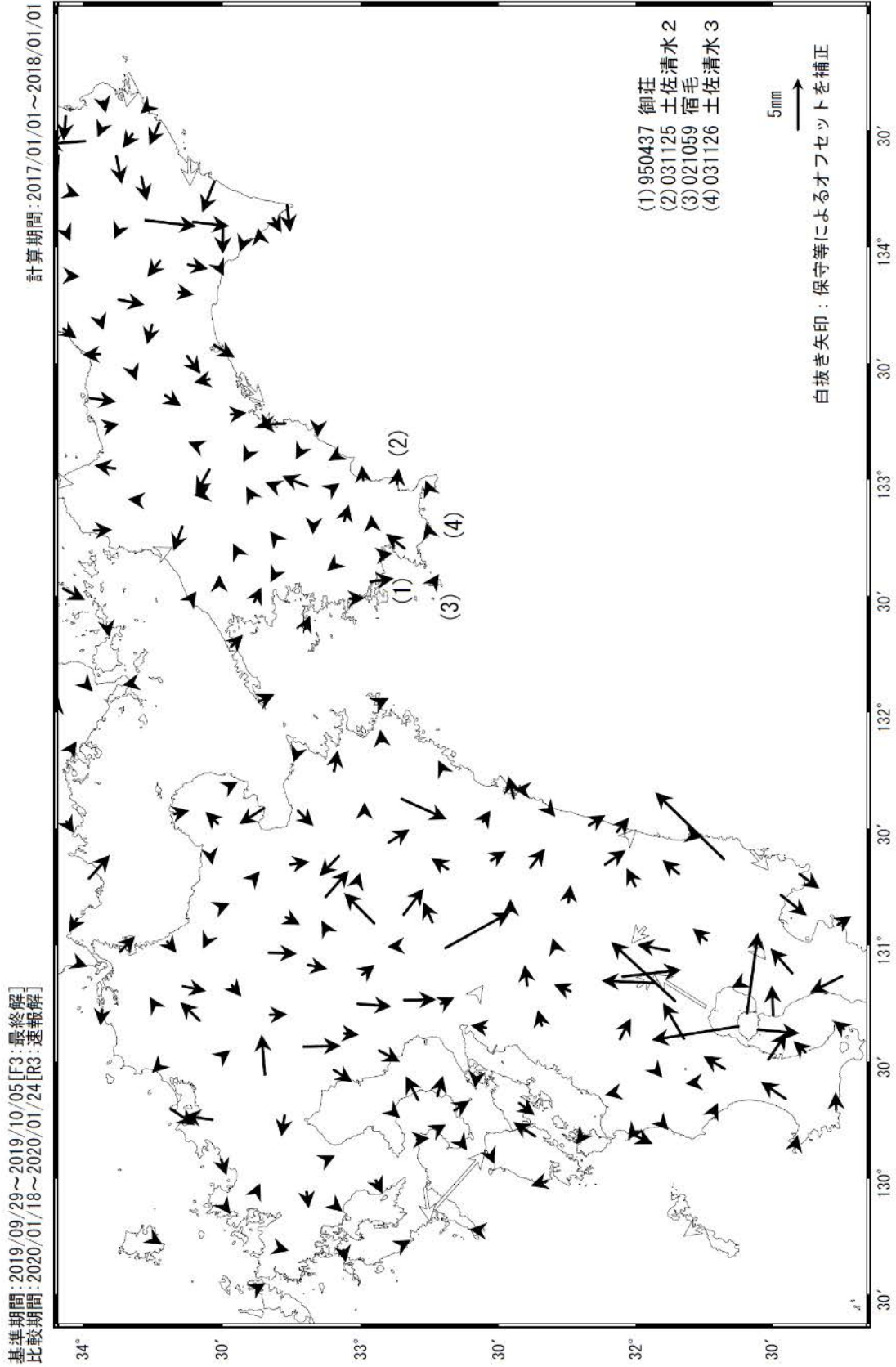
(b1) (a)の位置付近をグリッドサーチして推定した断層面（赤色矩形）と断層パラメータ。灰色矩形は最近周辺で発生したイベントの推定断層面。

1: 2019/08/11PM-13 (Mw6.0), 2: 2019/09/14-17 (Mw5.6), 3: 2019/11/11 (Mw5.2)

(b2) 主歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。

（国土地理院による GNSS 解析）

四国西部の非定常水平地殻変動（1次トレンド・年周期・半年周期除去後）



国土地理院

固定局：三隅(950388)

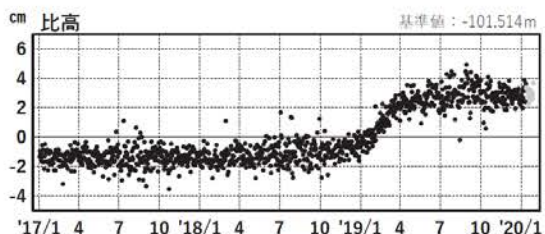
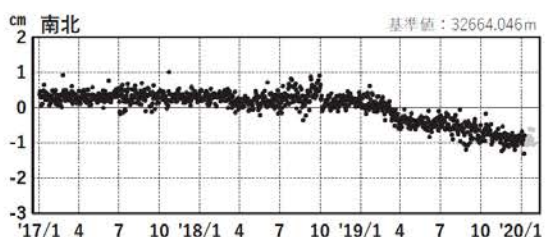
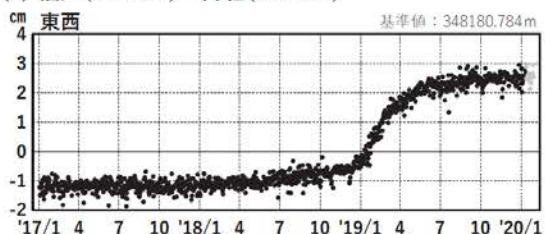
四国西部 G N S S連続観測時系列

1次トレンド・年周成分・半年周成分除去後グラフ

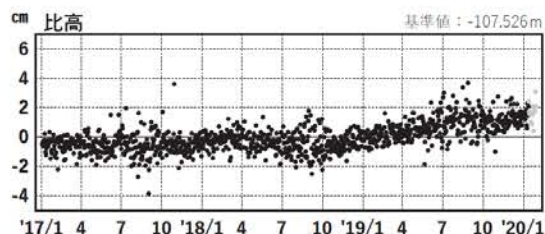
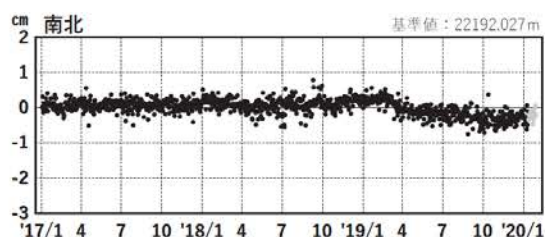
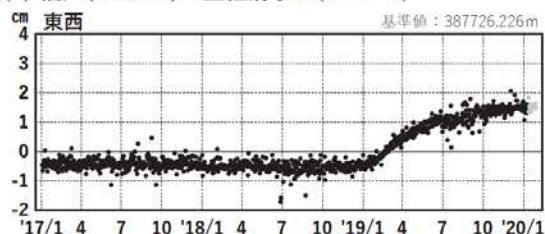
期間: 2017/01/01~2020/01/29 JST

計算期間: 2017/01/01~2018/01/01

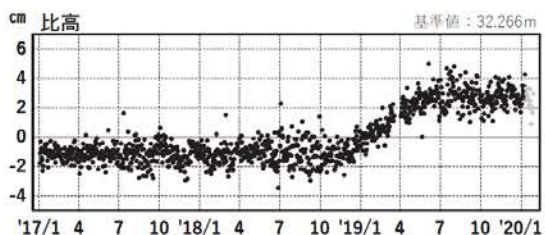
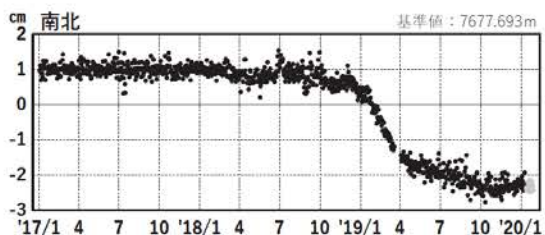
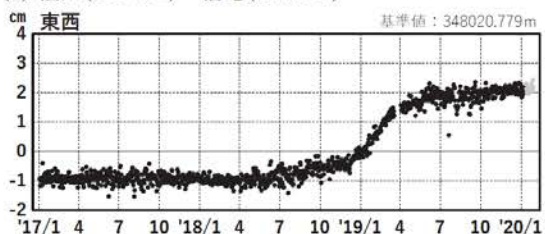
(1) 福江(950462)ー御荘(950437)



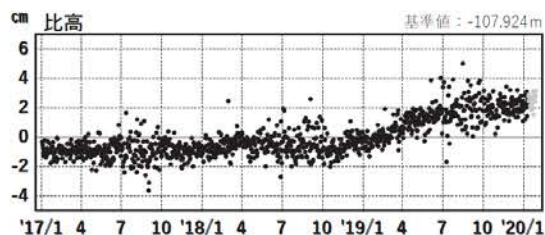
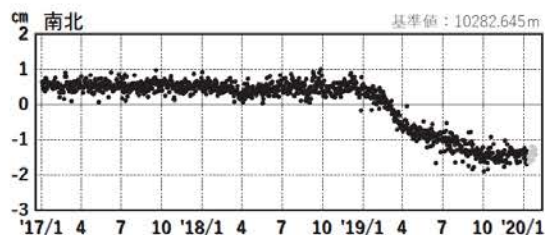
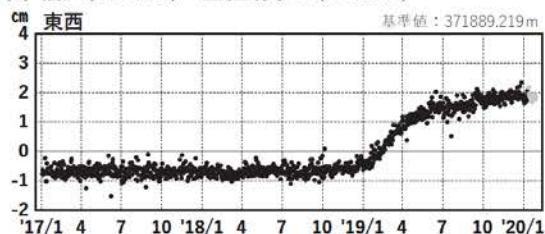
(2) 福江(950462)ー土佐清水 2 (031125)



(3) 福江(950462)ー宿毛(021059)



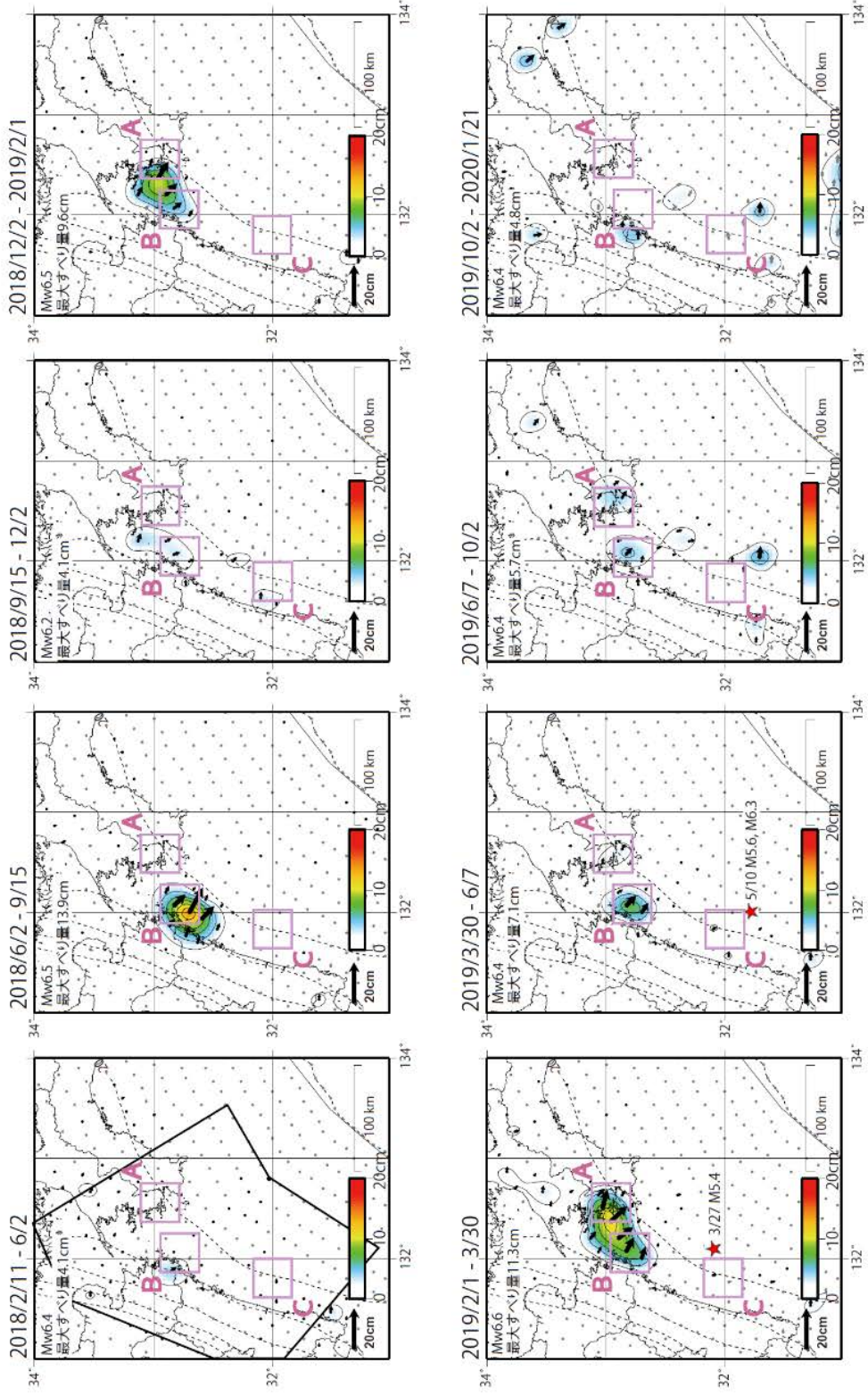
(4) 福江(950462)ー土佐清水 3 (031126)



●---[F3:最終解] ●---[R3:速報解]

国土地理院

GNSSデータから推定された日向灘・豊後水道の長期的ゆっくりすべり（暫定）  
推定すべり分布

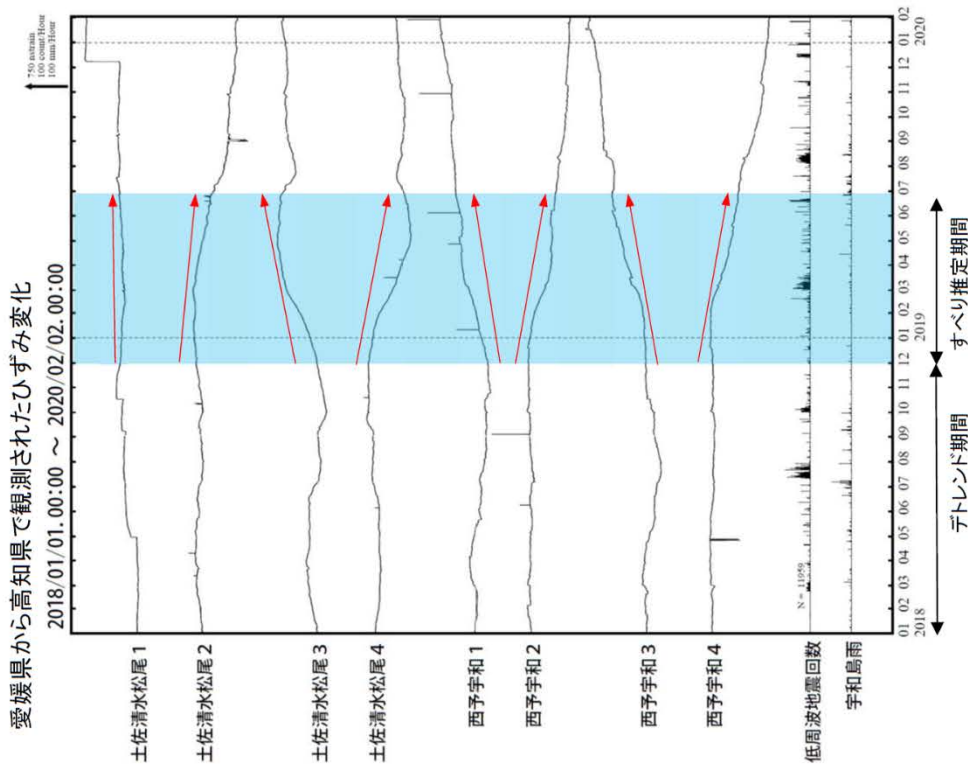


推定したすべり量が、標準偏差 ( $\sigma$ ) の3倍以上のグリッドを黒で表示。

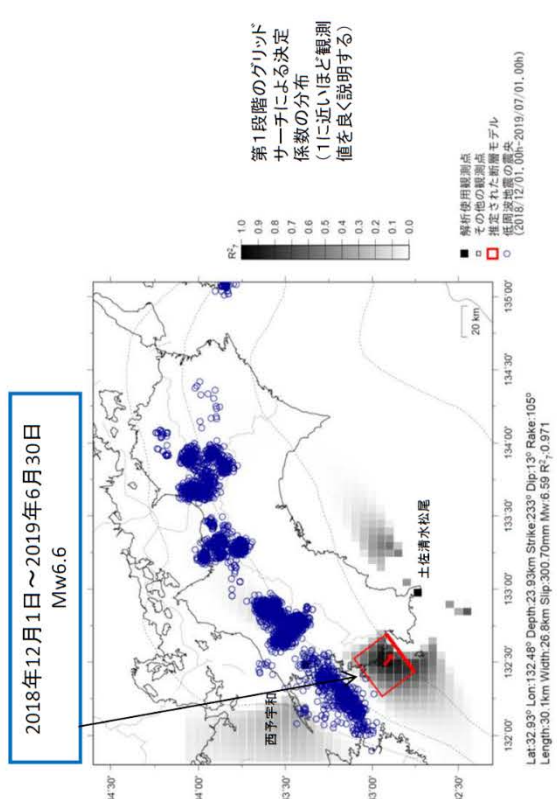
データ：F3解（～2020/1/11）+R3解（2020/1/12～1/21）  
（日向灘の地震（5/10、M6.3）の地震時変動を除去）  
トレンド期間：2017/1/1 - 2018/1/1

モーメント計算及び最大すべりの範囲：左上図の黒枠内側  
黒破線：フィリピン海プレート上面の等深線（弘瀬・他、2007）  
コンター間隔：2cm  
固定局：福江

豊後水道で発生している長期的ゆっくりすべり



ひずみ変化から推定される断層モデル



左図に観測されたひずみ変化のうち、赤矢印を付した観測点での変化量を元  
にすべり推定を行ったところ、上図に示す領域にすべり域が求まった。

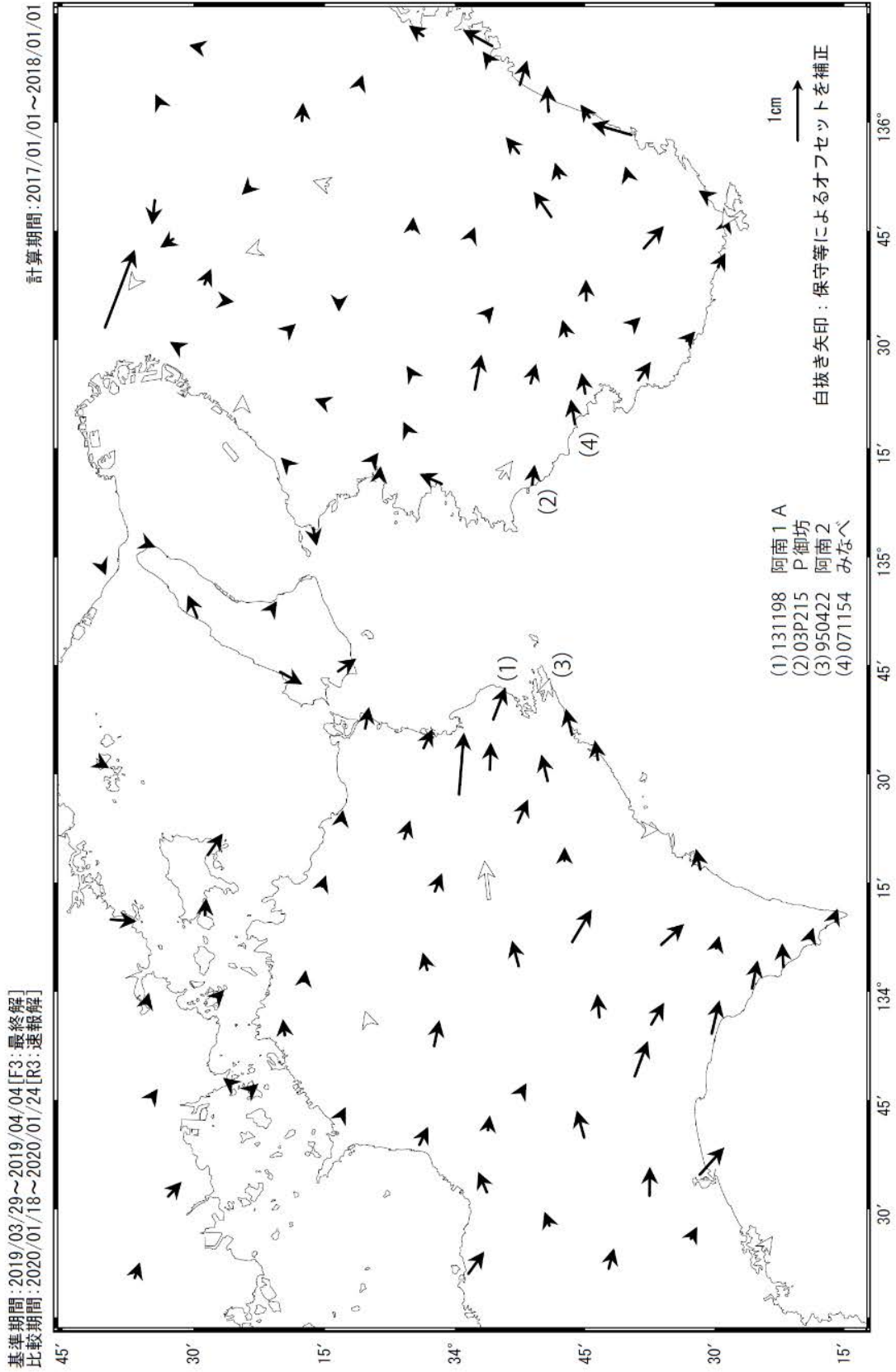
断層モデルの推定は、産総研の解析方法（坂場ほか、2012）を参考に以下の2段階で行う。  
・断層サイズを20km×20kmに固定し、位置を0.05度単位でグリッドサーチにより推定する。  
・その位置を中心に、他の断層パラメータの最適解を求める。

土佐清水松尾及び西予宇和は産業技術総合研究所のひずみ計である。

気象庁作成

（国土地理院によるGNSS解析）

紀伊半島西部・四国東部の非定常水平地殻変動（1次トレンド・年周期・半年周期除去後）



国土地理院

固定局：網野(960640)

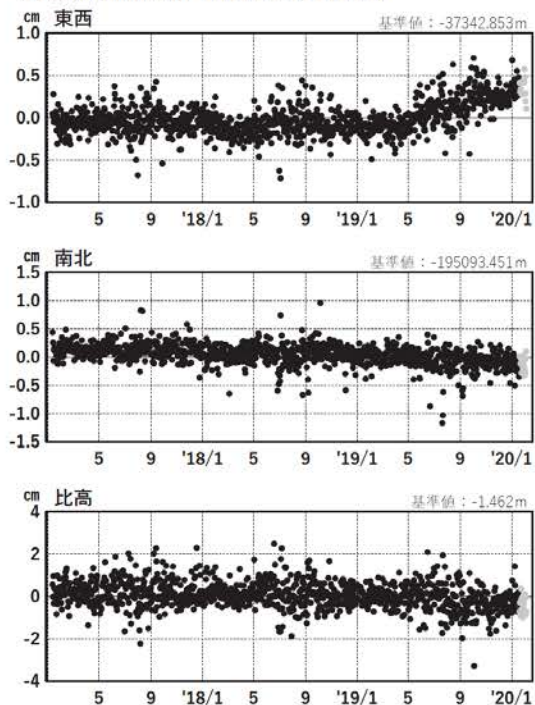
紀伊半島西部・四国東部 G N S S連続観測時系列

1次トレンド・年周成分・半年周成分除去後グラフ

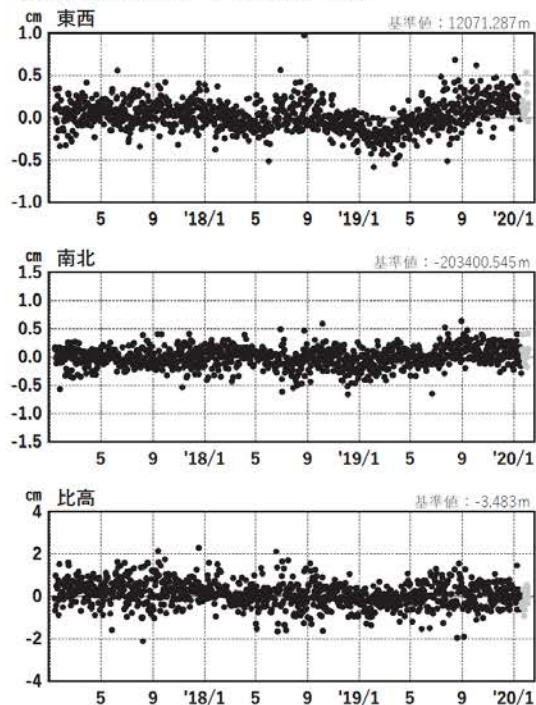
期間: 2017/01/11~2020/02/04 JST

計算期間: 2017/01/01~2018/01/01

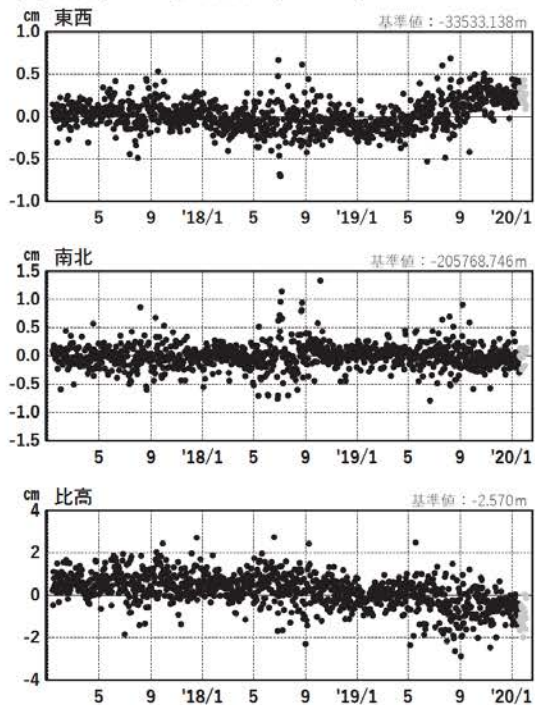
(1) 網野(960640)ー阿南1 A (131198)



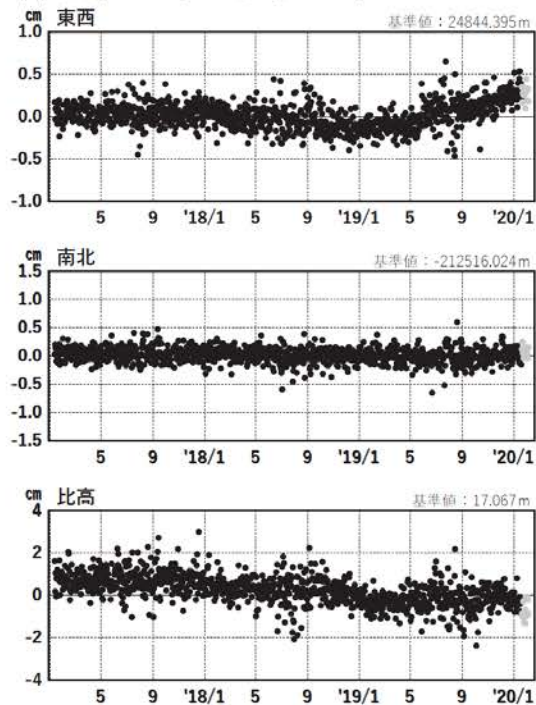
(2) 網野(960640)ーP御坊(03P215)



(3) 網野(960640)ー阿南2 (950422)



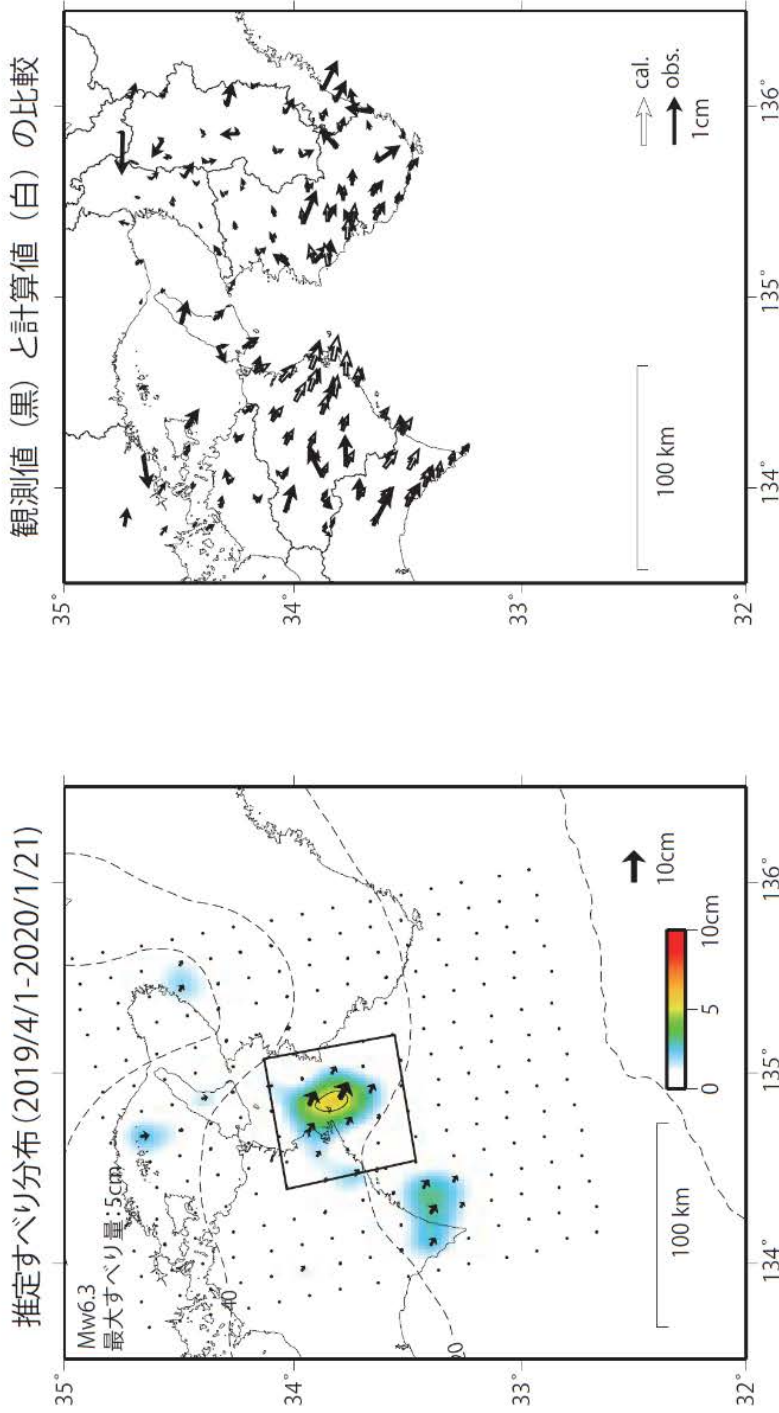
(4) 網野(960640)ーみなべ(071154)



●---[F3:最終解] ●---[R3:速報解]

国土地理院

GNSSデータから推定された紀伊水道の長期的ゆっくりすべり（暫定）



データ:F3解 (2019/1/1 - 2020/1/4) +R3解 (2020/1/4 - )  
 トレンド期間:2017/1/1 - 2018/1/1  
 モーメント計算範囲:左図の黒枠内側  
 黒破線:フィリピン海プレート上面の等深線(弘瀬・他,2007)  
 コンター間隔:5cm  
 固定局:網野

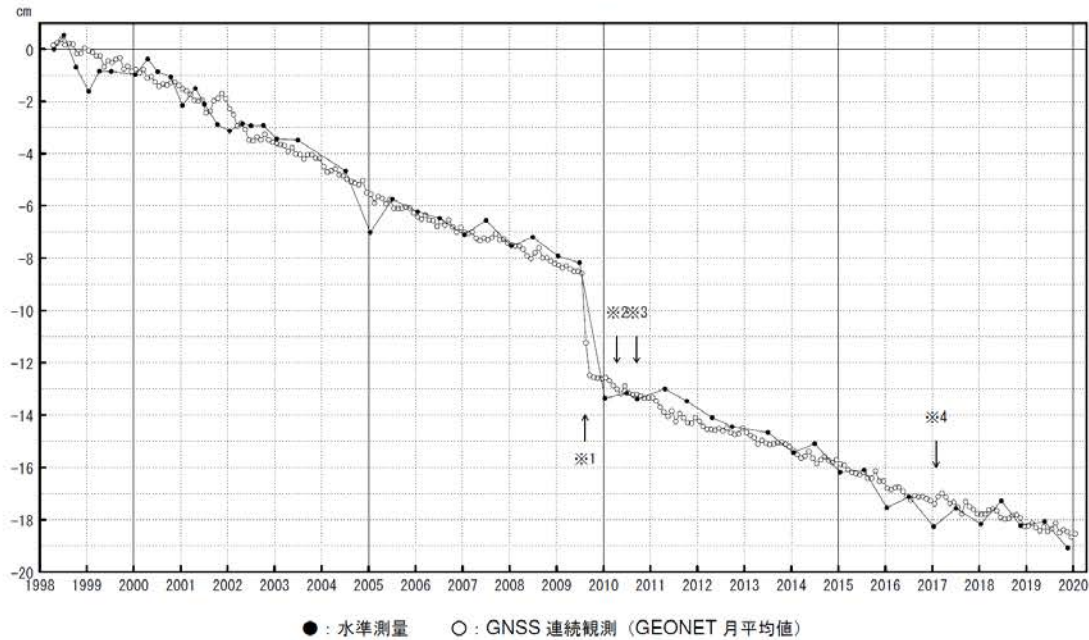
カルマンフィルタで平滑化した値  
 データ:F3解 (2019/1/1 - 2020/1/4) +R3解 (2020/1/4 - )  
 トレンド期間:2017/1/1 - 2018/1/1  
 固定局:網野



御前崎 電子基準点の上下変動  
水準測量とGNSS連続観測

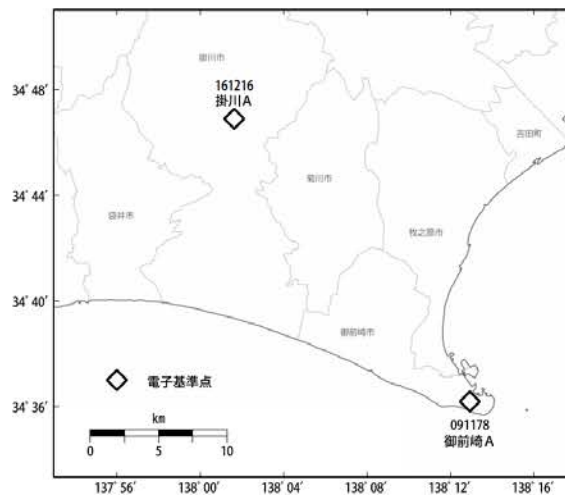
掛川に対して、御前崎が沈降する長期的な傾向が続いている。

掛川A (161216) - 御前崎A (091178)



・ 最新のプロット点は 01/01~01/11 の平均。

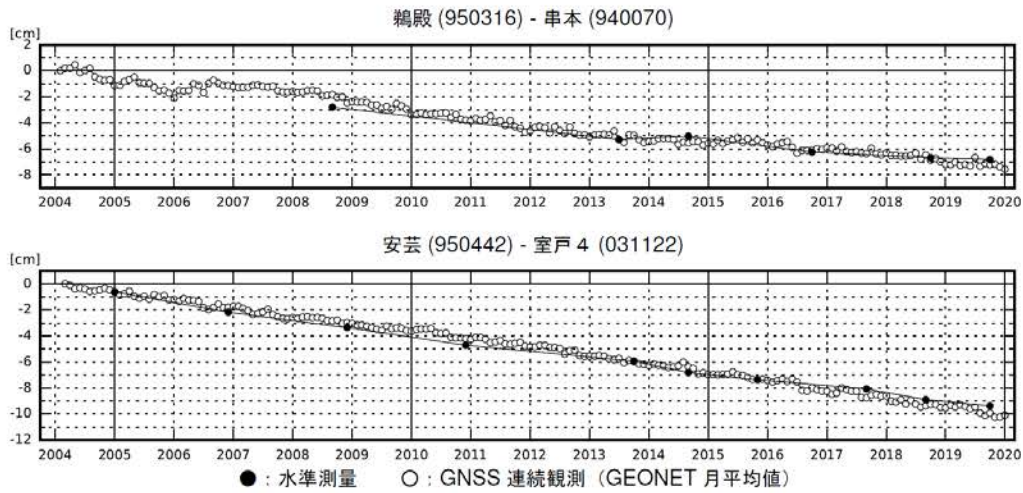
- ※1 電子基準点「御前崎」は2009年8月11日の駿河湾の地震(M6.5)に伴い、地表付近の局所的な変動の影響を受けた。
- ※2 2010年4月以降は、電子基準点「御前崎」をより地盤の安定している場所に移転し、電子基準点「御前崎A」とした。上記グラフは電子基準点「御前崎」と電子基準点「御前崎A」のデータを接続して表示している。
- ※3 水準測量の結果は移転後初めて変動量が計算できる2010年9月から表示している。
- ※4 2017年1月30日以降は、電子基準点「掛川」は移転し、電子基準点「掛川A」とした。上記グラフは電子基準点「掛川」と電子基準点「掛川A」のデータを接続して表示している。



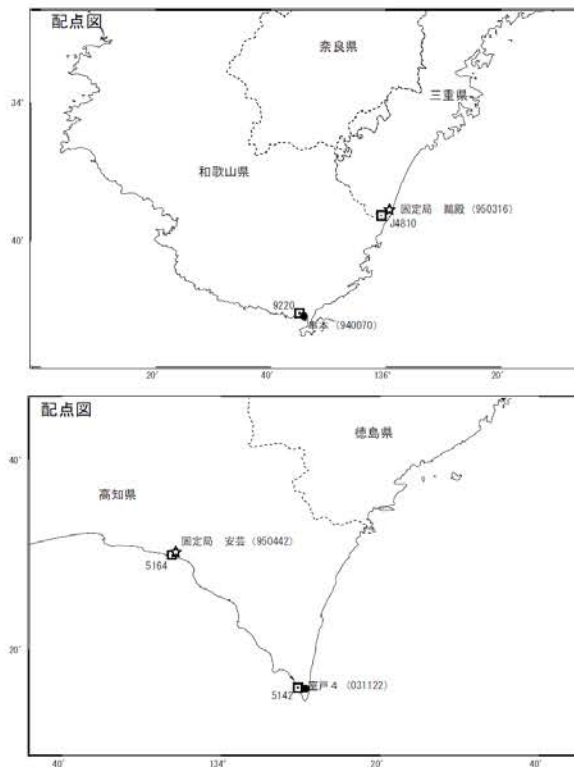
国土地理院

紀伊半島及び室戸岬周辺 電子基準点の上下変動

潮岬周辺及び室戸岬周辺の長期的な沈降傾向が続いている。

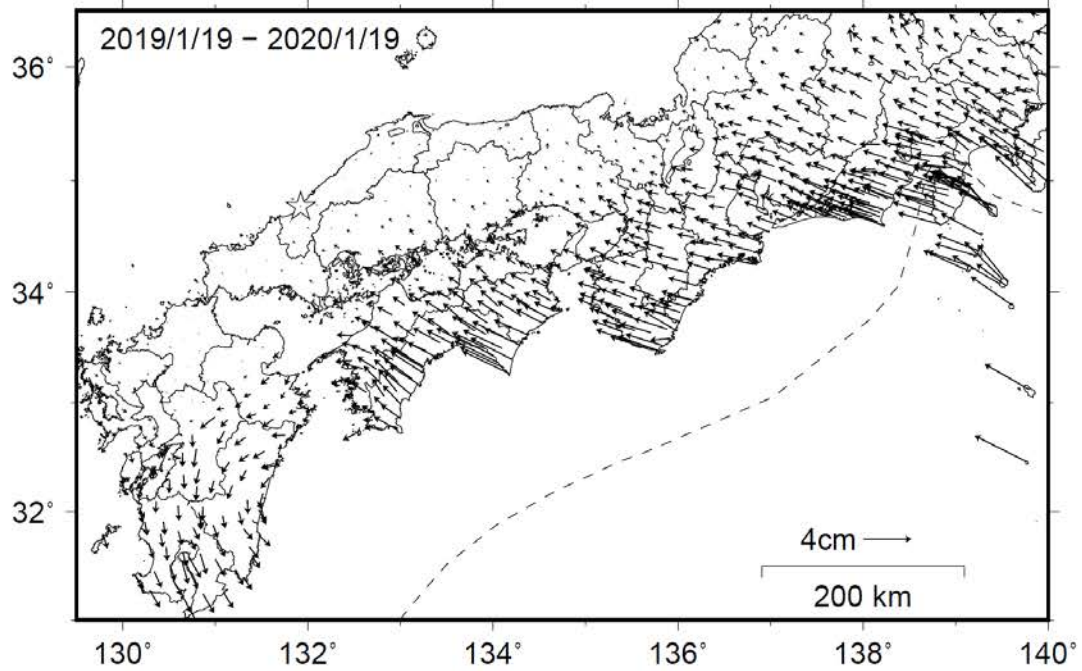


- ・ 最新のプロット点は1/1～1/11の平均。
- ・ 水準測量による結果については、最寄り的一等水準点の結果を表示している。

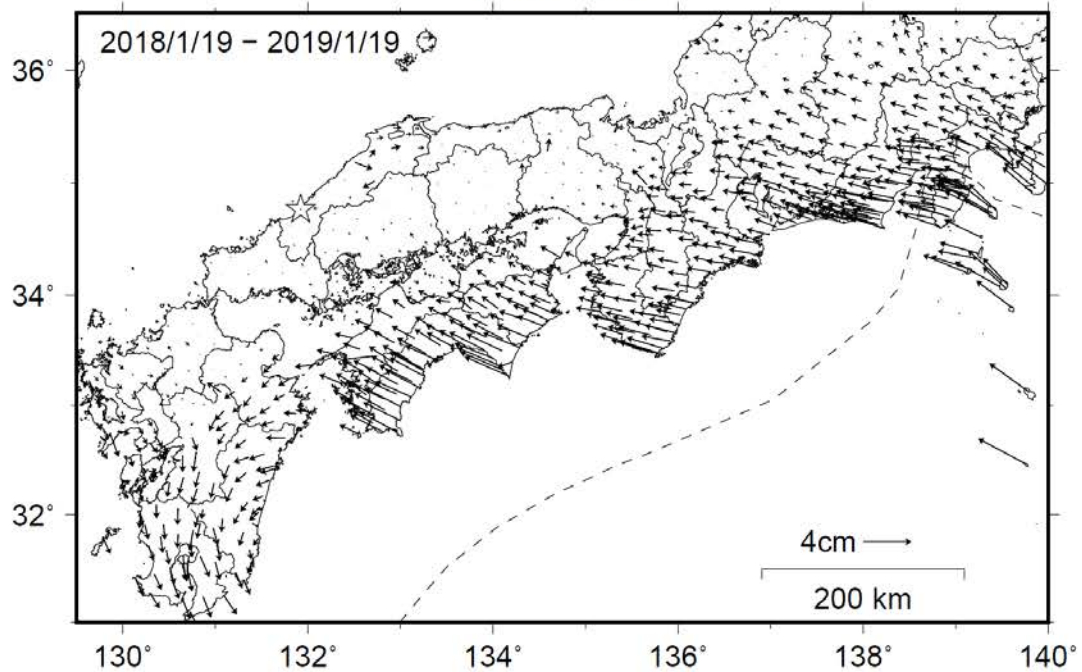


南海トラフ沿いの水平地殻変動【固定局：三隅】

【最近1年間】



【1年前の1年間】



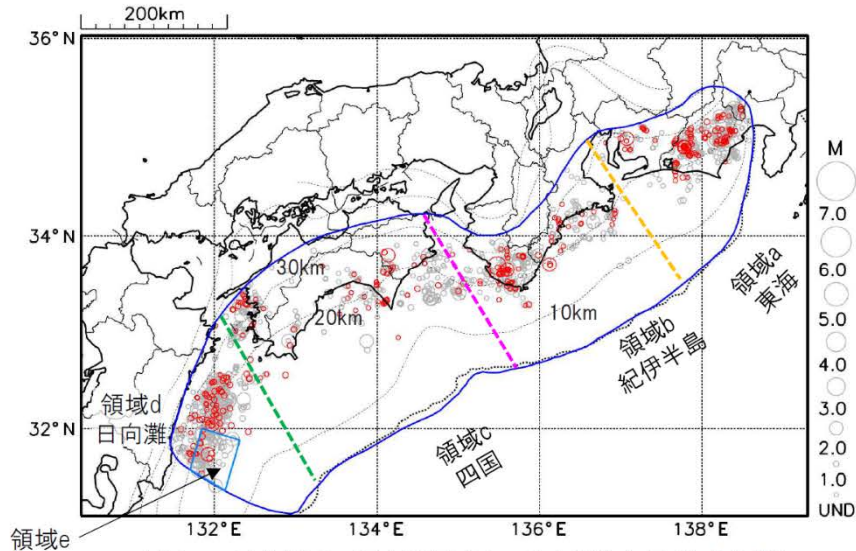
・各日付から6日間の変動量の平均をとり、その差から1年間の変動量を示している。

## プレート境界とその周辺の地震活動

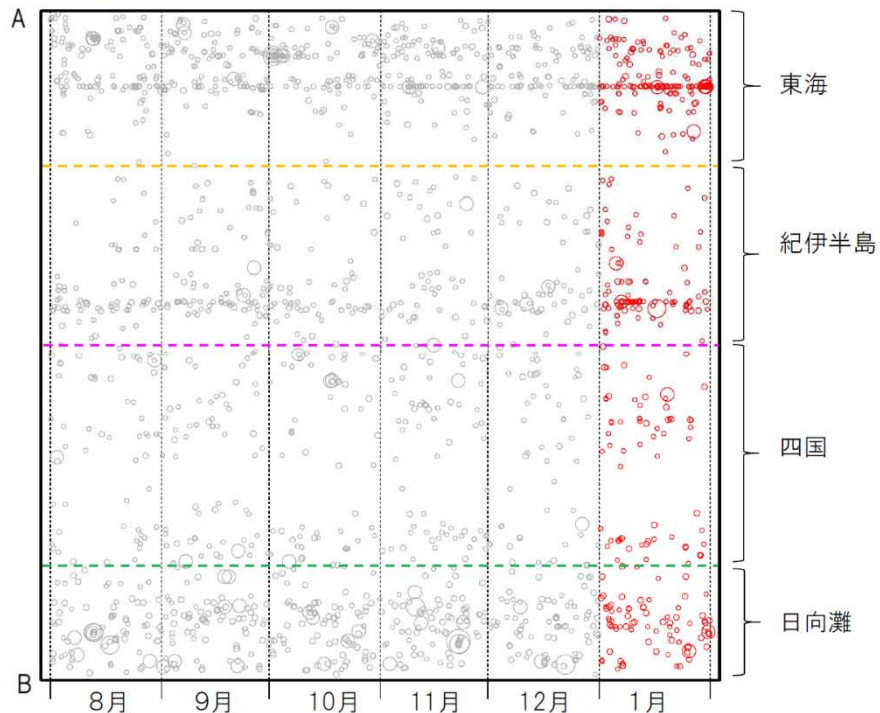
フィリピン海プレート上面の深さから±6km未満の地震を表示している。  
日向灘の領域e内のみ、深さ20km～30kmの地震を追加している。

震央分布図

(2019年8月1日～2020年1月31日、M全て、2020年1月の地震を赤く表示)



南海トラフ巨大地震の想定震源域内の時空間分布図(A-B投影)



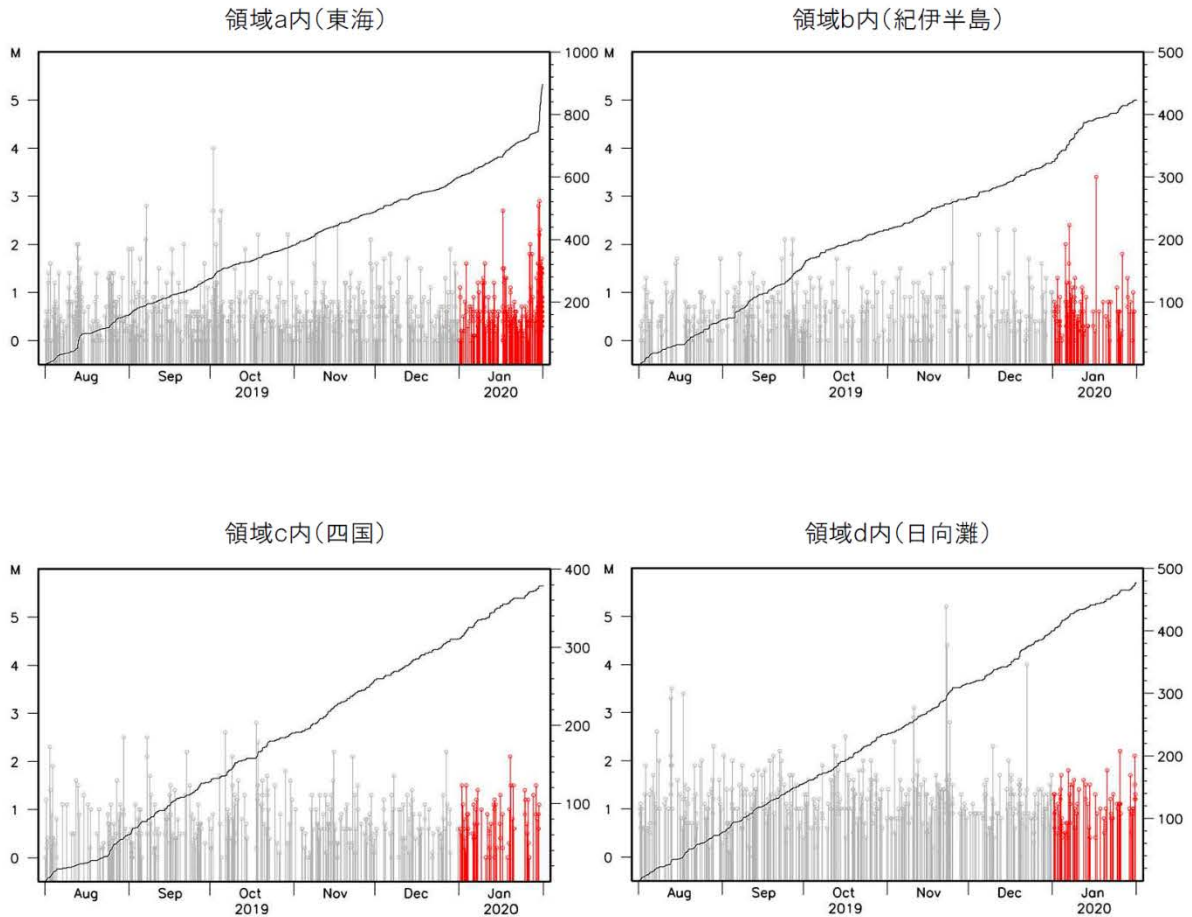
- ・フィリピン海プレート上面の深さは、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)による。震央分布図中の点線は10kmごとの等深線を示す。
- ・今期間の地震のうち、M3.2以上の地震で想定南海トラフ地震の発震機構解と類似の型の地震に吹き出しを付している。吹き出しの右下の数値は、フィリピン海プレート上面の深さからの差(+は浅い、-は深い)を示す。
- ・発震機構解の横に「S」の表記があるものは、精度がやや劣るものである。

気象庁作成

## プレート境界とその周辺の地震活動

フィリピン海プレート上面の深さから±6km未満の地震を表示している。

震央分布図の各領域内のMT図・回数積算図



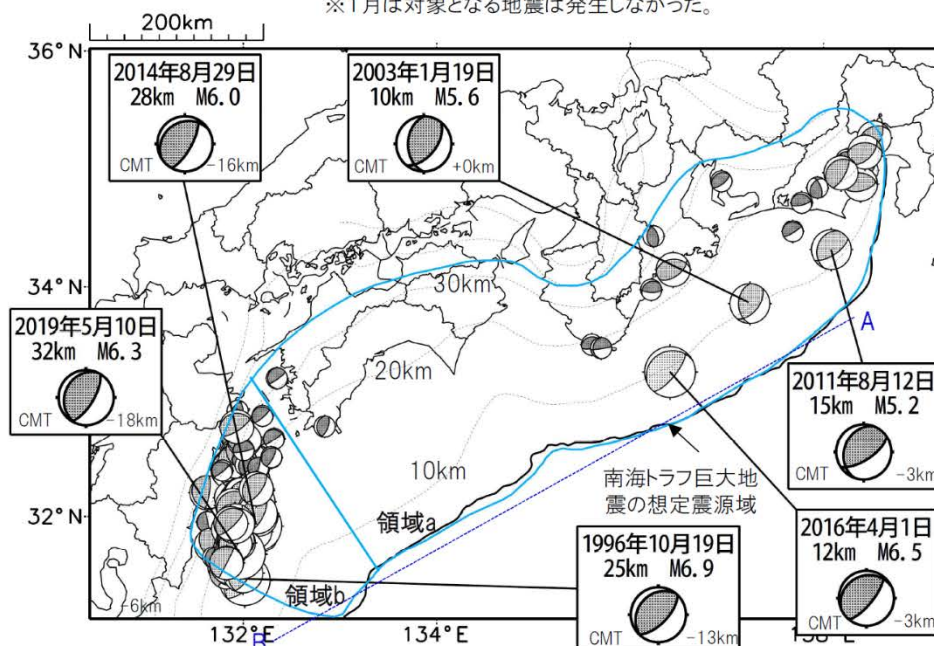
※M全ての地震を表示していることから、検知能力未満の地震も表示しているため、回数積算図は参考として表記している。

気象庁作成

## 想定南海トラフ地震の発震機構解と類似の型の地震

震央分布図(1987年9月1日～2020年1月31日、M $\geq$ 3.2、2020年1月の地震を赤く表示)

※1月は対象となる地震は発生しなかった。



・フィリピン海プレート上面の深さは、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)による。震央分布図中の点線は10kmごとの等深線を示す。

・今期間に発生した地震(赤)、日向灘のM6.0以上、その他の地域のM5.0以上の地震に吹き出しを付けている。

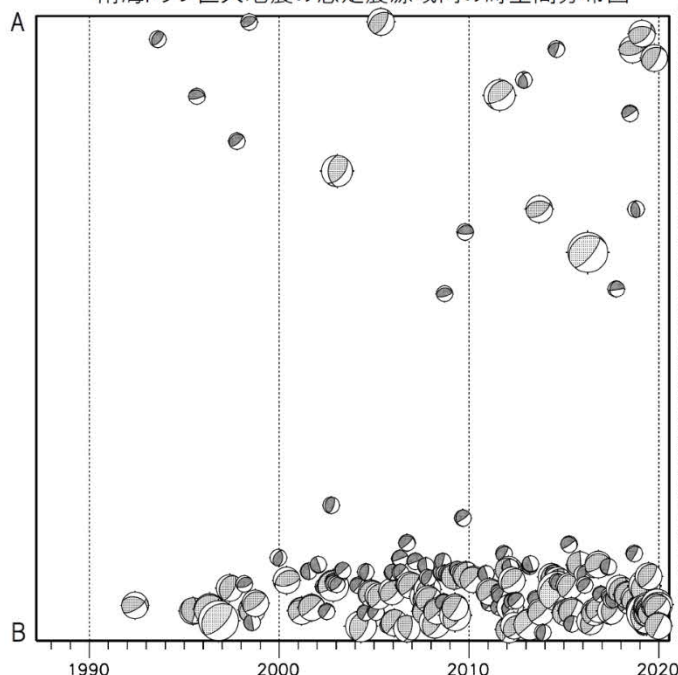
・発震機構解の横に「S」の表記があるものは、精度がやや劣るものである。

・吹き出しの右下の数値は、フィリピン海プレート上面の深さからの差を示す。+は浅い、-は深いことを示す。

・吹き出しに「CMT」と表記した地震は、発震機構解と深さはCMT解による。Mは気象庁マグニチュードを表記している。

・発震機構解の解析基準は、解析当時の観測網等に応じて変遷しているため一定ではない。

南海トラフ巨大地震の想定震源域内の時空間分布図



プレート境界型の地震と類似の型の発震機構解を持つ地震は以下の条件で抽出した。

**【抽出条件】**

- ・M3.2以上の地震
- ・領域a内(南海トラフの想定最大規模の想定震源域内)で発生した地震
- ・発震機構解が以下の条件を全て満たしたものを抽出した。

P軸の傾斜角が45度以下

P軸の方位角が65度以上180度以下(※)

T軸の傾斜角が45度以上

N軸の傾斜角が30度以下

※以外の条件は、東海地震と類似の型を抽出する条件と同様

・発震機構解は、CMT解と初動解の両方で検索をした。

・同一の地震で、CMT解と初動解の両方がある場合はCMT解を選択している。

・東海地方から四国地方(領域a)は、フィリピン海プレート上面の深さから±10km未満の地震のみ抽出した。日向灘(領域b)は、+10km～-20km未満の震源を抽出した。CMT解はセントロイドの深さを使用した。

気象庁作成

## 南海トラフ巨大地震の想定震源域とその周辺の地震活動指数

2020年01月31日

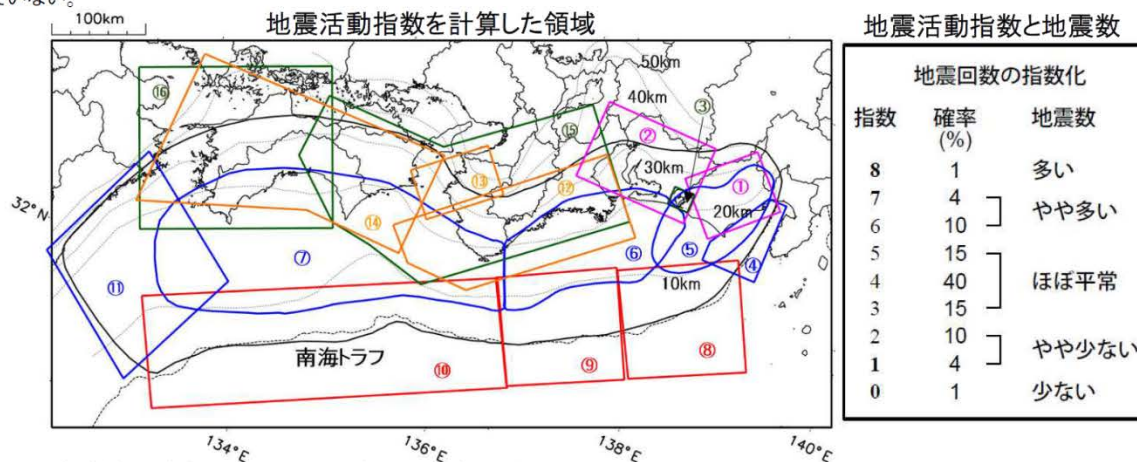
領域	①静岡県 中西部		②愛知県		③浜名湖 周辺	④駿河 湾	⑤東海	⑥東南 海	⑦南海
	地	プ	地	プ	プ	全	全	全	全
地震活動指数	5	4	5	5	6	5	5	4	5
平均回数	16.5	18.4	26.6	13.6	13.2	13.3	18.3	19.7	21.3
MLきい値	1.1		1.1		1.1	1.4	1.5	2.0	2.0
クラスタ 除去	距離		3km		3km	10km	10km	10km	10km
	日数		7日		7日	10日	10日	10日	10日
対象期間	60日	90日	60日	30日	360日	180日	90日	360日	90日
深さ	0～ 30km	0～ 60km	0～ 30km	0～ 60km	0～ 60km	0～ 60km	0～ 60km	0～ 100km	0～ 100km

領域	南海トラフ沿い		⑪日向 灘	⑫紀伊 半島	⑬和歌 山	⑭四国	⑮紀伊半 島	⑯四国
	⑧東側	⑩西側	全	地	地	地	プ	プ
	全	全	全	地	地	地	プ	プ
地震活動指数	5	4	5	4	4	8	5	4
平均回数	11.8	15.0	20.6	22.9	42.1	30.5	27.6	28.2
MLきい値	2.5	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
クラスタ 除去	距離		10km	10km	10km	3km	3km	3km
	日数		10日	10日	10日	7日	7日	7日
対象期間	720日	360日	60日	120日	60日	90日	30日	30日
深さ	0～ 100km	0～ 100km	0～ 100km	0～ 20km	0～ 20km	0～ 20km	20～ 100km	20～ 100km

\* 基準期間は、全領域1997年10月1日～2020年01月31日

\* 領域欄の「地」は地殻内、「プ」はフィリピン海プレート内で発生した地震であることを示す。ただし、震源の深さから便宜的に分類しただけであり、厳密に分離できていない場合もある。「全」は浅い地震から深い地震まで全ての深さの地震を含む。

\* ⑨の領域(三重県南東沖)は、2004年9月5日以降の地震活動の影響で、地震活動指数を正確に計算できないため、掲載していない。



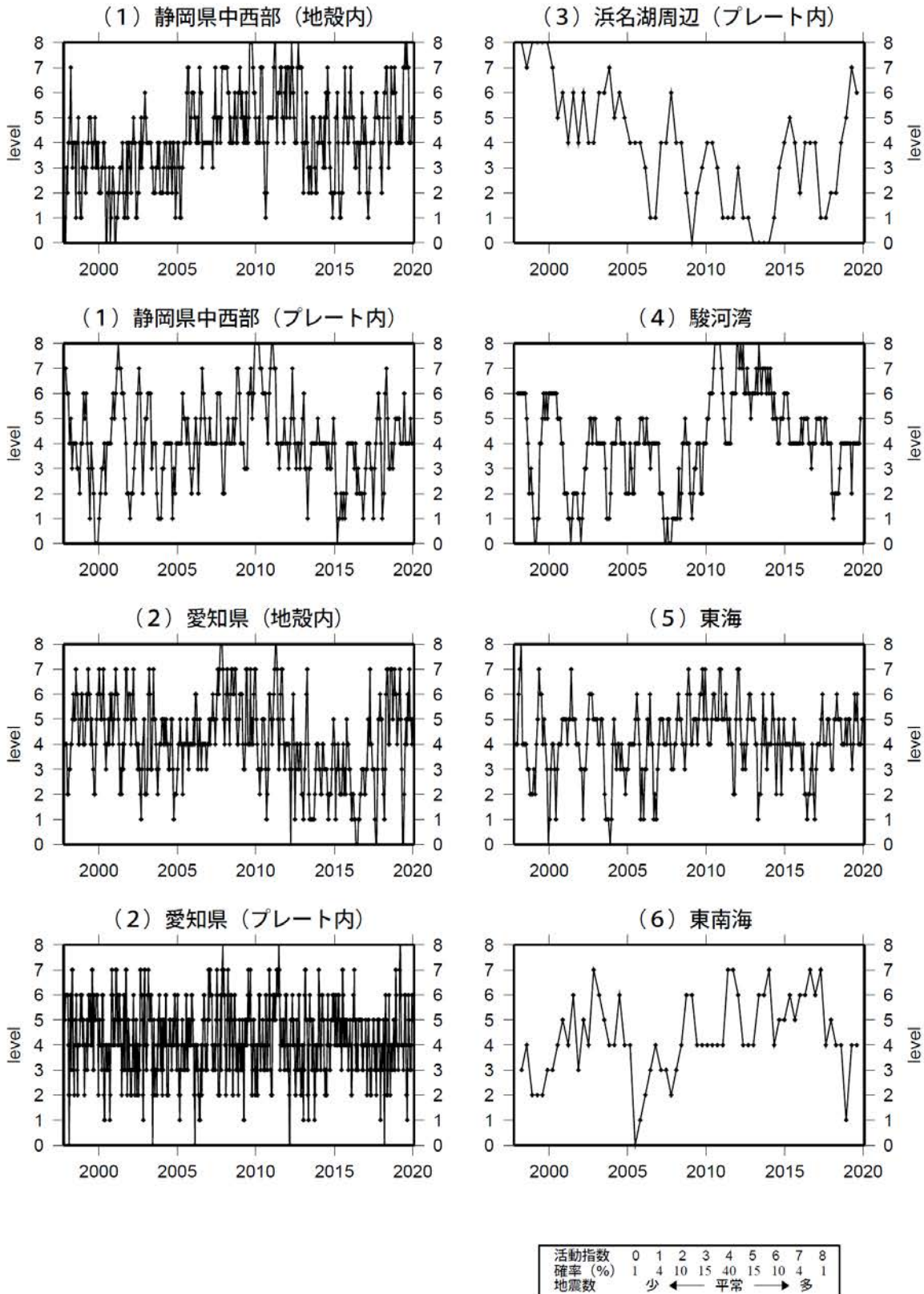
\* 黒色実線は、南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す。

\* Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)によるプレート境界の等深線を破線で示す。

気象庁作成

地震活動指数一覧

2020年01月31日

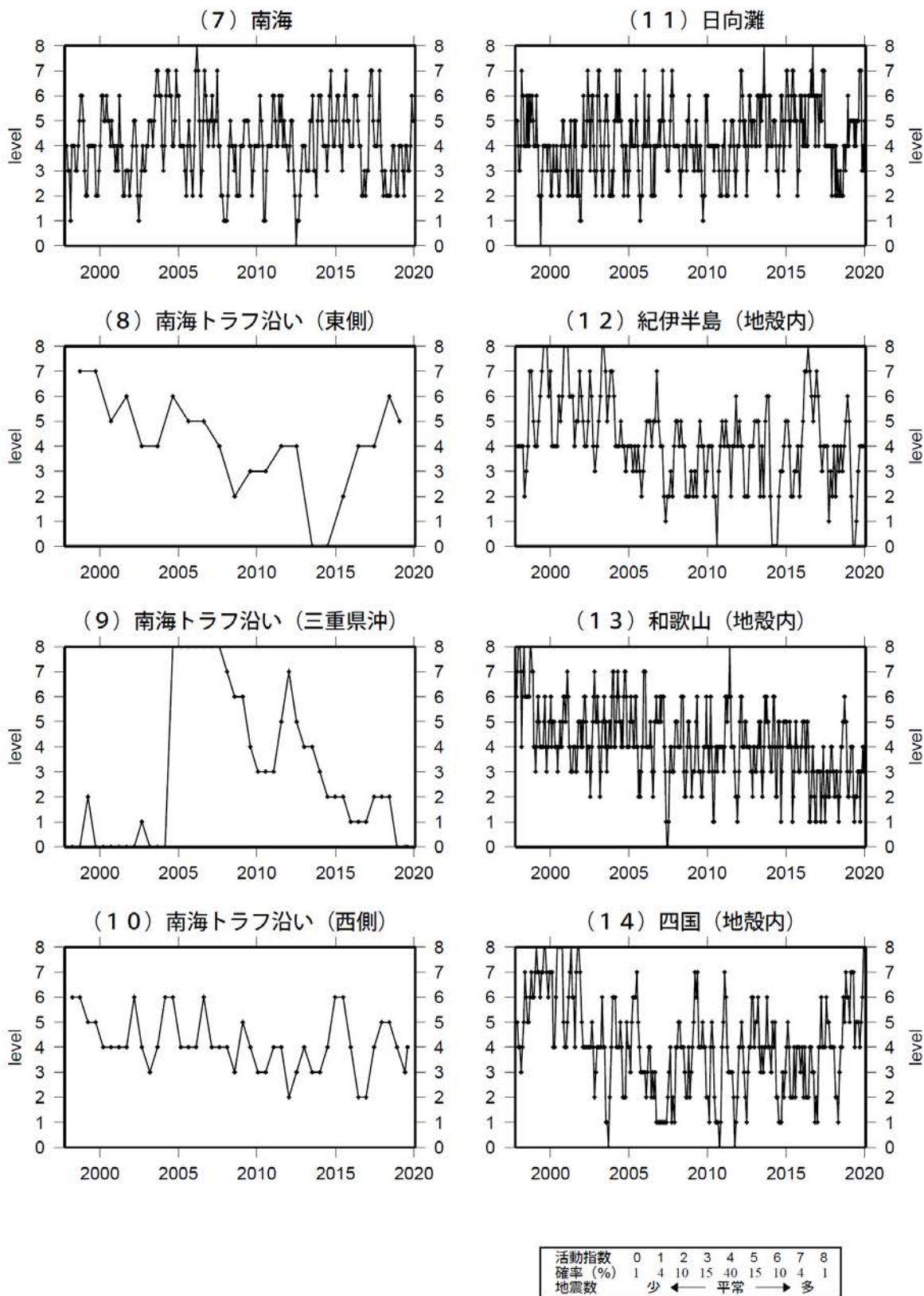


気象庁作成



地震活動指数一覧

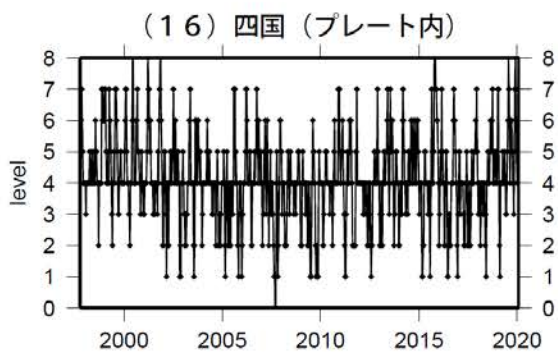
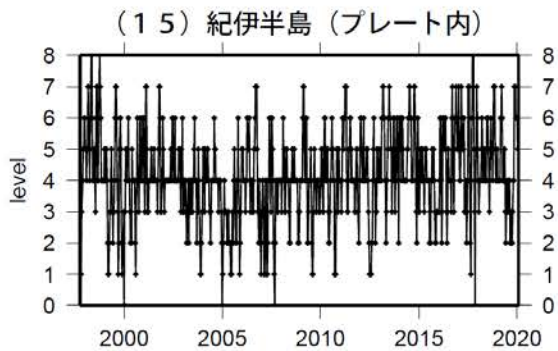
2020年01月31日



気象庁作成

地震活動指数一覧

2020年01月31日



活動指数	0	1	2	3	4	5	6	7	8
確率 (%)	1	4	10	15	40	15	10	4	1
地震数	少	← 平常		→		多			

気象庁作成

● 日本の主な火山活動

全国月間火山概況（令和2年1月）

警報・予報事項に変更のあった火山は以下のとおりです。その他の火山では、警報・予報事項に変更はありません（令和2年2月10日14時現在）。

霧島山（新燃岳）では、1月2日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

表1 令和2年2月10日現在の火山現象に関する警報及び予報の発表状況

特別警報・警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島、口永良部島
	入山危険	西之島※
	レベル2（火口周辺規制）	草津白根山（白根山（湯釜付近））、阿蘇山、霧島山（新燃岳）、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福徳岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山、岩木山、八甲田山、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、日光白根山、草津白根山（本白根山）、浅間山、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島、鶴見岳・伽藍岳、九重山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（御鉢）
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、恐山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳、高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ペルタル山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表中。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>



図1 火山現象に関する警報を発表中の火山

**【各火山の活動状況及び警報・予報事項】（1月1日～2月3日）**

全国の主な火山の活動状況及び警報・予報事項は以下のとおりです。その他の火山については、警報・予報事項に変更はありません。

**草津白根山（白根山（湯釜付近））[火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]**

2019年9月上旬頃から、湯釜付近浅部の火山性地震がやや増加し、湯釜浅部の膨張を示す傾斜変動が観測されています。引き続き、小規模な水蒸気噴火が発生する可能性があります。

湯釜火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側で火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

**西之島 [火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報]**

海上保安庁が17日に実施した上空からの観測で、前回観測（2019年12月31日）に引き続き噴火が確認されました。また、気象衛星ひまわりの観測によると、引き続き西之島付近で周囲に比べて温度の高い領域が認められています。

今後も噴火が継続する可能性がありますので、山頂火口から概ね2.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

**硫黄島 [火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報]**

GNSS連続観測によると、隆起を示す地殻変動がみられています。また、硫黄島の島内は全体的に地温

が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では噴火に警戒してください。

#### **福岡ノ場【噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報】**

海上保安庁、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されるなど、活動はやや活発な状態で経過しています。今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では海底噴火に警戒してください。また、周辺海域では海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

#### **阿蘇山【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】**

阿蘇山では、噴火が継続しています。

火山性微動の平均振幅は、やや大きい状態で経過し、一時的に更に大きくなるなど変動を繰り返しました。火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、多い状態で経過しました。

火山活動の高まった状態が続いていますので、中岳第一火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

#### **霧島山（新燃岳）【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】 ←2日に火口周辺警報を発表し噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引上げ**

新燃岳では、火口直下を震源とする火山性地震が2019年12月下旬以降時々増加し、2020年1月2日には火山性地震の発生回数が21回と多い状態になりました。このため、噴火が発生するおそれがあることから2020年1月2日22時40分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

GNSS連続観測では、霧島山の深い場所でのマグマの蓄積を示すと考えられる基線の伸びは2019年2月以降停滞しています。

弾道を描いて飛散する大きな噴石が新燃岳火口から概ね2kmまで、火砕流が概ね1kmまで達する可能性があります。そのため、新燃岳火口から概ね2kmの範囲では警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等が行う立入規制等にも留意してください。

#### **桜島【火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）】**

南岳山頂火口では、引き続き噴火（爆発含む）が発生しています。噴煙は最高で火口縁上2,500mまで上がり雲に入りました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は最大で4合目（南岳山頂火口から1,300mから1,700m）まで達しました。

桜島島内の傾斜計及び伸縮計では、2019年9月上旬頃から山体の隆起及び膨張と考えられる変化がみられましたが、同年10月下旬以降は鈍化しています。また、島内のGNSS連続観測でも、2019年9月頃から山体膨張に伴うとみられるわずかな伸びが観測されています。

南岳山頂火口では活発な噴火活動が続いており、その中で山体膨張と考えられる地殻変動がみられていること、火山ガス（二酸化硫黄）の1日あたりの放出量が多い状態が続いていることから、南岳山頂火口を中心に、今後も噴火が発生すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

#### **薩摩硫黄島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】**

薩摩硫黄島では、2019年11月3日以降、噴火は観測されていません。

地震や微動の発生状況、地殻変動の状況に特段の変化はありませんが、夜間に火映が観測され、時折噴煙が高くなるなど、長期的には熱活動が高まった状態が続いていることから、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

#### **口永良部島【火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）】**

口永良部島では、1月11日15時05分に新岳火口で噴火が発生しました。口永良部島で噴火が発生したのは、2019年2月2日以来です。また、2月3日05時31分（期間外）に発生した噴火では、噴火に伴い、大きな噴石が火口から約600mまで飛散し、火砕流が新岳火口から南西側へ最長1.5km程度流下したのを確認しました。火砕流を伴う噴火を確認したのは、2019年1月29日以来です。

火山性地震が一時的に増加し、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量も多い状態が続くなど、火山活動が高まった状態となっています。

新岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

#### **諏訪之瀬島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】**

御岳<sup>みたけ</sup>火口では、活発な噴火活動が続いています。

諏訪之瀬島では、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

（火山の順は日本活火山総覧（第4版）による）

資料1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ

(1) 主な活火山

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年9月29日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日噴火予報（平常） 2008年11月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常） 2015年7月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年11月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年12月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	大雪山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十勝岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年12月16日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年2月24日噴火予報（レベル1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	倶多楽	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年10月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	有珠山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年6月9日噴火予報（レベル1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
東北地方	恵山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	岩木山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	秋田焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年7月25日噴火予報（レベル1、平常）
	八甲田山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十和田	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	岩手山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年10月27日噴火予報（レベル1、平常）
	鳥海山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年3月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	栗駒山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	蔵王山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年4月13日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年6月16日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年1月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）

令和2年1月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
東北地方	吾妻山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月22日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年6月17日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	安達太良山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	日光白根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年11月27日噴火予報（活火山であることに留意）
	草津白根山（白根山（湯釜付近））	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常）切替 2014年6月3日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年6月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年4月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年9月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	草津白根山（本白根山）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年1月23日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年1月23日火口周辺警報（入山危険） 2018年3月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	浅間山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日噴火予報（レベル1、平常） 2015年6月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年8月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2019年8月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年11月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
新潟焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）	
弥陀ヶ原	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	
焼岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）	
乗鞍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	
御嶽山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2014年9月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年9月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年1月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年3月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年6月26日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年8月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	



令和2年1月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	白山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年9月2日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	富士山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	箱根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2015年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月30日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年9月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年10月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	新島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	神津島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	三宅島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八丈島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	青ヶ島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	ベヨネース列岩	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2017年3月24日噴火警報（周辺海域警戒） 2018年10月31日噴火予報（活火山であることに留意）
	西之島	火口周辺警報（入山危険）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年11月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2014年6月3日火口周辺警報（入山危険） 2014年6月11日火口周辺警報（入山危険）切替 2015年2月24日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年2月17日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年8月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2017年2月14日噴火予報（活火山であることに留意） 2017年4月20日火口周辺警報（入山危険） 2018年6月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年7月13日火口周辺警報（入山危険） 2018年10月31日火口周辺警報（火口周辺危険） 2019年12月5日火口周辺警報（入山危険） 2019年12月16日火口周辺警報（入山危険）切替
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険）
	福德岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火警報（周辺海域警戒）
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	九重山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）

令和2年1月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	阿蘇山	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常) 2011年5月16日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2011年6月20日噴火予報(レベル1、平常) 2013年9月25日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2013年10月11日噴火予報(レベル1、平常) 2013年12月27日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2014年3月12日噴火予報(レベル1、平常) 2014年8月30日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2015年9月14日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2015年11月24日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2016年10月8日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2016年12月20日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2017年2月7日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2019年3月12日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2019年3月29日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2019年4月14日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	雲仙岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常)
	霧島山	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2016年12月6日噴火予報(活火山であることに留意)
	霧島山(えびの高原(硫黄山)周辺)	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2014年10月24日火口周辺警報(火口周辺危険) 2015年5月1日噴火予報(平常) 2016年2月28日火口周辺警報(火口周辺危険) 2016年3月29日噴火予報(活火山であることに留意) 2016年12月6日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2016年12月12日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2017年1月13日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2017年5月9日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2017年10月31日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2018年2月20日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2018年4月19日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2018年5月1日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2019年4月18日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	霧島山(新燃岳)	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常) 2008年8月22日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年10月29日噴火予報(レベル1、平常) 2010年3月30日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2010年4月16日噴火予報(レベル1、平常) 2010年5月6日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2011年1月26日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2011年1月31日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2011年2月1日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2011年3月22日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2012年6月26日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2013年10月22日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2017年5月26日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2017年10月5日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2017年10月11日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2017年10月15日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2017年10月31日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2018年3月1日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2018年3月10日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2018年3月15日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2018年6月28日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2019年1月18日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2019年2月25日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2019年4月5日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2019年11月18日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2019年12月20日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2020年1月2日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)

令和2年1月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2018年2月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	桜島	火口周辺警報（レベル3、入山規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年7月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2010年9月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年10月13日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2012年3月12日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年3月21日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年8月15日噴火警報（レベル4、避難準備） 2015年9月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年2月5日火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	薩摩硫黄島	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年11月29日噴火予報（レベル1、平常） 2013年6月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年7月10日噴火予報（レベル1、平常） 2017年1月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月24日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年3月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年11月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	口永良部島	火口周辺警報（レベル3、入山規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日噴火予報（レベル1、平常） 2011年12月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年1月20日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年5月29日噴火警報（レベル5、避難） 2015年10月21日噴火警報（レベル5、避難）切替 2016年6月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年4月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年8月15日噴火警報（レベル4、避難準備） 2018年8月29日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2019年6月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年10月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

注) 特別警報、警報及び予報の発表履歴欄には、2007年12月1日の火山現象に関する警報・予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示しています。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示しています。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルを示しています。

（2）その他の活火山

以下の活火山（\*印を除く）では2007年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。また、\*印の活火山では、活火山として選定された2011年6月7日に噴火予報（平常）を発表し、\*\*印の活火山では、活火山として選定された後の2017年12月5日に噴火予報（活火山であることに留意）を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、男体山**、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカンダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山

注）2015年5月18日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更しました。

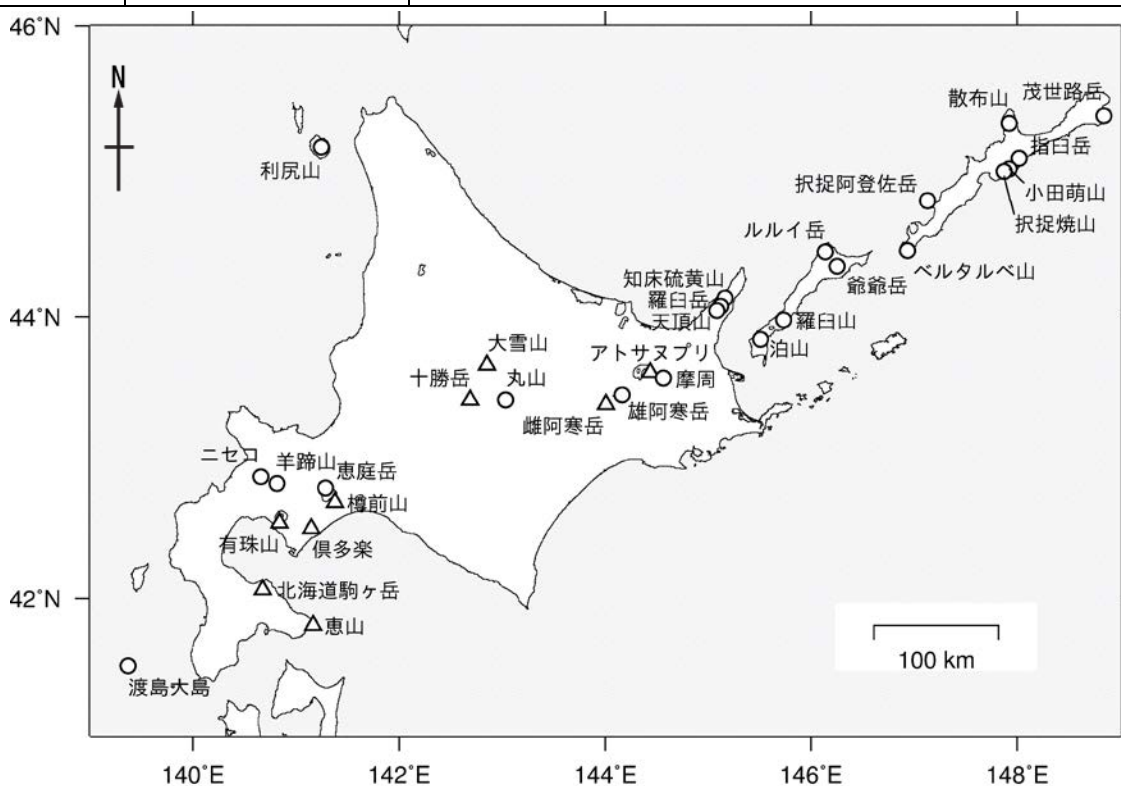
## ○ 北海道地方の火山活動

### 管内月間火山概況（令和2年1月）

札幌管区気象台  
地域火山監視・警報センター

#### 噴火警報及び噴火予報の発表状況（1月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山



凡例		
噴火警戒レベル対象火山	▲：噴火警報発表中	△：噴火予報発表中
噴火警戒レベル対象外の火山	●：噴火警報発表中	○：噴火予報発表中

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は札幌管区気象台のホームページ(<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ([https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php))でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。  
<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省北海道開発局、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、北海道、地方独立行政法人北海道立総合研究機構地質研究所及び森町のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政区・海岸線）』を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。

**各火山の活動状況及び予報警報事項（1月1日～31日）**

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

**アトサヌプリ〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

**大雪山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

20日から62-2火口方向が上下する傾斜変動が観測され、火山性地震の増加と微動が観測されました。

十勝岳では、2006年以降、山体浅部が膨張した状態を維持していると考えられ、噴煙高の高い状態、地熱域の拡大や温度上昇、火山性地震の一時的な増加など、火山活動の活発化を示唆する現象も観測されていますので、火山活動の推移には注意が必要です。

**樽前山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

一方、山頂溶岩ドーム周辺では、1999年以降、高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

**倶多楽〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**有珠山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**北海道駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**恵山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

## ○ 東北地方の火山活動

### 管内月間火山概況（令和2年1月）

仙台管区気象台  
地域火山監視・警報センター

#### 噴火警報及び噴火予報の発表状況（1月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	岩木山、八甲田山、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山
	活火山であることに留意	恐山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳

#### 各火山の活動状況及び予報警報事項（1月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

**岩木山**〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**八甲田山**〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**十和田**〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**秋田焼山**〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**岩手山**〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**秋田駒ヶ岳**〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

今期間、火山活動に特段の変化はありませんでした。

山頂付近では、2017年9月以降、火山性地震の活動がやや活発な状況が続いており、2018年9月頃からは女岳付近の地震がやや増加しています。地熱活動も引き続き認められており、今後の火山活動の推移に注意してください。

**鳥海山**〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



**栗駒山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**蔵王山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

火山活動に特段の変化はありませんでした。

蔵王山では、2013年以降、時々、火山性地震や火山性微動が発生し、地殻変動がみられています。今後の火山活動の推移に注意してください。

**吾妻山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

火山活動に特段の変化はなく、活発化を示す傾向は認められません。

大穴火口付近では熱活動が継続しており、噴出現象が突発的に発生する可能性があることに留意してください。また、入山する際には火山ガスに注意してください。

**安達太良山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**磐梯山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

---

この管内月間火山概況は、仙台管区気象台のホームページ (<https://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ ([https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)) でも閲覧することができます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、東北大学、弘前大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、青森県及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。



# ○ 関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動

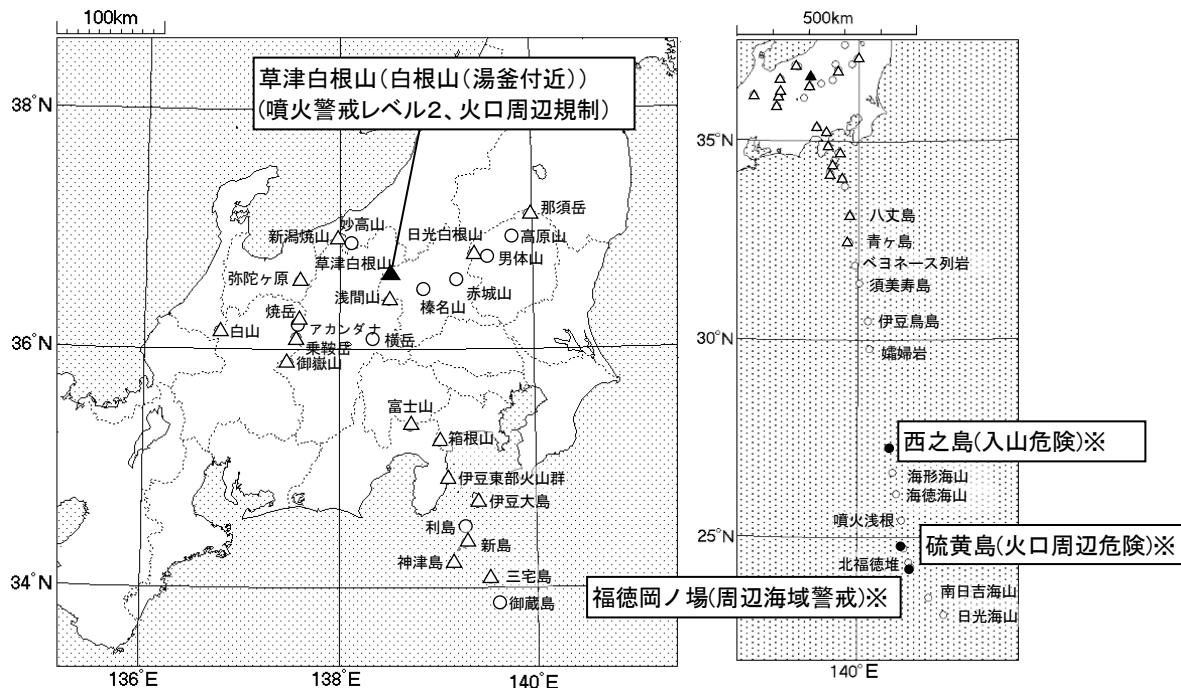
## 管内月間火山概況（令和2年1月）

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター

### 噴火警報及び噴火予報の発表状況（1月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	入山危険	西之島※
	レベル2（火口周辺規制）	草津白根山（白根山（湯釜付近））
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福徳岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	那須岳、日光白根山、草津白根山（本白根山）、浅間山、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島
	活火山であることに留意	高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山

※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中です。



凡例	
噴火警戒レベル対象火山	▲：噴火警報発表中 △：噴火予報発表中
噴火警戒レベル対象外の火山	●：噴火警報発表中 ○：噴火予報発表中

\*噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページ ([https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)) でも閲覧することができます。本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、北陸地方整備局、関東地方整備局、中部地方整備局、国土地理院、海上保安庁、海上自衛隊、東北大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、東京都、新潟県、長野県、岐阜県、神奈川県、神奈川県温泉地学研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

## 各火山の活動状況及び予報警報事項（1月1日～31日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

### 那須岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

### 日光白根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

### 草津白根山（白根山（湯釜付近））〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

2019年9月上旬頃から、湯釜付近浅部の火山性地震がやや増加し、湯釜浅部の膨張を示す傾斜変動が観測されています。引き続き、小規模な水蒸気噴火が発生する可能性があります。

湯釜火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側で火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

### 草津白根山（本白根山）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ただし、2018年1月のように突発的に噴火が発生したことを踏まえ、今後も火口付近では、突発的な噴出に注意する必要があります。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

### 浅間山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

噴煙量及び火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は概ね少ない状態で経過しています。火山性地震は少ない状態で経過しています。深部からのマグマ上昇を示す地殻変動は観測されていません。

以上から、浅間山の火山活動は低下した状態ですが、今後も火口から500mの範囲に影響を及ぼす程度のごく小規模な噴火の可能性がありますので、地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。突発的な火山灰噴出や火山ガス等に注意してください。

### 新潟焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

噴煙活動及び地震活動は低下した状態が続いています。

しかしながら、新潟焼山はこれまでも噴気活動の活発化を繰り返しているため、今後の活動の推移に注意してください。

### 弥陀ヶ原〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

立山地獄谷では熱活動が活発な状態が続いています。2012年6月以降の観測で噴気の拡大・活発化や温度の上昇が確認されていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。また、この付近では火山ガスに注意してください。

### 焼岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

山頂付近の微小な地震活動が継続しており、GNSS連続観測では山頂部付近で緩やかな膨張が続いているとみられます。中長期的に焼岳の火山活動は高まってきており、今後の火山活動の推移に注意してください。

### 乗鞍岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

### 御嶽山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

噴煙活動や山頂直下付近の地震活動は緩やかな低下が続いており、火山活動の静穏化の傾向が続いています。

ただし、2014年に噴火が発生した火口列の一部の噴気孔では、引き続き噴気が勢いよく噴出しています。状況によっては、火山灰等のごく小規模な噴出が突発的に発生する可能性があります。

噴気活動の活発な噴気孔から概ね500mの範囲では、突発的な火山灰等のごく小規模な噴出に注意が必要です。

地元自治体等が行う立入規制等に留意し、登山する際はヘルメットを持参するなどの安全対策をしてください。

**白山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**富士山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**箱根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

29日に、神山付近から駒ヶ岳付近で地震が一時的に増加しましたが、概ね地震活動は低調で、地殻変動観測でも特段の変化はみられていません。

ただし、大涌谷周辺の想定火口域では活発な噴気活動が続いていますので、火山灰等の突発的な噴出現象に注意する必要があります。

**伊豆東部火山群〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**伊豆大島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

地殻変動観測によると、短期的な膨張と収縮を繰り返しながら、長期的には地下深部へのマグマ供給によると考えられる島全体の膨張傾向が続いています。ただちに噴火が発生する兆候は認められませんが、長期的には山体の膨張が継続していることから、今後の火山活動の推移に注意してください。

**新島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**神津島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**三宅島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

火山ガス放出量は、少ない状態で経過しています。

主火口における噴煙活動が継続していることから、火口内では火山灰等が突発的に噴出する可能性がありますので、山頂火口内及び主火口から500m以内では火山灰噴出に警戒してください。

**八丈島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**青ヶ島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕**

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**西之島〔火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報〕**

海上保安庁が17日に実施した上空からの観測で、前回観測（2019年12月31日）に引き続き噴火が確認されました。また、気象衛星ひまわりの観測によると、引き続き西之島付近で周囲に比べて温度の高い領域が認められています。

今後も噴火が継続する可能性がありますので、山頂火口から概ね2.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

**硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕**

GNSS連続観測によると、隆起を示す地殻変動がみられています。また、硫黄島の島内は全体的に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では噴火に警戒してください。

**福徳岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕**

海上保安庁、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福徳岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されるなど、活動はやや活発な状態で経過しています。今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域

## 令和2年1月 地震・火山月報（防災編）

では海底噴火に警戒してください。また、周辺海域では海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

## ○ 近畿・中国・四国地方の火山活動

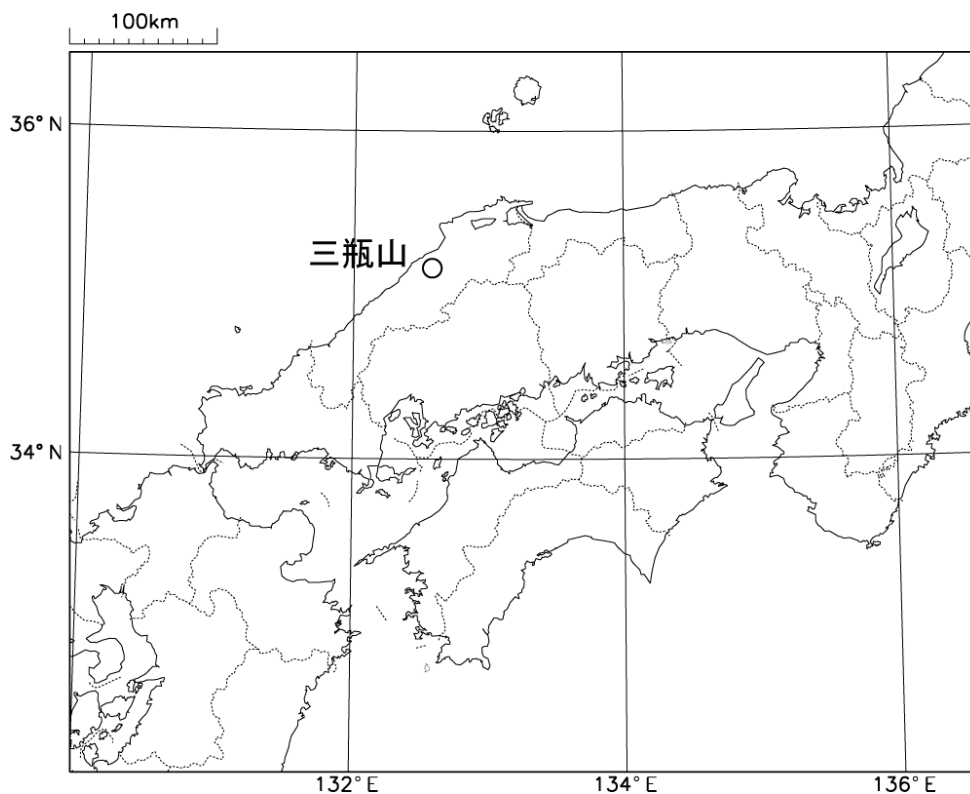
### 管内月間火山概況（令和2年1月）

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター  
大阪管区气象台地震火山課

#### 噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況（1月31日現在）

##### 三瓶山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページ ([https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)) でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平29情使、第798号）。

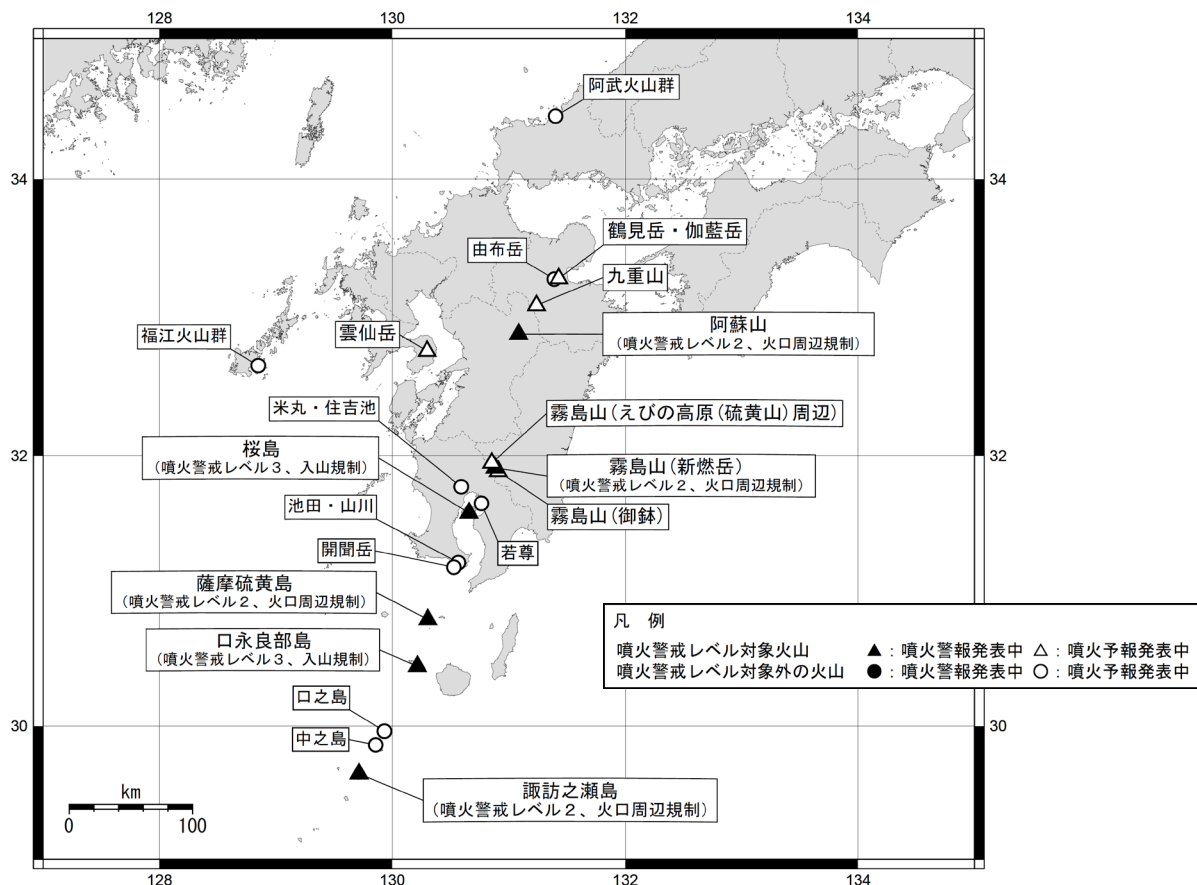
# ○ 九州地方の火山活動

## 管内月間火山概況（令和2年1月）

福岡管区気象台  
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（令和2年1月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島、口永良部島
	レベル2（火口周辺規制）	阿蘇山、霧島山（新燃岳）、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	鶴見岳・伽藍岳、九重山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（御鉢）
	活火山であることに留意	阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島



噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は福岡管区気象台ホームページ（<https://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>）や気象庁ホームページ（[https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)）でも閲覧することができます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、九州地方整備局、国土地理院、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、大分県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、屋久島町、三島村、十島村及び阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

## 各火山の活動状況及び予報警報事項（1月1日～2月3日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

霧島山（新燃岳）では、2日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）へ引き上げました。

### 鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

### 九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はありませんが、2014年以降、硫黄山付近の噴気孔群地下の温度上昇を示唆する全磁力の変化がみられており、わずかに火山活動が高まっている可能性があります。今後の火山活動に留意してください。

### 阿蘇山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

阿蘇山では、噴火が継続しています。

火山性微動の平均振幅は、やや大きい状態で経過し、一時的に更に大きくなるなど変動を繰り返しました。火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、多い状態で経過しました。

火山活動の高まった状態が続いていますので、中岳第一火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

### 雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はありませんが、2010年頃から普賢岳から平成新山直下の深さ1～2kmを震源とする火山性地震が時々発生していますので、今後の火山活動に留意してください。

### 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

硫黄山では活発な噴気活動が続いていますが、火山性地震は少ない状態で経過しています。また、GNSS連続観測では、硫黄山近傍の基線の伸びは2019年2月頃から概ね停滞しています。

火山活動に特段の変化は認められませんが、現在活発な噴気活動がみられている硫黄山の西側500mの噴気地帯から概ね100mの範囲、及び硫黄山火口内では、熱水・熱泥等が飛散する可能性がありますので注意してください。また、火山ガスにも注意が必要です。地元自治体等が行う立ち入り規制に従うとともに、火口周辺や噴気孔の近くには留まらないでください。

### 霧島山（新燃岳） [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）] ←2日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）へ引上げ

新燃岳では、火口直下を震源とする火山性地震が2019年12月下旬以降時々増加し、2020年1月2日には火山性地震の発生回数が21回と多い状態になりました。このため、噴火が発生するおそれがあることから2020年1月2日22時40分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

GNSS連続観測では、霧島山の深い場所でのマグマの蓄積を示すと考えられる基線の伸びは2019年2月以降停滞しています。

弾道を描いて飛散する大きな噴石が新燃岳火口から概ね2kmまで、火砕流が概ね1kmまで達する可能性があります。そのため、新燃岳火口から概ね2kmの範囲では警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等が行う立入規制等にも留意してください。

### 霧島山（御鉢） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

さくらじま

### 桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

南岳山頂火口では、引き続き噴火（爆発含む）が発生しています。噴煙は最高で火口縁上 2,500m まで上がり雲に入りました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は最大で4合目（南岳山頂火口から 1,300mから 1,700m）まで達しました。

桜島島内の傾斜計及び伸縮計では、2019年9月上旬頃から山体の隆起及び膨張と考えられる変化がみられましたが、同年10月下旬以降は鈍化しています。また、島内のGNSS連続観測でも、2019年9月頃から山体膨張に伴うとみられるわずかな伸びが観測されています。

南岳山頂火口では活発な噴火活動が続いており、その中で山体膨張と考えられる地殻変動がみられていること、火山ガス（二酸化硫黄）の1日あたりの放出量が多い状態が続いていることから、南岳山頂火口を中心に、今後も噴火が発生すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

さつまいおうじま

### 薩摩硫黄島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

薩摩硫黄島では、2019年11月3日以降、噴火は観測されていません。

地震や微動の発生状況、地殻変動の状況に特段の変化はありませんが、夜間に火映が観測され、時折噴煙が高くなるなど、長期的には熱活動が高まった状態が続いていることから、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

くちのえらぶじま

### 口永良部島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

口永良部島では、1月11日15時05分に新岳火口で噴火が発生しました。口永良部島で噴火が発生したのは、2019年2月2日以来です。また、2月3日05時31分（期間外）に発生した噴火では、噴火に伴い、大きな噴石が火口から約600mまで飛散し、火砕流が新岳火口から南西側へ最長1.5km程度流下したのを確認しました。火砕流を伴う噴火を確認したのは、2019年1月29日以来です。

火山性地震が一時的に増加し、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量も多い状態が続くなど、火山活動が高まった状態となっています。

新岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

すわのせじま

### 諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

御岳火口では、活発な噴火活動が続いています。

諏訪之瀬島では、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報事項に変更はありません。



## ○ 沖縄地方の火山活動

### 管内月間火山概況（令和2年1月）

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター  
沖縄气象台地震火山課

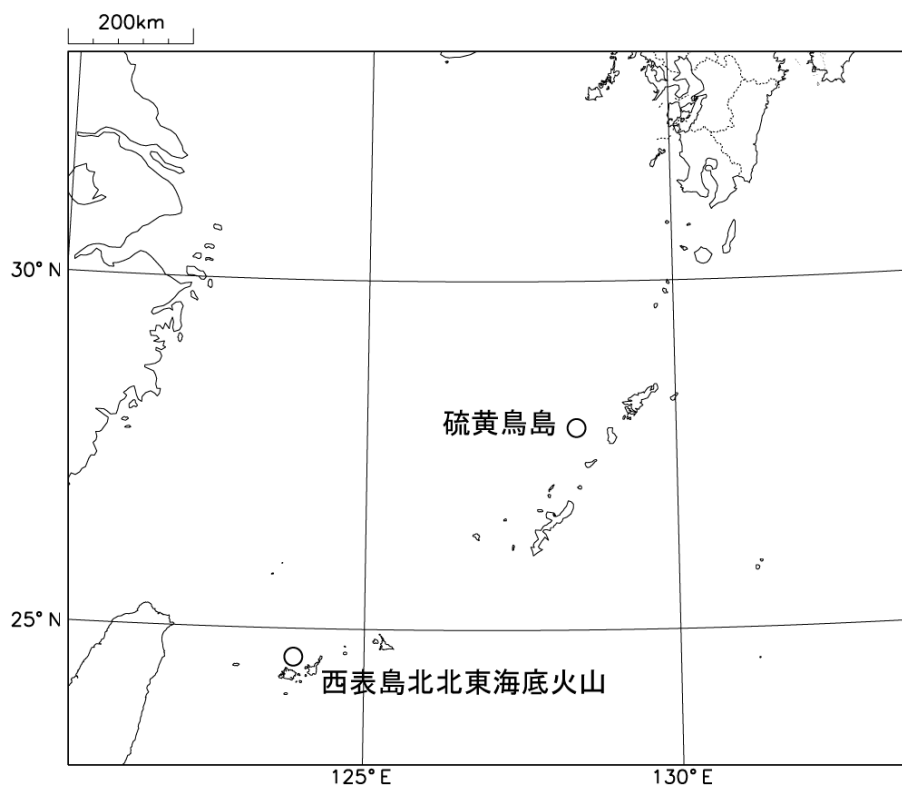
#### 噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況（1月31日現在）

##### 硫黄鳥島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

14日に実施した海上からの観測では、硫黄岳火口内やグスク火山火口周辺で噴気が認められました。火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

##### 西表島北北東海底火山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページ（[https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)）でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平29情使、第798号）。

表 令和2年1月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等		概要
西之島	火口周辺警報（入山危険）	解説情報第1号	20日 15時30分	気象衛星ひまわりによる西之島付近の周囲に比べて温度の高い領域の状況。 海上保安庁の観測による噴火の状況。
桜島	火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）	解説情報第1号～9号	3日、6日、10日 14日、17日、20日 24日、27日、31日 16時00分	噴火の状況。地殻変動、噴煙、火山性地震・微動等火山活動の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
		降灰予報（速報）	16日 04時38分 29日 12時24分 30日 16時44分	噴火発生から1時間以内に予想される降灰量分布や小さな噴石の落下範囲を予想。
		降灰予報（詳細）	16日 04時52分 29日 12時36分 30日 13時28分 16時55分	噴火発生から6時間先までに予想される降灰量分布や降灰開始時刻を予想。
口永良部島	火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）	解説情報第1号～14号	3日、6日、10日、11日 16時00分 12日 16時10分 14日、17日、20日、24日 16時00分 26日 15時00分 27日 04時50分 16時00分 29日、31日 16時00分	噴火の状況。噴煙、火山性地震等火山活動の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
		降灰予報（速報）	11日 15時13分	噴火発生から1時間以内に予想される降灰量分布や小さな噴石の落下範囲を予想。
		降灰予報（詳細）	11日 15時23分 15時46分	噴火発生から6時間先までに予想される降灰量分布や降灰開始時刻を予想。
草津白根山（白根山（湯釜付近））	火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）	解説情報第1号～9号	3日、6日、10日、13日、17日、20日、24日、27日、31日 16時00分	火山性地震、地殻変動、湯釜火口内の状況等火山活動の状況。
阿蘇山	火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）	解説情報第1号～9号	3日、6日、10日、14日、17日、20日、24日、27日、31日 16時00分	噴火の状況。 火山性地震・微動、地殻変動等火山活動の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
		降灰予報（詳細）	5日 15時25分 10日 15時12分 11日 15時18分 24日 21時23分 25日 03時13分 26日 03時13分	噴火発生から6時間先までに予想される降灰量分布や降灰開始時刻を予想。
霧島山（新燃岳）	火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）	火口周辺警報	2日 22時40分	火口直下を震源とする火山性地震が増加し、火山活動が活発になっていることから、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）に引上げ。 火山性地震・微動、地殻変動、現地調査による噴煙や地熱域の状況等火山活動の状況。
		解説情報第1号～10号	2日 23時15分 3日 16時00分 6日 16時05分 10日、14日、17日、20日、24日、27日、31日 16時00分	
薩摩硫黄島	火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）	解説情報第1号～4号	6日、14日、20日、27日 16時00分	火山性地震、地殻変動等火山活動の状況。
諏訪之瀬島	火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）	解説情報第1号～5号	3日、10日、17日、24日、31日 16時00分	噴火の状況。 噴煙、火山性地震等火山活動の状況。

令和2年1月 地震・火山月報（防災編）

十勝岳	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、活火山であるこ とに留意)	解説情報 第1号	20日 14時25分	20日の一時的な火山性地震の増加、 傾斜変動を伴う火山性微動の発生等 火山活動の状況。
-----	--	-------------	------------	---

注1) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注2) 草津白根山（白根山（湯釜付近））、阿蘇山、霧島山（新燃岳）、桜島、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島においては、毎日02時から3時間毎に8回降灰予報（定時）を発表している。ただし、霧島山（新燃岳）においては、2日23時から発表を開始している。

## ● 世界の主な地震

令和2年（2020年）1月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

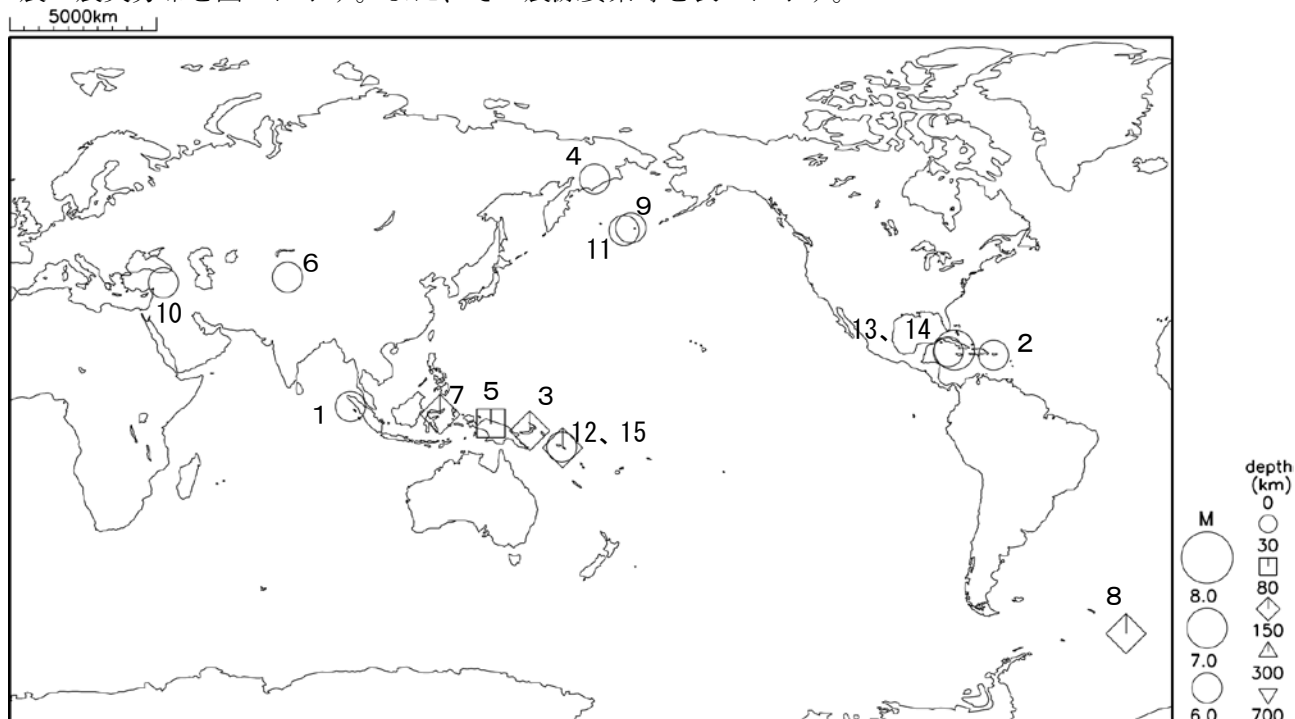


図1 令和2年（2020年）1月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布

表1 令和2年（2020年）1月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北 西	遠 地
1	07日15時05分	N 2° 20.0′	E 96° 20.8′	20			6.2	インドネシア、スマトラ北部			
2	07日17時24分	N17° 54.9′	W 66° 48.7′	10			6.4	プエルトリコ	死者1人など		
3	08日04時11分	S 5° 10.3′	E151° 14.1′	117			6.0	バブアニューギニア、ニューブリテン			
4	09日17時38分	N62° 21.4′	E171° 03.6′	10			6.4	ロシア、シベリア東部			
5	19日01時38分	S 2° 51.2′	E139° 20.0′	34			6.0	インドネシア、イリアンジャヤ北岸			
6	19日22時27分	N39° 50.1′	E 77° 06.5′	6			6.0	中国、シンチアンウイグル自治区南部	死者1人など		
7	20日01時58分	N 0° 06.2′	E123° 48.1′	122			6.1	インドネシア、スラウェシ、ミナハサ半島			
8	20日15時51分	S59° 14.0′	W 26° 16.4′	91			6.1	サウスサンドウィッチ諸島			
9	23日14時53分	N51° 55.1′	W177° 49.6′	10			6.2	アリューシャン列島アンドリアノフ諸島			
10	25日02時55分	N38° 23.3′	E 39° 04.8′	12			6.7	トルコ	死者41人など		
11	26日15時31分	N51° 20.7′	W179° 55.0′	27			6.1	アリューシャン列島アンドリアノフ諸島			
12	27日14時02分	S10° 06.3′	E161° 01.4′	18			6.3	ブーゲンビル-ソロモン諸島			
13	29日04時10分	N19° 25.2′	W 78° 45.7′	15			(7.7)	キューバ			○
14	29日06時55分	N18° 56.7′	W 80° 42.8′	10			6.1	ホンジュラス北方			
15	29日22時49分	S10° 22.4′	E161° 16.8′	87			6.0	ブーゲンビル-ソロモン諸島			

- ・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2020年2月2日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mjの欄に記載したマグニチュード、Mwの欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
- ・被害状況は、出典のないものはOCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所)、国内は、総務省消防庁による。
- ・地震発生時刻は日本時間 [日本時間=協定世界時+9時間] である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (※) を発表したことを表す。
- ※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」 (<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/joho/nwpta.html>) 参照。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- ・深さに「\*」を付したものは、気象庁によるCMT解のセントロイドの深さを表す。

## 1月29日 キューバの地震

2020年1月29日04時10分（日本時間、以下同じ）にキューバの深さ10kmでMw7.7(Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード)の地震が発生した。この地震は、発震機構（気象庁によるCMT解）が北西－東南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、北米プレートとカリブプレートの境界で発生した。

気象庁は、この地震に対して、同日04時38分に遠地地震に関する情報（日本への津波の影響なし）を発表した。この地震によりケイマン諸島（イギリス領）で0.11mの津波を観測した。

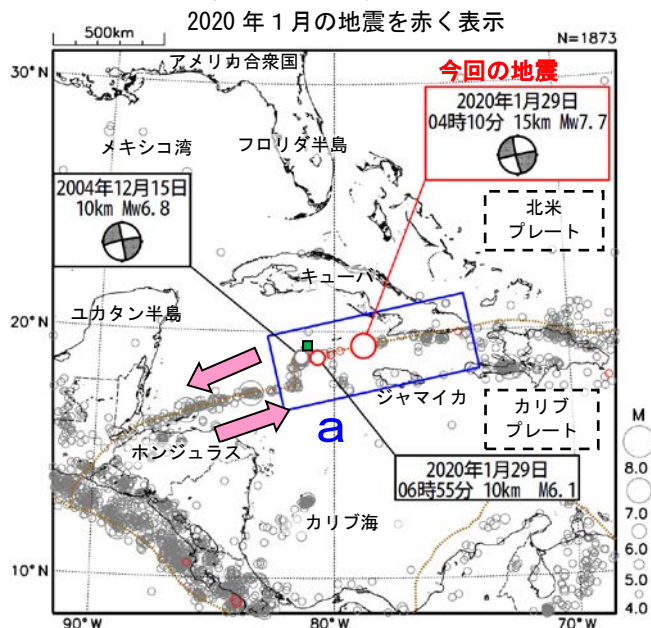
また、この地震の発生から約3時間後に約200km西方のホンジュラス北方の深さ10kmでM6.1の地震が発生した。

2000年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域a）で、2004年12月15日にMw6.8の地震が発生している。

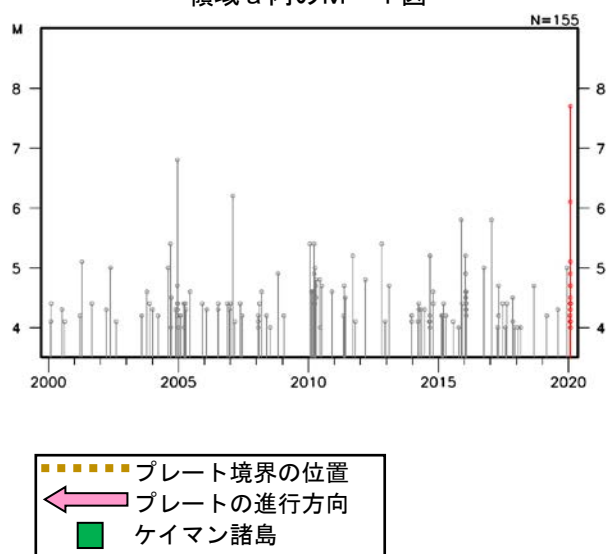
1980年以降の活動をみると、ホンジュラス北方からハイチにかけての地域（領域b）では、M7.0以上の地震が4回発生している。2010年1月13日のMw7.1の地震では、ハイチで死者30万人以上の被害が生じた。

震央分布図

(2000年1月1日～2020年1月31日、  
深さ0～30km、M≥4.0)

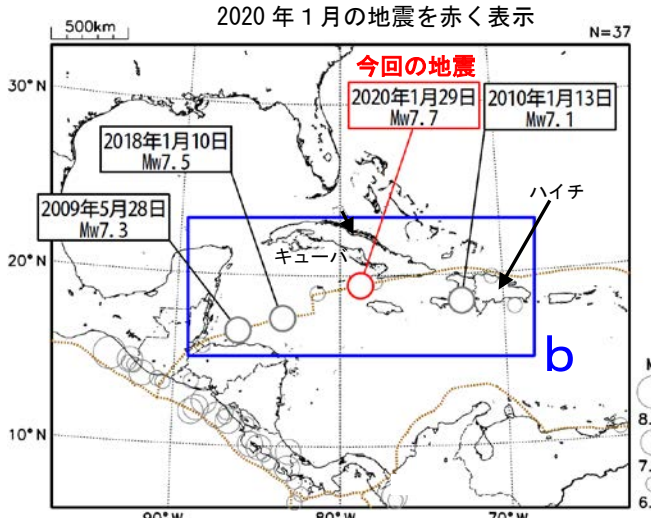


領域a内のM-T図

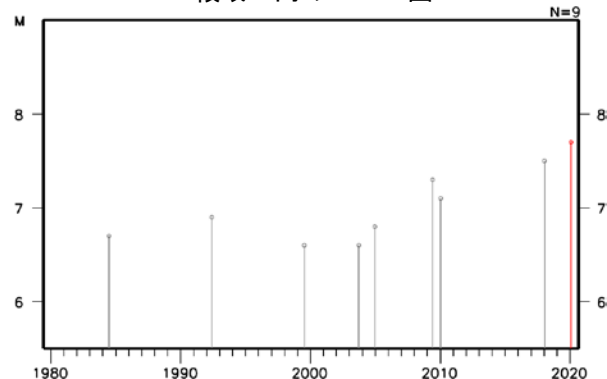


震央分布図

(1980年1月1日～2020年1月31日、  
深さ0～50km、M≥6.5)



領域b内のM-T図



※本資料中、(上図) 今回の地震の発震機構とMwは気象庁、2004年12月15日の地震の発震機構とMwはGlobal CMT、その他の震源要素は米国地質調査所(USGS)による(2020年2月2日現在)。今回の地震の津波の高さは、米国海洋大気庁(NOAA)による。(下図) 図中のMwは気象庁、その他の震源要素はUSGSによる。過去の地震の被害は、宇津の「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置と進行方向はBird(2003)\*より引用。

\*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

## ● 世界の主な火山活動

令和2年（2020年）1月に顕著な被害を伴った噴火が報告された主な火山（日本を除く）\*は以下のとおり。

### タール（Taal） フィリピン 標高311m

12日から13日にかけて顕著な噴火が発生し、10～15kmまで噴煙が上がった。この噴火に伴う降灰により、政府機関が閉鎖されたほか、周辺地域の多くの住民が避難した。

その後、噴火活動は徐々に低下したものの、噴煙活動など活発な状態が継続した。



図 令和2年（2020年）1月に顕著な被害を伴った噴火が発生した主な火山（日本を除く）\*

\* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” ([http://www.volcano.si.edu/reports\\_weekly.cfm](http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm)) による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。

## ● 付録1. 震度1以上を観測した地震の表

※ 震度データは、震度データベース検索 [気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>] で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>] に掲載する。

※ 震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（平成25年12月地震・火山月報（防災編）の付録2参照）を記す。なお、\*のついている地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、(注)を付した地震については、近接した地域でほぼ同時に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に「F」を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。また、本文中で震源の深さにCMT解による深さを採用している場合があり、本表の震源決定による深さと異なる場合がある。震度3以上を観測した地震については、震源要素を**太字**で表示する。

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
1	1 03 56	茨城県北部 茨城県 1 日立市助川小学校* <b>0.9</b>	36° 48.2' N	140° 32.4' E	8km	M: 3.2
2	1 10 12	浦河沖 北海道 1 函館市泊町* <b>0.8</b> 様似町栄町* <b>0.6</b> 青森県 1 東通村砂子又沢内* <b>0.9</b>	41° 48.5' N	142° 30.4' E	69km	M: 3.6
3	1 19 49	岩手県内陸南部 岩手県 1 花巻市大迫町=1.1 花巻市大迫総合支所* <b>1.1</b> 花巻市東和町* <b>1.1</b> 北上市柳原町=0.6 花巻市石鳥谷町* <b>0.5</b> 北上市相去町* <b>0.5</b>	39° 21.3' N	141° 12.3' E	10km	M: 3.1
4	2 06 26	熊本県熊本地方 熊本県 1 菊池市旭志* <b>0.5</b>	32° 51.6' N	130° 52.5' E	11km	M: 2.1
<b>5</b>	<b>3 03 23</b>	<b>千葉県東方沖</b> 茨城県 4 神栖市溝口* <b>3.6</b> 3 神栖市波崎* <b>3.4</b> 銚田市汲上* <b>3.1</b> 稲敷市結佐* <b>3.1</b> 潮来市辻* <b>3.1</b> 小美玉市上玉里* <b>3.0</b> 茨城鹿嶋市宮中* <b>3.0</b> 潮来市堀之内=2.9 常陸太田市金井町* <b>2.9</b> 茨城鹿嶋市鉢形=2.9 ひたちなか市南神敷台* <b>2.9</b> 行方市麻生* <b>2.8</b> 茨城町小堤* <b>2.7</b> 東海村東海* <b>2.7</b> 稲敷市須賀津* <b>2.7</b> 日立市助川小学校* <b>2.7</b> 石岡市石岡* <b>2.7</b> 笠間市石井* <b>2.7</b> 水戸市栗崎町* <b>2.6</b> 行方市山田* <b>2.6</b> ひたちなか市東石川* <b>2.6</b> 銚田市銚田=2.6 銚田市造谷* <b>2.6</b> 那珂市福田* <b>2.5</b> かすみがうら市上土田* <b>2.5</b> 土浦市藤沢* <b>2.5</b> 行方市玉造* <b>2.5</b> つくば市天王台* <b>2.5</b> 笠間市中央* <b>2.5</b> つくばみらい市加藤* <b>2.5</b> 稲敷市江戸崎甲* <b>2.5</b> 2 水戸市金町=2.4 土浦市常名=2.4 取手市井野* <b>2.4</b> 取手市藤代* <b>2.4</b> 河内町源清田* <b>2.4</b> 稲敷市伊佐津* <b>2.4</b> 筑西市舟生=2.4 常総市新石下* <b>2.4</b> かすみがうら市大和田* <b>2.3</b> 桜川市真壁* <b>2.3</b> 水戸市千波町* <b>2.3</b> 常総市水海道諏訪町* <b>2.3</b> 水戸市内原町* <b>2.3</b> 高萩市安良川* <b>2.3</b> 那珂市瓜連* <b>2.3</b> 小美玉市小川* <b>2.3</b> 石岡市柿岡=2.3 石岡市八郷* <b>2.3</b> 小美玉市堅倉* <b>2.2</b> 日立市十王町友部* <b>2.2</b> 日立市役所* <b>2.2</b> 石岡市若宮* <b>2.2</b> つくばみらい市福田* <b>2.2</b> 下妻市鬼怒* <b>2.2</b> 北茨城市中郷町* <b>2.2</b> 大洗町磯浜町* <b>2.2</b> つくば市研究学園* <b>2.2</b> 美浦村受領* <b>2.2</b> 龍ヶ崎市役所* <b>2.1</b> 常陸大宮市山方* <b>2.1</b> 城里町石塚* <b>2.1</b> つくば市小基* <b>2.1</b> 稲敷市役所* <b>2.1</b> 常陸太田市高柿町* <b>2.1</b> 土浦市田中* <b>2.1</b> ひたちなか市山ノ上町=2.1 桜川市岩瀬* <b>2.0</b> 結城市結城* <b>2.0</b> 下妻市本城町* <b>2.0</b> 大子町池田* <b>2.0</b> 阿見町中央* <b>2.0</b> 高萩市本町* <b>2.0</b> 笠間市下郷* <b>2.0</b> 北茨城市磯原町* <b>1.9</b> 笠間市笠間* <b>1.9</b> 常陸太田市町田町* <b>1.9</b> 取手市寺田* <b>1.9</b> 坂東市岩井=1.8 坂東市山* <b>1.8</b> 牛久市中央* <b>1.8</b> 筑西市下中山* <b>1.8</b> 筑西市門井* <b>1.8</b> 茨城古河市仁連* <b>1.8</b> 常陸大宮市北町* <b>1.8</b> 守谷市大柏* <b>1.8</b> 筑西市海老ヶ島* <b>1.7</b> 茨城古河市下大野* <b>1.7</b> 桜川市羽田* <b>1.7</b> 八千代町菅谷* <b>1.7</b> 境町旭町* <b>1.7</b> 常陸大宮市野口* <b>1.7</b> 坂東市馬立* <b>1.7</b> 城里町阿波山* <b>1.7</b> 城里町小勝* <b>1.6</b> 五霞町小福田* <b>1.6</b> 利根町布川=1.6 坂東市役所* <b>1.6</b> 常陸大宮市中富町=1.6 常陸太田市町屋町=1.5 1 常陸大宮市高部* <b>1.3</b> 茨城古河市長谷町* <b>1.3</b> 常陸大宮市上小瀬* <b>1.2</b> 4 銚子市若宮町* <b>3.6</b> 銚子市川口町=3.5 3 銚子市小畑新町=3.3 旭市南堀之内* <b>3.3</b> 香取市役所* <b>3.3</b> 旭市萩園* <b>3.2</b> 旭市高生* <b>3.2</b> 香取市羽根川* <b>3.1</b> 旭市ニ* <b>3.0</b> 多古町多古=2.9 香取市佐原平田=2.9 香取市仁良* <b>2.9</b> 東庄町笹川* <b>2.8</b> 匝瑳市八日市場ハ* <b>2.7</b> 匝瑳市今泉* <b>2.7</b> 東金市日吉台* <b>2.7</b> 香取市佐原諏訪台* <b>2.6</b> 香取市岩部* <b>2.6</b> 横芝光町宮川* <b>2.6</b> 千葉中央区都町* <b>2.6</b> 成田市松子* <b>2.6</b> 山武市埴谷* <b>2.5</b> 山武市蓮沼ハ* <b>2.5</b> 千葉美浜区ひび野=2.5 成田市中台* <b>2.5</b> 千葉佐倉市海隣寺町* <b>2.5</b> 2 白子町関* <b>2.4</b> 横芝光町栗山* <b>2.4</b> 山武市蓮沼ニ* <b>2.4</b> 山武市松尾町五反田* <b>2.4</b> 千葉中央区中央港=2.4 成田国際空港=2.4 成田市役所* <b>2.4</b> 印西市笠神* <b>2.4</b> 東金市東新宿=2.3 東金市東岩崎* <b>2.3</b> 神崎町神崎本宿* <b>2.3</b> 九十九里町片貝* <b>2.3</b> 山武市松尾町富士見台=2.3 山武市殿台* <b>2.3</b> 野田市鶴巻* <b>2.3</b> 市原市姉崎* <b>2.3</b> 富里市七栄* <b>2.3</b> 芝山町小池* <b>2.2</b> 松戸市西馬橋* <b>2.2</b> 八街市八街* <b>2.2</b> 印西市大森* <b>2.2</b> 栄町安食台* <b>2.2</b> 成田市長古屋=2.1 八千代市大和田新田* <b>2.1</b> 浦安市日の出=2.1 睦沢町下之郷* <b>2.0</b> 長生村本郷* <b>2.0</b> 千葉中央区千葉市役所* <b>2.0</b> 千葉花見川区花島町* <b>2.0</b> 千葉若葉区小倉台* <b>2.0</b> 四街道市鹿渡* <b>2.0</b> いすみ市岬町長者* <b>2.0</b> 大網白里市大網* <b>1.9</b> 船橋市湊町* <b>1.9</b> 長南町総合グラウンド=1.9 長南町長南* <b>1.9</b> 印西市美瀬* <b>1.9</b> 白井市復* <b>1.9</b> 鯉南町下佐久間* <b>1.9</b> いすみ市国府台* <b>1.9</b> 野田市東宝珠花* <b>1.8</b> 柏市旭町=1.8 柏市柏* <b>1.8</b> 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷* <b>1.8</b> 酒々井町中央台* <b>1.8</b> 千葉稲毛区園生町* <b>1.8</b> 千葉美浜区稲毛海岸* <b>1.8</b> 成田市猿山* <b>1.8</b> 市原市国分寺台中央* <b>1.7</b> 流山市平和台* <b>1.7</b> 一宮町一宮=1.7 浦安市猫実* <b>1.7</b> 君津市久留里市場* <b>1.7</b> 千葉緑区おゆみ野* <b>1.7</b> 我孫子市我孫子* <b>1.6</b> 習志野市鷺沼* <b>1.6</b> 茂原市道表* <b>1.6</b>	35° 48.6' N	141° 06.9' E	34km	M: 5.8

令和2年1月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		宮城県				柏市大島田*=1.6 君津市久保*=1.5 富津市下飯野*=1.5 いすみ市大原*=1.5 長柄町桜谷*=1.5 木更津市太田=1.5 木更津市富士見*=1.5 鴨川市横渚*=1.5 1 市川市南八幡*=1.4 館山市北条*=1.4 大多喜町大多喜*=1.4 南房総市谷向*=1.2 館山市長須賀=1.1 鴨川市八色=1.1 勝浦市墨名=0.9 勝浦市新宮*=0.9 3 丸森町鳥屋*=2.5 2 岩沼市桜*=1.9 大河原町新南*=1.9 角田市角田*=1.8 宮城美里町木間塚*=1.7 石巻市大街道南*=1.7 石巻市桃生町*=1.7 松島町高城=1.7 大崎市古川三日町=1.7 大崎市松山*=1.6 大崎市田尻*=1.6 名取市増田*=1.6 登米市米山町*=1.6 登米市迫町*=1.6 蔵王町円田*=1.6 大崎市古川旭*=1.6 山元町浅生原*=1.5 白石市互理町*=1.5 宮城加美町中新田*=1.5 宮城川崎町前川*=1.5 利府町利府*=1.5 1 色麻町四竈*=1.4 登米市登米町*=1.4 登米市南方町*=1.4 仙台空港=1.4 互理町下小路*=1.4 仙台宮城野区五輪=1.3 塩竈市旭町*=1.3 東松島市矢本*=1.3 石巻市前谷地*=1.2 登米市中田町=1.2 村田町村田*=1.2 大衡村大衡*=1.2 仙台若林区遠見塚*=1.2 丸森町上滝=1.1 富谷市富谷*=1.1 栗原市若柳*=1.1 仙台青葉区雨宮*=1.1 宮城美里町北浦*=1.1 大郷町粕川*=1.1 大和町吉岡*=1.0 仙台宮城野区苦竹*=1.0 大崎市古川大崎=1.0 仙台太白区山田*=1.0 仙台泉区将監*=1.0 石巻市相野谷*=1.0 大崎市鹿島台*=1.0 栗原市高清水*=1.0 宮城加美町小野田*=1.0 仙台青葉区落合*=0.9 大崎市三本木*=0.9 栗原市築館*=0.8 栗原市志波姫*=0.8 大崎市岩出山*=0.8 仙台青葉区大倉=0.8 東松島市小野*=0.8 七ヶ浜町東宮浜*=0.8 栗原市一迫*=0.7 七ヶ宿町関*=0.7 柴田町船岡=0.6 南三陸町志津川=0.5 3 鏡石町不時沼*=2.8 須賀川市八幡町*=2.7 玉川村小高*=2.7 須賀川市八幡山*=2.6 双葉町両竹*=2.6 中島村滑津*=2.5 白河市東*=2.5 古殿町松川新桑原*=2.5 国見町藤田*=2.5 泉崎村泉崎*=2.5 2 福島市五老内町*=2.4 郡山市朝日=2.4 郡山市湖南町*=2.4 天栄村下松本*=2.4 矢吹町一本木*=2.4 いわき市平梅本*=2.4 須賀川市岩瀬支所*=2.3 田村市大越町*=2.3 いわき市小名浜=2.3 郡山市開成*=2.3 富岡町本岡*=2.3 大熊町野上*=2.3 南相馬市小高区*=2.2 浅川町浅川*=2.2 白河市表郷*=2.2 いわき市錦町*=2.1 浪江町幾世橋=2.1 南相馬市鹿島区西町*=2.1 白河市新白河*=2.1 猪苗代町千代田*=2.1 福島市松木町=2.1 福島市桜木町*=2.0 檜葉町北田*=2.0 白河市郭内=2.0 川内村上川内早渡*=2.0 田村市滝根町*=2.0 大熊町大川原*=2.0 本宮市白岩*=2.0 白河市大信*=2.0 棚倉町棚倉中居野=2.0 須賀川市長沼支所*=1.9 大玉村南小屋=1.9 相馬市中村*=1.9 大玉村玉井*=1.9 福島伊達市前川原*=1.9 福島伊達市保原町*=1.9 西郷村熊倉*=1.9 白河市八幡小路*=1.8 本宮市本宮*=1.8 桑折町東大隅*=1.8 矢祭町東館*=1.7 石川町長久保*=1.7 いわき市平四ツ波*=1.7 会津坂下町市中三番甲*=1.7 川内村上川内小山平*=1.6 棚倉町棚倉館ヶ丘*=1.6 南相馬市原町区本町*=1.6 いわき市三和町=1.6 二本松市針道*=1.6 川俣町五百田*=1.6 会津美里町新鶴庁舎*=1.6 福島広野町下北迫大谷地原*=1.6 福島広野町下北迫苗代替*=1.6 矢祭町戸塚*=1.5 南相馬市原町区三島町=1.5 南相馬市原町区高見町*=1.5 二本松市油井*=1.5 小野町小野新町*=1.5 西会津町登世島*=1.5 猪苗代町城南=1.5 1 塙町塙*=1.4 新地町谷地小屋*=1.4 南相馬市鹿島区栢窪=1.4 喜多方市御清水*=1.4 喜多方市塩川町*=1.4 湯川村清水田*=1.4 小野町中通*=1.3 田村市常葉町*=1.3 福島伊達市梁川町*=1.3 福島伊達市霊山町*=1.3 飯館村伊丹沢*=1.3 喜多方市高郷町*=1.3 二本松市金色*=1.2 鮫川村赤坂中野*=1.2 平田村永田*=1.2 古殿町松川横川=1.2 磐梯町磐梯*=1.2 田村市船引町=1.2 葛尾村落合落合*=1.1 西会津町野沢=1.1 天栄村湯本支所*=1.0 三春町大町*=1.0 南会津町田島=0.9 喜多方市松山町*=0.9 田村市都路町*=0.9 川内村下川内=0.8 会津若松市材木町=0.7 会津美里町本郷庁舎*=0.7 3 高根沢町石末*=2.5 2 益子町益子=2.4 市貝町市塙*=2.3 那須町寺子*=2.2 下野市田中*=2.1 小山市神鳥谷*=2.0 小山市中央町*=2.0 真岡市田町*=2.0 真岡市荒町*=2.0 那須烏山市中央=2.0 那須烏山市大金*=1.9 栃木那珂川町小川*=1.9 下野市笹原*=1.9 芳賀町祖母井*=1.8 栃木市岩舟町静*=1.7 野木町丸林*=1.6 茂木町北高岡天矢場*=1.5 茂木町茂木*=1.5 那須塩原市あたご町*=1.5 宇都宮市明保野町=1.5 鹿沼市見望台*=1.5 上三川町しらさぎ*=1.5 1 壬生町通町*=1.4 栃木さくら市喜連川*=1.4 栃木那珂川町馬頭*=1.4 下野市大松山*=1.4 栃木さくら市氏家*=1.3 那須烏山市役所*=1.3 日光市芹沼*=1.3 大田原市本町*=1.3 那須塩原市鍋掛*=1.3 那須塩原市塩原庁舎*=1.3 足利市大正町*=1.3 栃木市大平町富田*=1.3 栃木市藤岡町藤岡*=1.3 栃木市万町*=1.3 大田原市黒羽田町=1.2 鹿沼市今宮町*=1.2 日光市瀬川=1.1 矢板市本町*=1.1 那須塩原市共郷社*=1.1 栃木市旭町=1.1 佐野市葛生東*=1.1 日光市鬼怒川温泉大原*=1.0 日光市湯元*=1.0 那須塩原市藁沼=1.0 宇都宮市塙田*=1.0 宇都宮市中里町*=1.0 塩谷町玉生*=0.9 那須塩原市中塩原*=0.8 日光市足尾町中才*=0.8 鹿沼市口栗野*=0.7 2 中山町長崎*=1.7 1 米沢市林泉寺*=1.4 高島町高島*=1.3 上山市河崎*=1.3 南陽市三間通*=1.3 村山市中央*=1.2 山形川西町上小松*=1.1 酒田市飛鳥*=1.1 天童市老野森*=1.1 山辺町緑ヶ丘*=1.1 河北町谷地=1.0 米沢市アルカディア=1.0 三川町横山*=0.9 河北町役場*=0.9 遊佐町遊佐=0.9 米沢市金池*=0.9 米沢市駅前=0.8 群馬県 2 渋川市赤城町*=1.9 群馬明和町新里*=1.6 沼田市白沢町*=1.6 邑楽町中野*=1.5 1 沼田市西倉内町=1.4 片品村東小川=1.4 前橋市富士見町*=1.4 千代田町赤岩*=1.3 沼田市下久屋町*=1.2 前橋市粕川町*=1.2 桐生市元宿町*=1.2 大泉町日の出*=1.2 前橋市堀越町*=1.1 桐生市黒保根町*=1.1 館林市城町*=1.1 板倉町板倉=1.1 伊勢崎市西久保町*=1.0 太田市粕川町*=1.0 館林市美園町*=1.0 渋川市伊香保町*=1.0 前橋市鼻毛石町*=1.0 桐生市新里町*=0.9 太田市浜町*=0.9 太田市新田金井町*=0.9 渋川市吹屋*=0.9 安中市安中*=0.9 吉岡町下野田*=0.8 高崎市高松町*=0.8 桐生市織姫町=0.8 みどり市笠懸町*=0.8 みどり市大間々町*=0.8 伊勢崎市今泉町*=0.8 伊勢崎市境*=0.8 沼田市利根町*=0.8 太田市大原町*=0.8 前橋市駒形町*=0.8 伊勢崎市東町*=0.7 渋川市北橋町*=0.7 高崎市箕郷町*=0.7 榛東村新井*=0.6 高崎市吉井町吉井川*=0.5



令和2年1月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
		<p>埼玉県</p> <p>2 春日部市谷原新田*2.4 宮代町笠原*2.4 春日部市粕壁*2.2 さいたま緑区中尾*2.1 加須市大和根*2.0 春日部市金崎*2.0 吉川市きよみ野*1.9 加須市三俣*1.8 鴻巣市吹上富士見*1.8 川口市中青木分室*1.8 草加市中央*1.8 さいたま中央区下落合*1.8 久喜市青葉*1.7 川口市三ツ和*1.7 戸田市上戸田*1.7 八潮市中央*1.7 三郷市中央*1.7 幸手市東*1.7 松伏町松伏*1.7 さいたま南区別所*1.7 久喜市下早見*1.6 久喜市菫浦*1.6 川口市青木*1.6 越谷市越ヶ谷*1.6 富士見市鶴馬*1.6 さいたま大宮区天沼町*1.6 さいたま浦和区高砂*1.6 白岡市千駄野*1.6 久喜市栗橋*1.5 久喜市鷲宮*1.5 蕨市中央*1.5 熊谷市大里*1.5 さいたま西区指扇*1.5 加須市北川辺*1.5 鴻巣市中央*1.5</p> <p>1 鴻巣市川里*1.4 吉見町下細谷*1.4 和光市広沢*1.4 川島町下八ツ林*1.4 さいたま北区宮原*1.4 さいたま見沼区堀崎*1.4 行田市南河原*1.3 加須市騎西*1.3 さいたま大宮区大門*1.3 さいたま桜区道場*1.3 さいたま浦和区常盤*1.3 行田市本丸*1.2 羽生市東*1.2 新座市野火止*1.2 上尾市本町*1.1 朝霞市本町*1.1 桶川市泉*1.1 蓮田市黒浜*1.1 埼玉三芳町藤久保*1.1 本庄市児玉町*1.0 埼玉美里町木部*1.0 狭山市入間川*1.0 北本市本町*1.0 伊奈町小室*1.0 熊谷市妻沼*1.0 毛呂山町中央*0.9 所沢市北有楽町*0.9 志木市中宗岡*0.9 鶴ヶ島市三ツ木*0.9 熊谷市桜町*0.8 東松山市松葉町*0.8 東松山市市ノ川*0.7 ふじみ野市福岡*0.7 ふじみ野市大井*0.7 深谷市岡部*0.7 深谷市川本*0.7 熊谷市江南*0.7 川越市旭町*0.5</p> <p>東京都</p> <p>2 東京足立区神明南*1.9 東京江東区越中島*1.8 東京江東区枝川*1.8 東京北区神谷*1.8 東京荒川区東尾久*1.8 東京江戸川区中央*1.8 東京江戸川区船堀*1.8 東京千代田区大手町*1.7 東京江東区森下*1.7 東京江東区亀戸*1.7 東京足立区千住中居町*1.7 東京中央区勝どき*1.6 東京墨田区東向島*1.6 東京江東区青海*1.6 東京江東区東陽*1.6 東京板橋区高島平*1.6 東京足立区伊興*1.6 東京葛飾区金町*1.6 東京台東区千束*1.5 東京国際空港*1.5 東京渋谷区本町*1.5 東京板橋区相生町*1.5 東京葛飾区立石*1.5 東京江戸川区鹿骨*1.5</p> <p>1 東京千代田区麴町*1.4 東京墨田区横川*1.4 東京大田区本羽田*1.4 東京大田区多摩川*1.4 東京中央区日本橋兜町*1.3 東京文京区本郷*1.3 東京品川区平塚*1.3 東京杉並区高井戸*1.3 東京北区西ヶ原*1.3 東京板橋区板橋*1.3 東京中央区築地*1.2 東京港区海岸*1.2 東京新宿区上落合*1.2 東京文京区大塚*1.2 東京墨田区吾妻橋*1.2 東京世田谷区成城*1.2 東京渋谷区宇田川町*1.2 東京中野区中野*1.2 東京杉並区桃井*1.2 東京足立区中央本町*1.2 調布市西つじヶ丘*1.2 東京台東区東上野*1.1 東京中野区江古田*1.1 東京豊島区南池袋*1.1 東京練馬区東大泉*1.1 東京練馬区光が丘*1.1 日野市神明*1.1 東大和市中央*1.1 東京千代田区富士見*1.1 東京新宿区百人町*1.1 東京文京区スポーツセンタ*1.1 東京杉並区阿佐谷*1.0 八王子市堀之内*1.0 武蔵野市緑町*1.0 小金井市本町*1.0 小平市小川町*1.0 西東京市中町*1.0 東京品川区広町*1.0 東京大田区大森東*1.0 町田市森野*0.9 国分寺市戸倉*0.9 清瀬市中里*0.9 東京世田谷区三軒茶屋*0.9 東京港区芝公園*0.9 東京港区白金*0.9 東京新宿区西新宿*0.9 三鷹市野崎*0.9 東京世田谷区中町*0.8 東京目黒区中央町*0.8 東京大田区蒲田*0.8 国分寺市本多*0.8 東京世田谷区世田谷*0.8 武蔵村山市本町*0.8 東京府中市朝日町*0.7 八王子市大横町*0.6 立川市泉町*0.6</p> <p>神奈川県</p> <p>2 二宮町中里*1.9 横浜中区山吹町*1.8 横浜戸塚区鳥が丘*1.8 横浜中区山下町*1.7 横浜西区浜松町*1.6 横浜中区山手町*1.6 横浜港北区日吉本町*1.6 横浜緑区鴨居*1.6 川崎川崎区宮前町*1.6 横浜鶴見区末広町*1.5 横浜神奈川区広台太田町*1.5 横浜保土ヶ谷区上菅田町*1.5 川崎川崎区千鳥町*1.5 川崎川崎区中島*1.5 神奈川大井町金子*1.5</p> <p>1 横浜中区日本大通*1.4 平塚市浅間町*1.4 海老名市大谷*1.4 横浜都筑区池辺町*1.3 川崎宮前区野川*1.3 綾瀬市深谷*1.3 中井町比奈窪*1.3 横浜旭区川井宿町*1.2 横浜緑区十日市場町*1.2 横浜瀬谷区三ツ境*1.2 川崎幸区戸手本町*1.2 相模原南区相模大野*1.2 相模原緑区橋本*1.2 川崎宮前区宮前平*1.1 藤沢市朝日町*1.0 茅ヶ崎市茅ヶ崎*1.0 川崎中原区小杉陣屋町*0.9 横須賀市光の丘*0.9 湯河原町中央*0.9 三浦市城山町*0.8 川崎多摩区登戸*0.7 秦野市曾屋*0.5</p> <p>新潟県</p> <p>2 南魚沼市六日町*1.7</p> <p>1 刈羽村割町新田*1.2 長岡市小島谷*1.0 長岡市山古志竹沢*1.0 三条市新堀*1.0 加茂市幸町*1.0 見附市昭和町*0.9</p> <p>山梨県</p> <p>2 忍野村忍草*1.5</p> <p>青森県</p> <p>1 階上町道仏*0.9 八戸市南郷*0.8 おいらせ町中下田*0.6</p> <p>岩手県</p> <p>1 盛岡市藪川*1.3 久慈市川崎町*0.9</p> <p>秋田県</p> <p>1 由利本荘市西目町沼田*0.6</p> <p>長野県</p> <p>1 諏訪市湖岸通り*1.0 長野市牧村海ノ口*1.0 諏訪市高島*0.9 茅野市葛井公園*0.8 佐久市中込*0.8 軽井沢町追分*0.6</p> <p>静岡県</p> <p>1 伊豆の国市四日町*1.2 御殿場市萩原*0.8</p>				
6	3 09 55	<p>天草灘</p> <p>32° 08.4' N 130° 03.5' E 8km M: 2.5</p> <p>熊本県</p> <p>1 天草市牛深町*1.1</p> <p>鹿児島県</p> <p>1 長島町鷹巣*0.5 長島町指江*0.5</p>				
7	3 10 19	<p>秋田県沖</p> <p>40° 08.9' N 139° 29.1' E 204km M: 4.8</p> <p>青森県</p> <p>2 階上町道仏*1.7</p> <p>1 八戸市内丸*0.9 八戸市湊町*0.9 東通村砂子又沢内*0.7 八戸市南郷*0.7 青森南部町苦米地*0.7</p> <p>北海道</p> <p>1 別海町常盤*0.7 えりも町えりも岬*0.5 浦河町潮見*0.5 別海町本別海*0.5 根室市落石東*0.5</p> <p>岩手県</p> <p>1 野田村野田*1.1 久慈市枝成沢*0.9 山田町大沢*0.8 田野畑村田野畑*0.6 宮古市田老*0.6 久慈市川崎町*0.6 山田町八幡町*0.5</p> <p>宮城県</p> <p>1 涌谷町新町裏*0.7</p> <p>茨城県</p> <p>1 笠間市石井*0.5</p>				

令和2年1月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
8	3 11 09	釧路沖 北海道 1 根室市牧の内*=1.4 根室市厚床*=1.2 根室市瑠瑠瑠*=1.2 根室市落石東*=1.0 浜中町湯沸=0.6 浜中町茶内*=0.6	42° 55.0' N	145° 28.7' E	45km	M: 3.8
9	3 14 30	岐阜県美濃中西部 岐阜県 2 本巣市文殊*=2.2 大野町大野*=2.1 揖斐川町谷汲*=1.8 岐阜山県市大門*=1.6 岐阜山県市高富*=1.6 岐阜市京町*=1.6 瑞穂市別府*=1.5 本巣市三橋*=1.5 1 瑞穂市宮田*=1.3 北方町北方*=1.2 岐南町八剣*=1.2 各務原市川島河田町*=1.1 本巣市下真桑*=1.1 揖斐川町東津汲*=1.0 揖斐川町東杉原*=0.9 揖斐川町中籠橋*=0.9 揖斐川町三輪=0.9 岐阜市加納二之丸=0.8 大垣市墨俣町*=0.8 岐阜山県市美山支所*=0.8 揖斐川町西横山*=0.6 笠松町司町*=0.6 岐阜池田町六之井*=0.5 愛知県 1 一宮市千秋=0.9 滋賀県 1 長浜市余呉町中之郷*=0.9	35° 30.3' N	136° 40.7' E	7km	M: 3.3
10	3 17 08	留萌地方南部 北海道 2 小平町達布*=1.8	44° 01.3' N	141° 55.5' E	0km	M: 1.8
11	4 03 28	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 水俣市陣内*=0.6	32° 13.3' N	130° 26.7' E	7km	M: 1.8
12	4 07 50	宮城県沖 宮城県 1 気仙沼市笹が陣*=0.5	38° 54.1' N	142° 24.0' E	37km	M: 3.6
13	4 13 35	茨城県南部 茨城県 2 城里町小勝*=1.7 1 常陸大宮市上小瀬*=0.6 坂東市役所*=0.5 栃木県 1 宇都宮市明保野町=0.8 真岡市田町*=0.7 宇都宮市中里町*=0.6 栃木市旭町=0.6 下野市笹原*=0.5	36° 10.8' N	140° 01.4' E	52km	M: 3.1
14	5 06 15	宮城県沖 岩手県 宮城県 1 一関市室根町*=0.9 陸前高田市高田町*=0.6 大船渡市猪川町=0.5 1 気仙沼市笹が陣*=0.5 気仙沼市唐桑町*=0.5	38° 53.8' N	142° 04.1' E	44km	M: 3.5
15	5 11 10	硫黄島近海 東京都 1 小笠原村母島=0.7	23° 04.8' N	142° 59.5' E	171km	M: 5.8
16	5 18 43	トカラ列島近海	29° 35.3' N	129° 42.9' E	7km	M: 2.4
(注)	5 18 44	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村諏訪之瀬島*=0.9	29° 35.7' N	129° 42.9' E	6km	M: 2.2
17	5 21 25	四国沖 高知県 宮崎県 1 宿毛市桜町*=0.5 1 宮崎市霧島=1.0 川南町川南*=0.6	31° 27.2' N	133° 07.3' E	40km	M: 4.4
18	6 02 05	伊勢湾 愛知県 2 常滑市新開町=1.5 1 阿久比町印坂*=1.3 知多市緑町*=1.1 東海市加木屋町*=1.0 半田市東洋町*=0.9 中部国際空港=0.8 武豊町長尾山*=0.5 三重県 1 鈴鹿市西条=1.1 四日市市新浜町*=0.6	34° 53.0' N	136° 49.0' E	14km	M: 3.1
19	6 04 20	茨城県北部 茨城県 2 日立市助川小学校*=1.5 1 大子町池田*=1.1 常陸太田市大中町*=0.9 日立市役所*=0.9 日立市十王町友部*=0.8 常陸大宮市山方*=0.8 常陸大宮市上小瀬*=0.8 ひたちなか市東石川*=0.6 常陸太田市高柿町*=0.5 ひたちなか市南神敷台*=0.5 常陸太田市町屋町=0.5 常陸大宮市高部*=0.5 福島県 1 矢祭町戸塚*=0.7	36° 44.9' N	140° 34.5' E	10km	M: 3.4
20	6 09 20	奄美大島北東沖 鹿児島県 2 鹿児島十島村諏訪之瀬島*=2.1 鹿児島十島村悪石島*=1.9 鹿児島十島村中之島徳之尾=1.7 奄美市笠利町里*=1.6 1 奄美市名瀬港町=1.2 喜界町滝川=0.8	29° 10.9' N	130° 29.2' E	68km	M: 4.9
21	6 09 53	奄美大島北東沖 鹿児島県 2 鹿児島十島村諏訪之瀬島*=2.0 鹿児島十島村悪石島*=1.5 1 奄美市笠利町里*=1.4 鹿児島十島村中之島徳之尾=1.3 奄美市名瀬港町=0.7	29° 10.0' N	130° 29.5' E	68km	M: 4.8
22	6 22 46	釧路地方中南部 北海道 2 釧路市音別町中園*=1.5 1 本別町向陽町*=1.0 釧路市音別町尺別=0.8 白糠町西1条*=0.5	42° 59.5' N	143° 49.3' E	18km	M: 3.4
23	7 15 07	沖縄本島近海 沖縄県 2 沖縄市美里*=1.6 1 読谷村座喜味=1.4 嘉手納町嘉手納*=1.4 那覇市港町*=1.3 宜野湾市野嵩*=1.2 中城村当間*=0.9	26° 21.3' N	127° 37.8' E	22km	M: 3.3

令和2年1月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		南風原町兼城*0.9 北谷町桑江*0.8 北中城村喜舎場*0.8 うるま市みどり町*0.7 うるま市石川石崎*0.7 西原町与那城*0.6 八重瀬町東風平*0.6 那覇市樋川*0.5				
24	7 17 18	宮城県北部 宮城県	38° 51.5' N	141° 34.3' E	76km	M: 3.3 1 気仙沼市笹が陣*0.7 気仙沼市唐桑町*0.6 石巻市北上町*0.5
25	8 00 32	群馬県北部 福島県 群馬県	36° 54.6' N	139° 23.4' E	5km	M: 2.7 2 檜枝岐村上河原*1.5 1 片品村東小川*1.1 沼田市利根町*0.8 片品村鎌田*0.8
26	8 04 22	茨城県南部 茨城県	36° 08.6' N	139° 49.3' E	51km	M: 3.9 2 土浦市常名*1.7 筑西市舟生*1.6 桜川市羽田*1.6 常陸大宮市北町*1.6 常陸大宮市上小瀬*1.5 かすみがうら市土上土田*1.5 笠間市笠間*1.5 1 水戸市千波町*1.4 城里町小勝*1.4 小美玉市小川*1.4 小美玉市堅倉*1.4 筑西市門井*1.4 桜川市岩瀬*1.4 茨城古河市長谷町*1.3 笠間市石井*1.3 石岡市石岡*1.2 土浦市藤沢*1.2 笠間市下郷*1.2 小美玉市上玉里*1.1 石岡市柿岡*1.1 石岡市若宮*1.1 水戸市内原町*1.1 つくば市小荻*1.0 水戸市金町*1.0 かすみがうら市大和田*1.0 結城市結城*1.0 稲敷市江戸崎*0.9 筑西市下中山*0.9 取手市寺田*0.8 行方市玉造*0.8 茨城町小堤*0.8 桜川市真壁*0.8 土浦市田中*0.8 常陸大宮市山方*0.8 城里町石塚*0.8 城里町阿波山*0.7 坂東市山*0.7 坂東市役所*0.7 石岡市八郷*0.7 水戸市栗崎町*0.7 茨城古河市下大野*0.7 筑西市海老ヶ島*0.7 笠間市中央*0.7 五霞町小福田*0.6 境町旭町*0.6 ひたちなか市南神敷*0.6 つくば市天王台*0.6 つくば市研究学園*0.6 鉾田市造谷*0.6 日立市助川小学校*0.6 茨城鹿嶋市鉢形*0.6 坂東市岩井*0.5 下妻市本城町*0.5 2 下野市田中*2.2 佐野市高砂町*2.0 栃木市大平町富田*2.0 高根沢町石末*1.7 上三川町しらさぎ*1.5 栃木市旭町*1.5 下野市笹原*1.5 1 宇都宮市明保野町*1.4 足利市大正町*1.4 栃木市藤岡町藤岡*1.4 栃木市西方町本城*1.4 佐野市中町*1.4 壬生町通町*1.4 栃木市岩舟町静*1.3 佐野市葛生東*1.3 益子町益子*1.3 栃木市都賀町家中*1.3 宇都宮市旭*1.3 鹿沼市晃望台*1.2 小山市中央町*1.1 芳賀町祖母井*1.1 佐野市田沼町*1.1 真岡市田町*1.0 那須烏山市大金*0.9 宇都宮市塙田*0.9 宇都宮市中里町*0.9 鹿沼市口栗野*0.9 野木町丸林*0.8 那須烏山市中央*0.8 下野市大松山*0.8 栃木市万町*0.8 日光市鬼怒川温泉大原*0.7 栃木那珂川町小川*0.7 鹿沼市今宮町*0.7 日光市足尾町中才*0.6 茂木町茂木*0.6 栃木さくら市喜連川*0.5 日光市藤原庁舎*0.5 2 館林市美園町*1.8 太田市西本町*1.8 千代田町赤岩*1.6 大泉町日の出*1.6 板倉町板倉*1.5 1 伊勢崎市西久保町*1.4 桐生市元宿町*1.3 邑楽町中野*1.3 太田市浜町*1.2 渋川市赤城町*1.1 群馬明和町新里*1.1 渋川市吹屋*1.0 前橋市粕川町*1.0 桐生市新里町*1.0 前橋市堀越町*0.9 桐生市黒保根町*0.9 館林市城町*0.9 伊勢崎市東町*0.8 桐生市織姫町*0.7 沼田市利根町*0.7 みどり市大間々町*0.6 沼田市西倉内町*0.6 前橋市富士見町*0.5 前橋市鼻毛石町*0.5 みどり市東町*0.5 太田市粕川町*0.5 太田市新田金井町*0.5 太田市大原町*0.5 2 久喜市下早見*1.9 加須市大利根*1.6 熊谷市江南*1.5 加須市騎西*1.5 1 熊谷市大里*1.4 行田市本丸*1.3 東松山市松葉町*1.3 滑川町福田*1.3 行田市南河原*1.2 深谷市川本*1.2 加須市北川辺*1.1 久喜市鷲宮*1.1 上尾市本町*1.1 宮代町笠原*1.1 東松山市市ノ川*1.0 熊谷市妻沼*1.0 長瀬町野上下郷*1.0 本庄市児玉町*0.9 鴻巣市吹上富士見*0.9 久喜市青葉*0.9 嵐山町杉山*0.9 北本市本町*0.9 羽生市東*0.8 鴻巣市川里*0.8 久喜市菖蒲*0.8 久喜市栗橋*0.8 小川町大塚*0.8 埼玉美里町木部*0.8 加須市三俣*0.8 深谷市花園*0.7 川口市中青木分室*0.7 春日部市粕壁*0.7 桶川市泉*0.7 坂戸市千代田*0.7 鴻巣市中央*0.7 長瀬町本野上*0.7 ときがわ町桃木*0.6 越生町越生*0.6 皆野町皆野*0.6 さいたま大宮区大門*0.5 白岡市千駄野*0.5 熊谷市宮町*0.5 春日部市金崎*0.5 1 野田市鶴奉*1.1 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*0.6 白井市復*0.6 1 東京文京区大塚*0.7
27	8 08 56	熊本県熊本地方 熊本県	32° 32.1' N	130° 41.8' E	8km	M: 2.6 1 八代市坂本町*0.7 八代市東陽町*0.6
28	8 09 02	北海道東方沖 北海道	43° 19.3' N	147° 01.8' E	46km	M: 4.5 1 根室市落石東*1.3 根室市瑠瑠瑠*0.7
29	8 11 57	福島県沖 宮城県	37° 09.1' N	141° 59.6' E	41km	M: 4.7 2 角田市角田*1.6 岩沼市桜*1.6 石巻市桃生町*1.6 1 亶理町下小路*1.3 仙台宮城野区五輪*1.3 蔵王町円田*1.1 山元町浅生原*1.1 利府町利府*1.1 登米市迫町*1.0 大河原町新南*1.0 仙台青葉区作並*1.0 宮城川崎町前川*1.0 色麻町四籠*0.9 石巻市大街道南*0.9 東松島市矢本*0.9 名取市増田*0.9 仙台若林区遠見塚*0.8 大崎市田尻*0.8 白石市亶理町*0.8 登米市米山町*0.8 栗原市若柳*0.8 大崎市松山*0.8 大崎市鹿島台*0.7 松島町高城*0.7 宮城加美町中新田*0.7 大崎市古川三日町*0.7 仙台宮城野区苦竹*0.7 丸森町鳥屋*0.7 栗原市志波姫*0.7 石巻市北上町*0.6 登米市中田町*0.6 栗原市築館*0.5 2 玉川村小高*1.5 田村市大越町*1.5 1 郡山市湖南町*1.2 白河市新白河*1.2 双葉町両竹*1.2 国見町藤田*1.1 須賀川市八幡山*0.9 いわき市三和町*0.9 相馬市中村*0.9 大熊町大川原*0.9 須賀川市岩瀬支所*0.8 田村市都路町*0.8 本宮市本宮*0.8 川内村上川内早渡*0.8 浪江町幾世橋*0.8 新地町谷地小屋*0.8 天栄村下松本*0.7 福島伊達市霊山町*0.7 福島市松木町*0.7

令和2年1月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
		檜葉町北田*=-0.7 郡山市朝日=0.7 南相馬市鹿島区西町*=-0.7 大玉村南小屋=0.6 田村市船引町=0.6 飯館村伊丹沢*=-0.6 南相馬市原町区高見町*=-0.6 田村市常葉町*=-0.6 白河市郭内=0.6 川俣町五百田*=-0.5 福島市桜木町*=-0.5 猪苗代町城南=0.5 大熊町野上*=-0.5 山形県 1 米沢市林泉寺*=-0.7 茨城県 1 笠間市石井*=-0.7				
30	8 22 34	福岡県北西沖 福岡県 1 糸島市志摩初=0.8 糸島市二丈深江*=-0.7	33° 43.2' N	130° 13.3' E	10km	M: 3.0
31	9 06 29	愛知県東部 静岡県 愛知県 1 浜松天竜区春野町*=-1.0 1 新城市作手高里縄手上*=-0.8 新城市矢部=0.6 新城市東入船*=-0.6 蒲郡市御幸町*=-0.5	34° 57.0' N	137° 27.0' E	40km	M: 3.0
32	10 02 31	静岡県東部 静岡県 1 富士市大淵*=-0.8	35° 14.3' N	138° 42.0' E	7km	M: 1.1
33	10 17 09	奈良県 奈良県 和歌山県 1 天川村洞川=0.7 1 田辺市本宮町本宮*=-0.5	34° 03.4' N	135° 38.6' E	53km	M: 3.2
34	10 19 59	石垣島近海 沖縄県 1 石垣市新栄町*=-1.2 石垣市美崎町*=-1.2 竹富町大原=1.2 石垣市平久保=1.0 石垣市伊原間*=-1.0 石垣市登野城=0.9 竹富町船浮=0.9 竹富町上原*=-0.9 石垣市新川=0.8 竹富町黒島=0.8	24° 30.7' N	124° 22.2' E	52km	M: 4.4
35	11 00 59	トカラ列島近海 鹿児島県 2 鹿児島十島村諏訪之瀬島*=-2.2	29° 35.2' N	129° 43.2' E	4km	M: 2.7
36 (注)	11 01 00 11 01 00	トカラ列島近海 トカラ列島近海 鹿児島県 2 鹿児島十島村諏訪之瀬島*=-1.6	29° 35.6' N 29° 35.3' N	129° 40.0' E 129° 41.0' E	5km 5km	M: 2.6 M: 2.3
37	11 15 25	種子島近海 鹿児島県 1 屋久島町尾之間*=-0.6	30° 13.9' N	130° 35.3' E	3km	M: 2.0
38	11 16 34	長野県北部 長野県 1 栄村北信*=-0.8	36° 54.6' N	138° 34.9' E	3km	M: 2.1
39	11 20 53	熊本県熊本地方 熊本県 1 嘉島町上島*=-1.1	32° 43.6' N	130° 47.4' E	8km	M: 2.2
40	11 21 11	千葉県東方沖 千葉県 1 銚子市小畑新町=0.7 銚子市若宮町*=-0.6	35° 33.7' N	141° 05.2' E	36km	M: 3.4
<b>41</b>	<b>12 00 55</b>	<b>根室半島南東沖</b> 北海道 3 根室市落石東*=-3.0 根室市瑠璃瑠*=-2.9 2 根室市牧の内*=-2.1 中標津町丸山*=-2.0 別海町本別海*=-1.9 根室市弥栄=1.8 別海町常盤=1.8 標茶町塘路*=-1.7 別海町西春別*=-1.6 根室市厚床*=-1.6 標津町北2条*=-1.5 1 浜中町湯沸=1.4 浜中町茶内*=-1.4 中標津町養老牛=1.2 羅臼町岬町*=-1.2 根室市豊里=1.2 鶴居村鶴居東*=-1.1 斜里町本町=1.0 斜里町ウトロ香川*=-0.9 弟子屈町弟子屈*=-0.9 清里町羽衣町*=-0.8 羅臼町春日=0.8 厚岸町尾幌=0.8 厚岸町真栄*=-0.8 釧路市幸町=0.7 白糠町西1条*=-0.7 釧路市阿寒町中央*=-0.7 羅臼町緑町*=-0.6 標津町薫別*=-0.6 標茶町川上*=-0.6 弟子屈町サワンチサップ*=-0.5 十勝大樹町生花*=-0.5	<b>43° 19.2' N</b>	<b>146° 22.6' E</b>	<b>48km</b>	<b>M: 4.8</b>
42	12 10 06	種子島近海 鹿児島県 1 屋久島町尾之間*=-0.7	30° 13.6' N	130° 35.3' E	4km	M: 2.1
43 (注)	12 11 42 12 11 42	長野県北部 長野県北部 新潟県 長野県 1 上越市牧区柳島*=-1.2 上越市浦川原区釜淵*=-0.6 上越市清里区荒牧*=-0.5 1 栄村北信*=-0.7 飯山市飯山福寿町*=-0.6	36° 57.7' N 36° 57.5' N	138° 26.4' E 138° 26.1' E	6km 7km	M: 2.6 M: 2.6
44	12 21 31	石垣島近海 沖縄県 1 石垣市平久保=0.9 石垣市伊原間*=-0.6	24° 42.2' N	124° 25.5' E	19km	M: 3.6
45	13 03 34	長野県北部 長野県 新潟県 2 栄村北信*=-2.3 1 津南町下船渡*=-1.4 上越市安塚区安塚*=-0.9	36° 54.5' N	138° 34.6' E	3km	M: 2.9
46	13 10 52	栃木県北部 栃木県 1 日光市足尾町中才*=-0.5	36° 38.5' N	139° 25.8' E	8km	M: 2.7
47	13 11 28	沖縄本島近海 沖縄県 1 栗国村役場*=-1.1 栗国村浜=0.7	26° 29.8' N	127° 14.4' E	14km	M: 3.3

令和2年1月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
48	14 01 09	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村諏訪之瀬島*0.9	29° 34.2' N	129° 43.3' E	2km	M: 2.3
49	14 01 14	トカラ列島近海 鹿児島県 2 鹿児島十島村諏訪之瀬島*1.6	29° 35.7' N	129° 41.5' E	4km	M: 2.5
50	14 01 58	紀伊水道 和歌山県 1 有田市初島町*0.9 和歌山広川町広*0.8 有田市箕島*0.7	34° 03.6' N	135° 06.2' E	7km	M: 3.0
<b>51</b>	<b>14 04 53</b>	<b>茨城県南部 茨城県</b>	<b>36° 04.6' N</b>	<b>139° 53.0' E</b>	<b>46km</b>	<b>M: 4.8</b>
		4 筑西市舟生*3.8 小美玉市上玉里*3.5 3 笠間市石井*3.4 常陸大宮市北町*3.4 城里町小勝*3.4 坂東市馬立*3.4 桜川市岩瀬*3.4 茨城古河市下大野*3.3 笠間市中央*3.3 坂東市山*3.3 常総市新石下*3.2 茨城古河市仁連*3.2 筑西市門井*3.2 笠間市笠間*3.2 八千代町菅谷*3.1 笠間市下郷*3.1 土浦市藤沢*3.1 坂東市役所*3.1 結城市結城*3.1 かすみがうら市上土田*3.0 土浦市常名*3.0 水戸市内原町*3.0 下妻市本城町*3.0 小美玉市堅倉*3.0 坂東市岩井*2.9 石岡市柿岡*2.9 小美玉市小川*2.9 境町旭町*2.9 桜川市羽田*2.8 水戸市金町*2.8 筑西市海老ヶ島*2.8 常総市水海道諏訪町*2.7 石岡市八郷*2.7 石岡市石岡*2.7 桜川市真壁*2.7 茨城古河市長谷町*2.7 城里町石塚*2.7 水戸市千波町*2.6 つくば天王台*2.6 稲敷市江戸崎*2.6 かすみがうら市大和田*2.6 筑西市下中山*2.6 つくば市小荊*2.5 大子町池田*2.5 行方市玉造*2.5 石岡市若宮*2.5 常陸大宮市野口*2.5 那珂市福田*2.5 水戸市栗崎町*2.5 つくばみらい市福田*2.5 取手市寺田*2.5 城里町阿波山*2.5 2 茨城町小堤*2.4 東海村東海*2.4 常陸大宮市山方*2.4 常陸大宮市上小瀬*2.4 那珂市瓜連*2.4 つくば市研究学園*2.4 五霞町小福田*2.4 茨城鹿嶋市鉢形*2.3 常陸大宮市中富町*2.3 鉾田市造谷*2.3 常陸太田市町屋町*2.3 ひたちなか市南神敷台*2.3 日立市助川小学校*2.3 日立市十王町友部*2.2 鉾田市汲上*2.2 土浦市田中*2.2 常陸大宮市高部*2.2 つくばみらい市加藤*2.2 阿見町中央*2.2 守谷市大柏*2.2 取手市井野*2.2 行方市麻生*2.2 鉾田市鉾田*2.2 常陸太田市高柿町*2.2 高萩市安良川*2.2 美浦村受領*2.2 ひたちなか市東石川*2.2 常陸太田市大中町*2.2 稲敷市結佐*2.2 利根町布川*1.9 稲敷市伊佐津*1.9 常陸太田市町田町*1.9 稲敷市須賀津*1.9 神栖市溝口*1.8 潮来市辻*1.8 龍ヶ崎市役所*1.8 牛久市中央*1.8 稲敷市役所*1.8 常陸太田市金井町*1.8 茨城鹿嶋市宮中*1.8 日立市役所*1.7 行方市山田*1.7 取手市藤代*1.7 潮来市堀之内*1.6 大洗町磯浜町*1.6 河内町源清田*1.5 北茨城市中郷町*1.5 1 高萩市本町*1.3 北茨城市磯原町*1.3 ひたちなか市山ノ上町*1.3 4 下野市田中*4.1 宇都宮市明保野町*4.0 下野市笹原*4.0 宇都宮市旭*3.8 3 宇都宮市中里町*3.4 足利市大正町*3.4 栃木市旭町*3.3 佐野市中町*3.3 佐野市葛生東*3.3 佐野市高砂町*3.2 鹿沼市晃望台*3.2 芳賀町祖母井*3.2 高根沢町石末*3.2 栃木市岩舟町静*3.2 壬生町通町*3.1 小山市中央町*3.1 益子町益子*3.1 真岡市田町*3.0 宇都宮市埜田*3.0 野木町丸林*3.0 栃木市万町*2.9 栃木市藤岡町藤岡*2.9 鹿沼市今宮町*2.9 小山市神鳥谷*2.9 栃木市西方町本城*2.9 栃木市都賀町家中*2.8 茂木町茂木*2.8 日光市鬼怒川温泉大原*2.8 栃木市大平町富田*2.8 上三川町しらさぎ*2.7 真岡市荒町*2.6 佐野市田沼町*2.6 鹿沼市口栗野*2.6 塩谷町玉生*2.6 栃木さくら市氏家*2.5 宇都宮市中岡本町*2.5 矢板市本町*2.5 2 日光市足尾町中才*2.4 日光市岸沼*2.4 那須烏山市大金*2.4 栃木那珂川町小川*2.4 日光市瀬川*2.3 下野市大松山*2.3 日光市足尾町通洞*2.2 日光市藤原庁舎*2.2 那須塩原市塩原庁舎*2.2 栃木さくら市喜連川*2.2 栃木那珂川町馬頭*2.2 茂木町北高岡天矢場*2.1 市貝町市塙*2.1 日光市湯元*2.1 日光市御幸町*2.1 日光市黒部*2.0 那須烏山市中央*1.9 大田原市黒羽田町*1.8 大田原市本町*1.8 那須塩原市あたご町*1.7 日光市中宮祠*1.7 那須町寺子*1.6 日光市今市本町*1.6 1 那須塩原市鍋掛*1.3 那須塩原市共郷社*1.3 那須烏山市役所*1.3 那須塩原市中塩原*1.1 那須塩原市藁沼*0.9 4 板倉町板倉*3.5 3 館林市美園町*3.3 邑楽町中野*3.2 太田市西本町*2.9 大泉町日の出*2.9 館林市城町*2.8 群馬明和町新里*2.8 千代田町赤岩*2.8 伊勢崎市西久保町*2.8 桐生市元宿町*2.7 桐生市新里町*2.7 みどり市大間々町*2.6 前橋市堀越町*2.5 渋川市赤城町*2.5 2 太田市粕川町*2.4 前橋市粕川町*2.3 桐生市織姫町*2.3 桐生市黒保根町*2.3 沼田市西倉内町*2.3 沼田市利根町*2.2 片品村東小川*2.2 前橋市富士見町*2.2 伊勢崎市東町*2.2 太田市浜町*2.2 渋川市吹屋*2.2 みどり市東町*2.1 みどり市笠懸町*2.0 沼田市下久屋町*2.0 太田市大原町*2.0 藤岡市鬼石*2.0 沼田市白沢町*1.9 片品村鎌田*1.9 前橋市鼻毛石町*1.9 太田市新田金井町*1.8 渋川市伊香保町*1.8 伊勢崎市今泉町*1.7 神流町生利*1.7 伊勢崎市境*1.7 群馬昭和村糸井*1.6 高崎市吉井町吉井川*1.5 東吾妻町奥田*1.5 前橋市昭和町*1.5 前橋市大手町*1.5 1 前橋市駒形町*1.4 渋川市石原*1.4 富岡市七日市*1.4 吉岡町下野田*1.4 甘楽町小幡*1.4 みなかみ町鹿野沢*1.3 東吾妻町本宿*1.3 高崎市高松町*1.3 渋川市北橋町*1.3 渋川市村上*1.3 安中市安中*1.3 榛東村新井*1.3 高崎市足門町*1.2 高崎市新町*1.2 神流町神ヶ原*1.2 玉村町下新田*1.2 渋川市有馬*1.1 中之条町日影*1.1 川場村谷地*1.1 安中市松井田町*1.1 中之条町中之条*1.0 富岡市妙義町*1.0 群馬高山村中山*0.9 高崎市倉沢町*0.9 高崎市箕郷町*0.9 群馬上野村川和*0.7 みなかみ町後閑*0.7 みなかみ町布施*0.6 下仁田町下小坂*0.6 高崎山下室田*0.5 埼玉県 4 加須市騎西*3.6 宮代町笠原*3.6 加須市大利根*3.5 久喜市下早見*3.5 春日部市粕壁*3.5 3 川口市中青木分室*3.3 川口市青木*3.3 さいたま見沼区堀崎*3.2 加須市三俣*3.1 加須市北川辺*3.1 久喜市菖蒲*3.1 幸手市東*3.1 久喜市栗橋*3.0 久喜市鷲宮*3.0				

令和2年1月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		春日部市金崎*3.0 杉戸町清地*3.0 さいたま南区別所*3.0 本庄市児玉町*2.9 羽生市東*2.9 鴻巣市中央*2.9 戸田市上戸田*2.9 さいたま中央区下落合*2.9 白岡市千駄野*2.9 久喜市青葉*2.8 春日部市谷原新田*2.8 熊谷市江南*2.8 行田市南河原*2.8 さいたま大宮区天沼町*2.8 さいたま浦和区高砂*2.8 川島町下八ツ林*2.7 さいたま大宮区大門*2.7 行田市本丸*2.7 さいたま緑区中尾*2.7 さいたま岩槻区本丸*2.7 桶川市泉*2.6 北本市本町*2.6 鴻巣市吹上富士見*2.6 さいたま北区宮原*2.6 鴻巣市川里*2.5 上尾市本町*2.5 蕨市中央*2.5 熊谷市桜町*2.5 蓮田市黒浜*2.5				
		2 東松山市松葉町*2.4 ときがわ町桃木*2.4 坂戸市千代田*2.4 長瀬町野上下郷*2.4 熊谷市宮町*2.3 滑川町福田*2.3 埼玉美里町木部*2.3 伊奈町小室*2.3 さいたま西区指扇*2.3 さいたま桜区道場*2.3 さいたま浦和区常盤*2.3 草加市中央*2.2 八潮市中央*2.2 越生町越生*2.2 熊谷市大里*2.2 深谷市岡部*2.2 深谷市川本*2.1 吉見町下細谷*2.1 三郷市中央*2.1 毛呂山町中央*2.1 熊谷市妻沼*2.1 深谷市仲町*2.1 吉川市きよみ野*2.0 東松山市市ノ川*2.0 嵐山町杉山*2.0 埼玉神川町植竹*2.0 川口市三ツ和*2.0 越谷市越ヶ谷*2.0 富士見市鶴馬*2.0 鶴ヶ島市三ツ木*1.9 松伏町松伏*1.9 川越市新宿町*1.9 朝霞市本町*1.9 和光市広沢*1.9 小川町大塚*1.9 埼玉神川町下阿久原*1.8 長瀬町本野上*1.7 狭山市入間川*1.7 ときがわ町玉川*1.6 川越市旭町*1.6 深谷市花園*1.6 秩父市近戸町*1.6 新座市野火止*1.5 鳩山町大豆戸*1.5 東秩父村御堂*1.5 本庄市本庄*1.5 秩父市上町*1.5 志木市中宗岡*1.5				
		1 上里町七本木*1.4 所沢市北有楽町*1.4 埼玉三芳町藤久保*1.3 ふじみ野市福岡*1.3 皆野町皆野*1.3 入間市豊岡*1.3 日高市南平沢*1.3 寄居町寄居*1.1 秩父市熊木町*1.1 横瀬町横瀬*1.1 秩父市吉田*1.0 ふじみ野市大井*0.9 秩父市荒川*0.9 小鹿野町小鹿野*0.9 飯能市名栗*0.9 所沢市並木*0.7 秩父市中津川*0.7 飯能市征矢町*0.7 小鹿野町役場両神庁舎*0.5				
		3 白河市大信*2.5 白河市表郷*2.5				
		2 棚倉町棚倉中居野*2.3 矢祭町東館*2.2 玉川村小高*2.2 須賀川市岩瀬支所*2.2 浅川町浅川*2.1 白河市新白河*2.1 中島村滑津*2.0 泉崎村泉崎*2.0 白河市東*1.9 矢祭町戸塚*1.9 須賀川市八幡町*1.8 須賀川市八幡山*1.8 田村市都路町*1.8 郡山市湖南町*1.8 西郷村熊倉*1.7 白河市郭内*1.7 南会津町滝原*1.6 鏡石町不時沼*1.6 いわき市三和町*1.6 檜葉町北田*1.6 小野町中通*1.5 大熊町大川原*1.5 浪江町幾世橋*1.5 葛尾村落合落合*1.5 田村市船引町*1.5 南会津町松戸原*1.5 矢吹町一本木*1.5 古殿町松川新桑原*1.5				
		1 須賀川市長沼支所*1.4 小野町小野新町*1.4 田村市常葉町*1.4 本宮市本宮*1.4 いわき市平梅本*1.4 川内村上川内早渡*1.4 双葉町両竹*1.4 下郷町塩生*1.4 檜枝岐村上河原*1.4 天栄村下松本*1.3 天栄村湯本支所*1.3 石川町長久保*1.3 古殿町松川横川*1.3 郡山市開成*1.3 白河市八幡小路*1.3 福島伊達市霊山町*1.3 郡山市朝日*1.3 いわき市小名浜*1.3 いわき市錦町*1.3 二本松市針道*1.3 川俣町五百田*1.2 塙町塙*1.2 二本松市油井*1.2 平田村永田*1.2 三春町大町*1.1 南相馬市小高区*1.1 田村市滝根町*1.1 鮫川村赤坂中野*1.1 南会津町田島*1.1 福島広野町下北迫大谷地原*1.1 田村市大越町*1.1 いわき市平四ツ波*1.0 棚倉町棚倉ヶ丘*1.0 飯館村伊丹沢*1.0 南相馬市鹿島区西町*1.0 本宮市白岩*1.0 大玉村南小屋*1.0 川内村下川内*1.0 川内村上川内小山平*1.0 相馬市中村*0.9 大熊町野上*0.9 福島広野町下北迫苗代替*0.9 福島市五老内町*0.9 福島昭和村下中津川*0.8 富岡町本岡*0.8 二本松市金色*0.8 南相馬市原町区三島町*0.7 猪苗代町城南*0.7 大玉村玉井*0.7 福島伊達市梁川町*0.6 下郷町高陸*0.6 新地町谷地小屋*0.6 福島市桜木町*0.6 南相馬市原町区高見町*0.6 会津美里町本郷庁舎*0.6 福島市飯野町*0.6 福島市松木町*0.5				
		3 野田市東宝珠花*2.8 野田市鶴奉*2.7 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*2.5				
		2 千葉花見川区花島町*2.3 柏市柏*2.3 千葉美浜区ひび野*2.2 松戸市西馬橋*2.2 成田市中台*2.2 柏市旭町*2.2 白井市復*2.2 成田国際空港*2.1 成田市名古屋*2.1 八千代市大和田新田*2.1 浦安市日の出*2.1 香取市役所*2.1 芝山町小池*2.0 船橋市湊町*2.0 習志野市鷺沼*2.0 印西市大森*2.0 栄町安食台*2.0 柏市大島田*1.9 四街道市鹿渡*1.9 山武市埴谷*1.9 千葉中央区都町*1.9 千葉中央区千葉市役所*1.8 千葉稲毛区園生町*1.8 市原市姉崎*1.8 流山市平和台*1.8 浦安市猫実*1.8 香取市羽根川*1.8 香取市仁良*1.8 市川市南八幡*1.7 富里市七栄*1.7 香取市佐原平田*1.7 香取市佐原諏訪台*1.7 香取市岩部*1.7 千葉中央区中央港*1.7 八街市八街*1.7 印西市笠神*1.7 多古町多古*1.6 千葉佐倉市海隣寺町*1.6 我孫子市我孫子*1.6 千葉若葉区小倉台*1.6 神崎町神崎本宿*1.6 千葉美浜区稲毛海岸*1.6 成田市松子*1.5 長南町長南*1.5 市原市国分寺台中央*1.5 印西市美瀬*1.5 酒々井町中央台*1.5 松戸市根本*1.5 東金市日吉台*1.5 旭市南堀之内*1.5 成田市役所*1.5				
		1 長南町総合グラウンド*1.4 山武市松尾町富士見台*1.4 成田市猿山*1.4 君津市久留里市場*1.4 山武市蓮沼ニ*1.3 横芝光町栗山*1.2 睦沢町下之郷*1.2 横芝光町宮川*1.2 山武市殿台*1.1 山武市蓮沼ハ*1.1 千葉緑区おゆみ野*1.1 富津市下飯野*1.1 袖ヶ浦市坂戸市場*1.1 茂原市道表*1.1 東金市東新街*1.1 東金市東岩崎*1.1 九十九里町片貝*1.1 匝瑳市八日市場ハ*1.1 木更津市富士見*1.0 鴨川市横渚*1.0 一宮町一宮*1.0 山武市松尾町五反田*0.9 旭市ニ*0.9 旭市高生*0.8 旭市萩園*0.8 匝瑳市今泉*0.8 館山市長須賀*0.8 木更津市太田*0.8 東庄町笹川*0.8 鴨川市八色*0.5				
		3 東京杉並区高井戸*2.7 東京文京区大塚*2.6 東京中野区中野*2.6 東京板橋区高島平*2.6 2 東京新宿区上落合*2.4 東京中野区江古田*2.4 東京北区神谷*2.4 東京板橋区相生町*2.4 東京渋谷区本町*2.3 東京北区西ヶ原*2.3 東京千代田区大手町*2.2 町田市本町田*2.2 東京文京区スポーツセンタ*2.1 東京品川区平塚*2.1 東京大田区多摩川*2.1 東京世田谷区三軒茶屋*2.1 東京荒川区東尾久*2.1 東京練馬区光が丘*2.1 東京足立区伊興*2.1 東京港区南青山*2.0 東京品川区北品川*2.0 東京世田谷区成城*2.0 東京板橋区板橋*2.0 調布市西つつじヶ丘*2.0 東京渋谷区宇田川町*1.9 東京杉並区桃井*1.9 東京豊島区南池袋*1.9 東京足立区神明南*1.9 東京葛飾区立石*1.9 東京江戸川区中央*1.9 東京千代田区麹町*1.9				

令和2年1月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
52	14 13 25	<p>東京中央区築地*1.9 東京中央区勝どき*1.9 東京港区海岸=1.9 東京文京区本郷*1.9                      東京墨田区吾妻橋*1.9 東京世田谷区世田谷*1.9 東京千代田区富士見*1.8                      東京足立区千住中居町*1.8 東京葛飾区金町*1.8 東京新宿区百人町*1.8 小金井市本町*1.8                      小平市小川町*1.8 東京墨田区東向島*1.8 東京江東区森下*1.8 東京目黒区中央町*1.8                      東京大田区本羽田*1.8 東京中野区中央*1.8 町田市森野*1.7 日野市神明*1.7                      西東京市中町*1.7 東京世田谷区中町*1.7 東京中央区日本橋兜町*1.7 東京杉並区阿佐谷=1.7                      東京港区白金*1.7 東京台東区千束*1.7 東京江東区越中島*1.7 東京江戸川区船堀*1.7                      武蔵野市緑町*1.7 三鷹市野崎*1.7 東京練馬区東大泉*1.6 東京国際空港=1.6                      東京大田区大森東*1.6 東京江戸川区鹿骨*1.6 八王子市堀之内*1.6 町田市忠生*1.6                      東村山市本町*1.6 東京墨田区横川=1.6 東大和市中央*1.6 清瀬市中里*1.6 多摩市関戸*1.6                      稲城市東長沼*1.6 東京江東区青海=1.5 東京江東区東陽*1.5 東京品川区広町*1.5                      東京府中市朝日町*1.5 東村山市美住町*1.5 国分寺市戸倉=1.5 国分寺市本多*1.5                      狛江市和泉本町*1.5</p> <p>1 東京新宿区西新宿=1.4 東京台東区東上野*1.4 東京江東区亀戸*1.4 東京江東区枝川*1.4                      東京大田区蒲田*1.4 東京足立区中央本町*1.4 武蔵野市吉祥寺東町*1.4 東京府中市寿町*1.4                      調布市小島町*1.4 東京港区芝公園*1.3 八王子市石川町*1.3 武蔵村山市本町*1.2                      青梅市日向和田*1.2 国立市富士見台*1.1 八王子市大横町=1.0 清瀬市中清戸*1.0                      立川市泉町*0.9 青梅市東青梅=0.9 羽村市緑ヶ丘*0.8 檜原村本宿*0.7 多摩市鶴牧*0.7                      奥多摩町氷川*0.5</p> <p>2 横浜港北区日吉本町*2.8 横浜中区山手町=2.7 横浜中区山下町*2.6                      横浜中区山吹町*2.4 横浜鶴見区末広町*2.3 横浜神奈川区広台太田町*2.3                      川崎川崎区宮前町*2.3 横浜緑区十日市場町*2.2 横浜西区浜松町*2.1 横浜中区日本大通*2.1                      横浜旭区川井宿町*2.1 横浜瀬谷区三ツ境*2.1 川崎中原区小杉町*2.1 川崎宮前区宮前平*2.1                      川崎宮前区野川*2.1 横浜港北区綱島西*2.0 横浜青葉区榎が丘*2.0                      横浜保土ヶ谷区上菅田町*1.9 横浜戸塚区鳥が丘*1.9 横浜緑区鴨居*1.9                      横浜青葉区市ヶ尾町*1.9 川崎川崎区千鳥町*1.9 横浜西区みなとみらい*1.8                      横浜旭区上白根町*1.8 横浜瀬谷区中屋敷*1.8 大和市下鶴間*1.8 中井町比奈窪*1.8                      相模原南区相模大野*1.8 相模原緑区橋本*1.8 横浜都筑区池辺町*1.7 川崎幸区戸手本町*1.7                      座間市相武台*1.7 綾瀬市深谷*1.7 愛川町角田*1.7 横浜鶴見区馬場*1.6                      川崎川崎区中島*1.6 川崎中原区小杉陣屋町=1.6 藤沢市大庭*1.6 厚木市中町*1.6                      相模原緑区久保沢*1.6 横浜鶴見区鶴見*1.5 横浜港北区大倉山*1.5 横浜戸塚区戸塚町*1.5                      海老名市大谷*1.5 寒川町宮山*1.5 清川村煤ヶ谷*1.5 相模原中央区上溝*1.5                      相模原緑区大島*1.5</p> <p>1 横浜磯子区洋光台*1.4 横浜金沢区白帆*1.4 横浜戸塚区平戸町*1.4 横浜港南区丸山台東部*1.4                      横浜旭区大池町*1.4 横浜泉区岡津町*1.4 横浜泉区和泉町*1.4 川崎高津区下作延*1.4                      川崎多摩区登戸*1.4 茅ヶ崎市茅ヶ崎=1.4 相模原中央区水郷田名*1.4 横浜保土ヶ谷区神戸町*1.3                      横浜旭区今宿東町*1.3 平塚市浅間町*1.3 藤沢市打戻*1.3 藤沢市長後*1.3                      小田原市荻窪*1.3 湯河原町中央=1.3 横浜都筑区茅ヶ崎*1.2 川崎麻生区万福寺*1.2                      藤沢市辻堂東海岸*1.2 秦野市曾屋=1.2 神奈川大井町金子*1.2 横浜金沢区釜利谷南*1.2                      相模原南区磯部*1.2 横浜金沢区寺前*1.1 横浜栄区小菅ヶ谷*1.1 川崎麻生区片平*1.1                      松田町松田惣領*1.1 相模原緑区中野*1.1 三浦市城山町*1.0 横須賀市光の丘=0.9                      藤沢市朝日町*0.9 秦野市平沢*0.7 箱根町湯本*0.6 横須賀市坂本町*0.5</p> <p>2 丸森町鳥屋*0.9 岩沼市桜*0.9 大河原町新南*0.8 角田市角田*0.6</p> <p>1 南魚沼市六日町=0.8 十日町市上山*0.6 南魚沼市塩沢庁舎*0.6 南魚沼市塩沢小学校*0.5</p> <p>1 山梨北杜市長坂町*1.4 富士川町鯉沢*1.1 富士河口湖町長浜*1.1 上野原市役所*1.0                      笛吹市境川町藤笠*0.9 甲州市塩山下於曾*0.9 甲府市飯田=0.8 甲府市相生*0.8                      甲斐市下今井*0.8 甲州市塩山下於曾=0.7 大月市大月=0.6 富士河口湖町船津=0.6                      丹波山村丹波*0.6 上野原市四方津=0.5</p> <p>1 長野南牧村海ノ口*1.4 茅野市葛井公園*1.1 佐久市中込*1.0 諏訪市高島*0.7                      小海町豊里*0.7 軽井沢町追分=0.6 諏訪市湖岸通り=0.5 佐久市下小田切=0.5</p> <p>1 御殿場市萩原=1.0 東伊豆町奈良本*0.9 伊豆市中伊豆グラウンド=0.9 西伊豆町宇久須*0.7                      富士宮市弓沢町=0.7 富士宮市野中*0.6 沼津市戸田*0.5</p>	36° 07.3' N	140° 52.5' E	52km	M: 4.9
		<p>神奈川県</p> <p>3 玉川村小高*2.9 田村市滝根町*2.7                      2 いわき市錦町*2.4 田村市大越町*2.3 白河市東*2.3 古殿町松川新桑原*2.2 矢祭町戸塚*2.2                      白河市表郷*2.1 泉崎村泉崎*2.1 須賀川市八幡山*2.0 中島村滑津*2.0 本宮市白岩*2.0                      鏡石町不時沼*2.0 浅川町浅川*2.0 棚倉町棚倉中居野=1.9 白河市新白河*1.9                      天栄村下松本*1.9 いわき市小名浜=1.9 白河市大信*1.8 須賀川市八幡町*1.8 矢祭町東館*1.8                      いわき市平梅本*1.8 白河市郭内=1.7 いわき市平四ツ波*1.7 郡山市湖南町*1.7                      須賀川市岩瀬支所*1.7 矢吹町一本木*1.6 田村市常葉町*1.6 郡山市開成*1.6 郡山市朝日=1.6                      西郷村熊倉*1.6 石川町長久保*1.6 平田村永田*1.6 川内村上川内早渡*1.6 双葉町両竹*1.6                      二本松市油井*1.6 国見町藤田*1.6 小野町小野新町*1.6 檜葉町北田*1.5 古殿町松川横川=1.5                      塙町塙*1.5 浪江町幾世橋=1.5 南相馬市小高区*1.5 本宮市本宮*1.5 川俣町五百田*1.5                      福島広野町下北迫大谷地原*1.5</p> <p>1 福島市五老内町*1.4 小野町中通*1.4 田村市船引町=1.4 富岡町本岡*1.4 大熊町大川原*1.4                      大玉村南小屋=1.3 飯館村伊丹沢*1.3 福島市桜木町*1.3 白河市八幡小路*1.3                      福島伊達市霊山町*1.3 二本松市針道*1.3 福島広野町下北迫苗代替*1.2 桑折町東大隅*1.2                      川内村上川内小山平*1.2 福島市松木町=1.2 南相馬市鹿島区西町*1.2 二本松市金色*1.2                      田村市都路町*1.2 福島伊達市保原町*1.2 相馬市中村*1.2 福島伊達市前川原*1.1                      南相馬市原町区高見町*1.1 猪苗代町千代田*1.1 葛尾村落合落合*1.1 新地町谷地小屋*1.1                      西会津町登世島*1.0 大玉村玉井*1.0 天栄村湯本支所*1.0 須賀川市長沼支所*0.9                      福島伊達市梁川町*0.9 棚倉町棚倉ヶ丘*0.9 鮫川村赤坂中野*0.9 大熊町野上*0.9</p>				
		茨城県 福島県				

令和2年1月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
		<p>南相馬市原町区三島町=0.8 三春町大町*=0.8 南相馬市鹿島区栢窪=0.7 南会津町田島=0.7 猪苗代町城南=0.6 川内村下川内=0.6 檜枝岐村上河原*=0.6</p> <p>3 東海村東海*=2.9 高萩市安良川*=2.8 笠間市石井*=2.7 高萩市本町*=2.6 日立市助川小学校*=2.6 ひたちなか市南神敷台*=2.6 水戸市千波町*=2.6 行方市麻生*=2.6 稲敷市須賀津*=2.5 神栖市溝口*=2.5 潮来市堀之内=2.5</p> <p>2 常陸太田市金井町*=2.4 北茨城市中郷町*=2.4 大子町池田*=2.4 常陸大宮市山方*=2.4 取手市井野*=2.4 茨城鹿嶋市宮中*=2.4 稲敷市伊佐津*=2.4 水戸市栗崎町*=2.3 那珂市福田*=2.3 日立市十王町友部*=2.3 水戸市内原町*=2.3 常陸太田市大中町*=2.2 小美玉市上玉里*=2.2 龍ヶ崎市役所*=2.2 北茨城市磯原町*=2.2 茨城鹿嶋市鉢形=2.2 美浦村受領*=2.2 笠間市中央*=2.2 稲敷市結佐*=2.2 鉾田市造谷*=2.2 日立市役所*=2.2 ひたちなか市東石川*=2.1 行方市山田*=2.1 那珂市瓜連*=2.1 鉾田市汲上*=2.1 城里町石塚*=2.1 潮来市辻*=2.1 常陸太田市町田*=2.0 土浦市常名=2.0 石岡市柿岡=2.0 大洗町磯浜町*=2.0 常陸大宮市北町*=2.0 常陸大宮市野口*=2.0 城里町阿波山*=1.9 つくば市研究学園*=1.9 城里町小勝*=1.9 小美玉市小川*=1.9 稲敷市江戸崎甲*=1.9 かすみがうら市上土田*=1.9 桜川市岩瀬*=1.8 鉾田市鉾田=1.8 小美玉市堅倉*=1.8 笠間市笠間*=1.8 ひたちなか市山ノ上町=1.8 河内町源清田*=1.8 土浦市藤沢*=1.8 常陸太田市高柿町*=1.8 取手市藤代*=1.8 桜川市羽田*=1.7 阿見町中央*=1.7 常陸大宮市高部*=1.7 稲敷市役所*=1.7 つくば市天王台*=1.7 茨城町小堀*=1.7 筑西市門井*=1.7 笠間市下郷*=1.7 行方市玉造*=1.7 桜川市真壁*=1.7 常陸大宮市上小瀬*=1.6 石岡市石岡*=1.6 かすみがうら市大和田*=1.6 つくば市小釜*=1.6 常陸太田市町屋町=1.5 神栖市波崎*=1.5 土浦市田中*=1.5 石岡市若宮*=1.5 取手市寺田*=1.5 常総市水海道諏訪町*=1.5 牛久市中央*=1.5</p> <p>1 常陸大宮市中富町=1.4 利根町布川=1.4 筑西市舟生=1.4 筑西市海老ヶ島*=1.4 常総市新石下*=1.4 つくばみらい市加藤*=1.4 つくばみらい市福田*=1.4 石岡市八郷*=1.3 坂東市山*=1.1 結城市結城*=1.0 下妻市本城町*=1.0 守谷市大柏*=1.0 坂東市岩井=1.0 坂東市役所*=1.0 筑西市下中山*=1.0 境町旭町*=0.9 五霞町小福田*=0.8 八千代町菅谷*=0.7</p> <p>2 那須町寺子*=2.2 市貝町市塙*=1.8 那須烏山市中央=1.7 下野市笹原*=1.7 真岡市田町*=1.6 芳賀町祖母井*=1.6 高根沢町石末*=1.6 栃木那珂川町小川*=1.5 宇都宮市明保野町=1.5 益子町益子=1.5 茂木町茂木*=1.5</p> <p>1 栃木那珂川町馬頭*=1.4 下野市田中*=1.4 小山市神鳥谷*=1.3 那須烏山市大金*=1.3 真岡市荒町*=1.2 上三川町しらさぎ*=1.2 那須烏山市役所*=1.2 那須塩原市塩原庁舎*=1.1 宇都宮市中里町*=1.1 日光市鬼怒川温泉大原*=1.0 大田原市黒羽田町=1.0 那須塩原市あたご町*=1.0 栃木市岩舟町静*=1.0 鹿沼市晃望台*=1.0 栃木さくら市喜連川*=1.0 足利市大正町*=0.9 小山市中央町*=0.9 日光市芹沼*=0.9 那須塩原市鍋掛*=0.9 下野市大松山*=0.9 那須塩原市共郷社*=0.8 日光市黒部*=0.8 日光市足尾町中才*=0.7 茂木町北高岡天矢場*=0.7 日光市御幸町*=0.7 栃木市旭町=0.7 塩谷町玉生*=0.7 鹿沼市今宮町*=0.7 日光市瀬川=0.6 日光市湯元*=0.6 宇都宮市塙田*=0.6 日光市藤原庁舎*=0.6 那須塩原市中塩原*=0.5 宇都宮市旭*=0.5 鹿沼市口栗野*=0.5 那須塩原市鷺沼=0.5</p> <p>2 渋川市赤城町*=1.5</p> <p>1 沼田市利根町*=1.1 片品村東小川=1.1 桐生市黒保根町*=0.9 邑楽町中野*=0.9 沼田市白沢町*=0.9 桐生市元宿町*=0.9 沼田市西倉内町=0.8 前橋市粕川町*=0.6 桐生市織姫町=0.6 伊勢崎市西久保町*=0.6 板倉町板倉=0.6 沼田市下久屋町*=0.6 片品村鎌田*=0.6 桐生市新里町*=0.5 伊勢崎市今泉町*=0.5 渋川市吹屋*=0.5 千代田町赤岩*=0.5 前橋市富士見町*=0.5</p> <p>2 香取市役所*=2.4 香取市羽根川*=2.2 香取市佐原平田=2.1 印西市大森*=2.1 旭市南堀之内*=2.0 香取市仁良*=2.0 香取市佐原諏訪台*=1.9 印西市笠神*=1.9 野田市鶴奉*=1.7 神崎町神崎本宿*=1.6 多古町多古=1.6 成田国際空港=1.6 成田市名古屋=1.6 銚子市小畑新町=1.5 銚子市若宮町*=1.5 成田市松子*=1.5 白井市復*=1.5 栄町安食台*=1.5</p> <p>1 東庄町笹川*=1.4 千葉佐倉市海隣寺町*=1.4 千葉美浜区ひび野=1.3 八千代市大和田新田*=1.3 銚子市川口町=1.2 東金市日吉台*=1.2 旭市高生*=1.2 芝山町小池*=1.2 匝瑳市八日市場ハ*=1.2 香取市岩部*=1.2 千葉中央区都町*=1.2 松戸市西馬橋*=1.2 柏市柏*=1.2 印西市美瀬*=1.2 旭市萩園*=1.1 旭市ニ*=1.1 九十九里町片貝*=1.1 横芝光町宮川*=1.1 山武市蓮沼ニ*=1.1 山武市埴谷*=1.1 山武市蓮沼ハ*=1.1 船橋市湊町*=1.1 成田市役所*=1.1 成田市猿山*=1.1 柏市旭町=1.1 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=1.1 山武市松尾町富士見台=1.0 千葉中央区中央港=1.0 千葉花見川区花島町*=1.0 習志野市鷺沼*=1.0 柏市大島田*=1.0 市原市姉崎*=1.0 千葉若葉区小倉台*=0.9 野田市東宝珠花*=0.9 浦安市日の出=0.9 八街市八街*=0.9 富里市七栄*=0.9 東金市東新宿=0.8 君津市久留里市場*=0.6 一宮町一宮=0.5 長南町総合グラウンド=0.5</p> <p>1 盛岡市薮川*=0.8</p> <p>1 岩沼市桜*=1.4 蔵王町円田*=1.2 名取市増田*=1.2 角田市角田*=1.1 大河原町新南*=1.0 大崎市田尻*=0.9 丸森町鳥屋*=0.9 山元町浅生原*=0.9 石巻市桃生町*=0.9 亶理町下小路*=0.8 宮城加美町中新田*=0.8 白石市亶理町*=0.8 色麻町四籠*=0.7 松島町高城=0.7 丸森町上滝=0.6 大崎市古川三日町=0.6 登米市中田町=0.5 石巻市大街道南*=0.5</p> <p>1 上山市河崎*=0.6</p> <p>1 宮代町笠原*=1.2 春日部市粕壁*=1.1 春日部市谷原新田*=1.1 加須市大利根*=1.0 埼玉美里町木部*=1.0 春日部市金崎*=0.9 さいたま緑区中尾*=0.9 吉川市きよみ野*=0.8 久喜市下早見=0.8 三郷市中央*=0.8 川島町下八ツ林*=0.7 さいたま見沼区堀崎*=0.7 白岡市千駄野*=0.7 本庄市見玉町=0.7 草加市中央*=0.7 幸手市東*=0.6 さいたま北区宮原*=0.6 さいたま大宮区大門*=0.6 さいたま中央区下落合*=0.6 熊谷市大里*=0.6 鴻巣市吹上富士見*=0.6 久喜市青葉*=0.6 越谷市越ヶ谷*=0.6 蕨市中央*=0.6 戸田市上戸田*=0.6 和光市広沢*=0.6 八潮市中央*=0.6 鴻巣市川里*=0.5 さいたま西区指扇*=0.5 久喜市栗橋*=0.5 さいたま大宮区天沼町*=0.5 久喜市鷲宮*=0.5 吉見町下細谷*=0.5 さいたま南区別所*=0.5 加須市騎西*=0.5 加須市北川辺*=0.5 鴻巣市中央*=0.5</p> <p>1 東京中央区勝どき*=1.0 東京江東区越中島*=0.8 東京江戸川区船堀*=0.8 東京千代田区大手町=0.7 東京荒川区東尾久*=0.7 東京足立区神明南*=0.7 東京江戸川区中央=0.7 東京渋谷区本町*=0.6</p>				
		<p>茨城県</p> <p>栃木県</p> <p>群馬県</p> <p>千葉県</p> <p>岩手県 宮城県</p> <p>山形県 埼玉県</p> <p>東京都</p>				



令和2年1月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
53	14 16 39	東京北区西ヶ原*0.6 東京北区神谷*0.6 東京足立区伊興*0.6 東京葛飾区立石*0.6 東京板橋区高島平*0.5 神奈川県 1 横浜中区山手町=0.7				
		茨城県南部 36° 04.7' N 139° 53.3' E 44km M: 3.1 茨城県 1 坂東市馬立*0.8 稲敷市江戸崎甲*0.7 小美玉市上玉里*0.6 坂東市役所*0.6 取手市寺田*0.6 栃木県 1 下野市笹原*0.6 下野市田中*0.5 宇都宮市明保野町=0.5 埼玉県 1 宮代町笠原*0.5				
54	14 22 19	青森県東方沖 40° 45.3' N 141° 28.4' E 80km M: 3.3 青森県 1 階上町道仏*1.1 八戸市湊町=0.5 岩手県 1 軽米町軽米*0.5				
55	15 08 18	茨城県沖 36° 25.9' N 140° 41.2' E 52km M: 3.7 茨城県 2 城里町小勝*2.3 水戸市栗崎町*2.1 日立市助川小学校*2.0 水戸市千波町*2.0 笠間市石井*1.8 常陸大宮市野口*1.8 水戸市金町=1.8 ひたちなか市南神敷*1.7 那珂市瓜連*1.7 常陸大宮市北町*1.7 常陸太田市高柿町*1.6 東海村東海*1.6 土浦市藤沢*1.5 1 水戸市内原町*1.4 日立市十王町友部*1.4 日立市役所*1.4 常陸大宮市山方*1.4 常陸大宮市上小瀬*1.4 土浦市常名=1.4 笠間市笠間*1.3 ひたちなか市東石川*1.3 城里町石塚*1.3 小美玉市堅倉*1.3 茨城町小堤*1.3 石岡市柿岡=1.3 鉾田市汲上*1.3 ひたちなか市山ノ上町=1.2 つくば市研究学園*1.2 かすみがうら市上土田*1.2 桜川市真壁*1.2 常陸太田市金井町*1.2 小美玉市小川*1.1 土浦市田中*1.1 常陸太田市町屋町=1.1 桜川市羽田*1.1 石岡市若宮*1.1 筑西市門井*1.0 那珂市福田*1.0 行方市麻生*1.0 常陸太田市町田町*1.0 石岡市石岡*1.0 笠間市下郷*1.0 美浦村受領*1.0 笠間市中央*0.9 大洗町磯浜町*0.9 大子町池田*0.9 稲敷市江戸崎甲*0.9 小美玉市上玉里*0.9 石岡市八郷*0.9 桜川市岩瀬*0.8 鉾田市鉾田=0.8 高萩市安良川*0.8 茨城鹿嶋市宮中*0.7 常陸大宮市中富町=0.7 かすみがうら市大和田*0.7 城里町阿波山*0.7 鉾田市造谷*0.7 取手市寺田*0.6 茨城鹿嶋市鉢形=0.6 行方市玉造*0.6 つくば市天王台*0.5 稲敷市伊佐津*0.5 北茨城市中郷町*0.5 筑西市海老ヶ島*0.5 つくば市小茎*0.5 栃木県 1 真岡市田町*1.1 茂木町茂木*1.0 益子町益子=0.9 市貝町市塙*0.8 那須烏山市中央=0.7 芳賀町祖母井*0.6 栃木那珂川町馬頭*0.5 栃木那珂川町小川*0.5 真岡市荒町*0.5 千葉県 1 野田市鶴奉*0.6				
56	15 19 50	福島県沖 37° 45.7' N 141° 49.2' E 39km M: 3.8 福島県 1 檜葉町北田*1.2				
57	15 20 31	<b>釧路沖 42° 54.5' N 145° 07.0' E 91km M: 4.8</b> 北海道 3 標津町北2条*2.6 羅臼町岬町*2.6 浜中町湯沸=2.5 別海町常盤=2.5 根室市厚床*2.5 2 根室市落石東*2.4 根室市牧の内*2.3 別海町西春別*2.3 中標津町養老牛=2.2 別海町本別海*2.2 根室市瑠瑠瑠*2.2 中標津町丸山*2.1 釧路市黒金町*2.1 厚岸町尾幌=2.0 鶴居村鶴居東*2.0 弟子屈町弟子屈*2.0 浜中町茶内*1.9 釧路市幸町=1.8 標茶町塘路*1.8 羅臼町春日=1.7 十勝大樹町生花*1.7 釧路市阿寒町中央*1.6 標津町古多糠=1.6 釧路市音別町中園*1.6 標茶町川上*1.6 浦幌町桜町*1.5 1 清里町羽衣町*1.4 弟子屈町美里=1.4 厚岸町真栄*1.4 白糠町西1条*1.4 標津町薫別*1.4 斜里町ウトロ香川*1.3 足寄町上螺湾=1.3 羅臼町緑町*1.3 十勝池田町西1条*1.2 本別町北2丁目=1.2 足寄町南1条*1.2 釧路町別保*1.2 釧路市音別町尺別=1.1 根室市弥栄=1.1 本別町向陽町*0.9 斜里町本町*0.9 新得町2条*0.9 幕別町本町*0.8 小清水町小清水*0.8 幕別町忠類錦町*0.7 十勝大樹町東本通*0.7 広尾町並木通=0.7 豊頃町茂岩本町*0.7 十勝清水町南4条=0.7 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*0.7 弟子屈町サワランチサップ*0.6 根室市豊里=0.6 広尾町白樺通=0.5 青森県 1 八戸市湊町=0.6 八戸市南郷*0.6				
58	16 04 36	釧路沖 42° 58.2' N 145° 24.2' E 47km M: 3.2 北海道 1 根室市牧の内*0.6				
59	16 09 01	長野県南部 35° 52.8' N 137° 34.6' E 6km M: 3.1 長野県 2 木曾町開田高原西野*1.7 1 木曾町三岳*1.3 王滝村役場*1.2 王滝村鈴ヶ沢*1.0 木曾町新開*0.8 岐阜県 1 高山市高根町*0.5				
60	16 18 36	<b>沖繩本島近海 26° 32.3' N 127° 43.4' E 14km M: 4.2</b> 沖繩県 4 恩納村恩納*3.7 3 うるま市石川石崎*2.9 名護市港*2.5 2 本部町役場*2.4 宜野座村宜野座*2.3 金武町金武*2.2 沖繩市美里*2.2 うるま市みどり町*2.0 うるま市与那城平安座*1.9 読谷村座喜味=1.8 西原町与那城*1.7 国頭村辺土名*1.7 名護市豊原=1.7 うるま市勝連平安名*1.7 今帰仁村仲宗根*1.6 中城村当間*1.6 那覇市港町*1.5 1 名護市宮里=1.4 宜野湾市野嵩*1.3 浦添市安波茶*1.3 糸満市潮崎町*1.3 嘉手納町嘉手納*1.3 北谷町桑江*1.3 伊江村東江前*1.2 北中城村喜舎場*1.2 座間味村座間味*1.2 八重瀬町東風平*1.2 南城市佐数字佐敷*1.2 与那原町上与那原*1.1 八重瀬町具志頭*1.0 南風原町兼城*1.0 那覇市樋川=1.0 大宜味村大兼久*0.9 那覇空港=0.9 豊見城市宜保*0.9 南城市大里仲間*0.9 南城市佐数字新里*0.9 南城市知念久手堅*0.7 国頭村奥=0.7				

令和2年1月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
61	16 18 42	鹿兒島県 東村平良*0.5 1 与論町茶花*0.5 沖縄本島近海 沖縄県 2 恩納村恩納*1.5 1 座間味村座間味*1.4 西原町与那城*1.3 沖縄市美里*1.3 八重瀬町東風平*1.1 那覇市港町*1.0 うるま市石川石崎*1.0 宜野湾市野嵩*1.0 名護市港*0.9 読谷村座喜味*0.9 与那原町上与那原*0.8 北谷町桑江*0.8 中城村当間*0.8 本部町役場*0.8 南城市佐数字佐敷*0.8 南風原町兼城*0.7 嘉手納町嘉手納*0.6 北中城村喜舎場*0.6 国頭村辺土名*0.5 八重瀬町具志頭*0.5 宜野座村宜野座*0.5 那覇市樋川*0.5 南城市大里仲間*0.5	26° 32.4' N	127° 43.3' E	13km	M: 3.8
62	17 02 16	天草灘 熊本県 1 天草市牛深町=1.3 鹿兒島県 1 長島町鷹巣*1.3 長島町指江*1.1 長島町伊唐島*1.0 長島町獅子島*0.8	32° 08.4' N	130° 03.5' E	9km	M: 2.9
63	17 02 39	和歌山県南部 和歌山県 2 白浜町日置*1.9 1 御坊市菌=1.4 田辺市中辺路町栗栖川*1.3 湯浅町青木*1.2 日高川町土生*1.1 上富田町朝来*0.9 すさみ町周参見*0.9 有田市初島町*0.8 田辺市鮎川*0.8 みなべ町土井=0.6 みなべ町芝*0.6 由良町里*0.6 紀美野町下佐々*0.6 和歌山日高町高家*0.5 徳島県 1 阿南市山口町*0.6	33° 41.7' N	135° 28.6' E	23km	M: 3.4
<b>64</b>	<b>17 07 11</b>	<b>トカラ列島近海</b> 鹿兒島県 3 鹿兒島十島村諏訪之瀬島*2.5	<b>29° 37.2' N</b>	<b>129° 44.7' E</b>	<b>0km</b>	<b>M: 3.0</b>
65	17 12 49	宮城県沖 岩手県 1 一関市室根町*0.7	38° 42.1' N	141° 47.6' E	53km	M: 2.9
66	18 02 53	宮城県沖 岩手県 2 大船渡市猪川町=1.5 1 一関市室根町*1.2 一関市千厩町*1.0 住田町世田米*0.9 大船渡市大船渡町=0.8 陸前高田市高田町*0.8 釜石市只越町=0.8 一関市藤沢町*0.7 一関市大東町=0.5 遠野市青笹町*0.5 宮城県 1 気仙沼市唐桑町*1.3 気仙沼市笹が陣*1.2 南三陸町志津川=1.1 気仙沼市赤岩=0.8 登米市東和町*0.8 石巻市桃生町*0.7 南三陸町歌津*0.5 大崎市田尻*0.5 石巻市泉町=0.5 石巻市北上町*0.5	38° 54.2' N	142° 05.9' E	44km	M: 4.0
67	18 13 32	釧路地方中南部 北海道 1 十勝大樹町生花*0.7 釧路市阿寒町中央*0.7 本別町向陽町*0.5	42° 59.7' N	144° 05.8' E	83km	M: 3.5
68	19 03 51	紀伊水道 和歌山県 1 湯浅町青木*1.4 由良町里*0.6	33° 51.1' N	134° 58.9' E	10km	M: 3.1
69	19 06 57	岩手県内陸南部 岩手県 1 奥州市衣川*0.7	39° 06.0' N	140° 56.6' E	9km	M: 2.8
70	19 07 41	茨城県北部 茨城県 1 日立市助川小学校*0.6	36° 47.6' N	140° 32.9' E	9km	M: 3.3
71	19 17 00	新潟県上中越沖 新潟県 1 佐渡市羽茂本郷*1.2 佐渡市千種*0.8 佐渡市小木町*0.8	37° 41.8' N	138° 22.2' E	23km	M: 3.4
72	20 08 46	和歌山県南部 和歌山県 2 田辺市中辺路町栗栖川*2.0 1 白浜町日置*1.4 みなべ町土井=1.3 日高川町高津尾*1.2 田辺市本宮町本宮*1.2 湯浅町青木*1.2 田辺市中屋敷町*1.1 日高川町土生*1.1 みなべ町芝*0.9 由良町里*0.9 白浜町消防本部=0.8 上富田町朝来*0.8 すさみ町周参見*0.8 御坊市菌=0.7 田辺市龍神村西*0.7 新宮市熊野川町日足*0.6 有田川町下津野*0.5 田辺市中辺路町近露=0.5 奈良県 1 十津川村小原*0.6	33° 55.4' N	135° 30.3' E	52km	M: 3.5
73	20 17 04	奄美大島近海 鹿兒島県 2 喜界町滝川=1.9 喜界町湾*1.7 1 奄美市笠利町里*0.6	28° 15.5' N	129° 57.7' E	21km	M: 3.4
74	21 07 20	宮城県沖 岩手県 1 一関市室根町*0.8 大船渡市大船渡町=0.5 宮城県 1 南三陸町歌津*0.7 気仙沼市笹が陣*0.6 石巻市桃生町*0.6 南三陸町志津川=0.5 気仙沼市赤岩=0.5	38° 32.3' N	141° 43.0' E	52km	M: 3.6
75	21 09 26	茨城県南部 茨城県 1 筑西市門井*0.6	36° 18.5' N	140° 01.6' E	72km	M: 3.2

令和2年1月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
76	21 13 55	熊本県熊本地方 熊本県 1 八代市千丁町*0.6 八代市坂本町*0.5 宇城市小川町*0.5	32° 31.7' N	130° 41.0' E	7km	M: 2.6
77	21 19 17	<b>茨城県沖</b> 茨城県 4 東海村東海*3.7 3 ひたちなか市南神敷台*3.2 城里町小勝*3.1 水戸市栗崎町*3.0 日立市助川小学校*3.0 水戸市金町*2.9 大子町池田*2.7 ひたちなか市東石川*2.6 日立市役所*2.6 日立市十王町友部*2.6 那珂市福田*2.5 笠間市石井*2.5 2 水戸市千波町*2.4 水戸市内原町*2.4 常陸太田市町屋町*2.4 那珂市瓜連*2.4 鉾田市汲上*2.4 茨城町小堤*2.3 常陸大宮市北町*2.3 常陸大宮市野口*2.3 常陸太田市町田*2.3 常陸太田市高柿町*2.3 城里町石塚*2.2 常陸大宮市山方*2.1 高萩市安良川*2.1 常陸太田市金井町*2.1 常陸大宮市中富町*2.0 小美玉市小川*2.0 石岡市若宮*2.0 桜川市岩瀬*2.0 ひたちなか市山ノ上町*2.0 常陸太田市大中町*2.0 小美玉市堅倉*1.9 石岡市柿岡*1.9 笠間市笠間*1.9 常陸大宮市上小瀬*1.9 北茨城市中郷町*1.9 桜川市羽田*1.8 城里町阿波山*1.7 鉾田市鉾田*1.7 鉾田市造谷*1.7 笠間市下郷*1.7 土浦市常名*1.7 かすみがうら市上土田*1.7 筑西市門井*1.6 桜川市真壁*1.6 大洗町磯浜町*1.6 高萩市本町*1.6 小美玉市上玉里*1.6 北茨城市磯原町*1.6 笠間市中央*1.6 石岡市石岡*1.6 行方市麻生*1.5 茨城鹿嶋市鉢形*1.5 1 土浦市藤沢*1.4 茨城鹿嶋市宮中*1.4 常陸大宮市高部*1.3 石岡市八郷*1.3 かすみがうら市大和田*1.3 行方市玉造*1.3 結城市結城*1.2 つくば市研究学園*1.2 稲敷市江戸崎甲*1.2 筑西市舟生*1.2 筑西市下中山*1.2 土浦市田中*1.2 行方市山田*1.1 美浦村受領*1.1 筑西市海老ヶ島*1.1 潮来市辻*1.0 つくば市天王台*1.0 茨城古河市仁連*0.9 坂東市山*0.9 つくば市小荊*0.9 神栖市溝口*0.9 潮来市堀之内*0.9 常総市新石下*0.9 下妻市本城町*0.8 稲敷市伊佐津*0.8 稲敷市結佐*0.8 取手市寺田*0.8 阿見町中央*0.8 八千代町菅谷*0.7 五霞町小福田*0.7 龍ヶ崎市役所*0.6 稲敷市須賀津*0.6 常総市水海道諏訪町*0.6 牛久市中央*0.5 稲敷市役所*0.5 福島県 2 浅川町浅川*2.4 玉川村小高*2.1 棚倉町棚倉中居野*2.1 矢祭町東塚*2.0 矢祭町戸塚*1.9 中島村滑津*1.9 白河市東*1.9 田村市都路町*1.8 白河市表郷*1.8 田村市滝根町*1.7 小野町中通*1.7 泉崎村泉崎*1.7 石川町長久保*1.6 古殿町松川新桑原*1.6 鏡石町不時沼*1.6 田村市船引町*1.6 平田村永田*1.6 鮫川村赤坂中野*1.5 白河市新白河*1.5 1 須賀川市岩瀬支所*1.4 古殿町松川横川*1.4 小野町小野新町*1.4 田村市大越町*1.4 いわき市三和町*1.4 いわき市平四ツ波*1.4 いわき市錦町*1.4 矢吹町一本木*1.3 郡山市開成*1.3 田村市常葉町*1.3 いわき市平梅本*1.3 白河市郭内*1.2 須賀川市八幡町*1.2 天栄村下松本*1.2 福島広野町下北迫大谷地原*1.2 葛尾村落合落合*1.2 白河市大信*1.2 塙町塙*1.2 檜葉町北田*1.1 浪江町幾世橋*1.1 いわき市小名浜*1.1 檜枝岐村上河原*1.1 須賀川市八幡山*1.1 棚倉町棚倉ヶ丘*1.0 川内村上川内早渡*1.0 郡山市朝日*1.0 二本松市針道*1.0 二本松市油井*0.9 飯館村伊丹沢*0.9 川内村下川内*0.9 川俣町五百田*0.9 大熊町大川原*0.9 本宮市本宮*0.9 川内村上川内小山平*0.8 福島伊達市霊山町*0.8 三春町大町*0.8 富岡町本岡*0.7 本宮市白岩*0.7 二本松市金色*0.7 郡山市湖南町*0.7 福島市五老内町*0.7 大玉村玉井*0.5 福島広野町下北迫苗代替*0.5 大玉村南小屋*0.5 栃木県 2 市貝町市塙*2.1 益子町益子*2.0 茂木町茂木*2.0 真岡市田町*1.8 那須烏山市中央*1.7 小山市神鳥谷*1.6 栃木那珂川町小川*1.6 1 真岡市荒町*1.4 栃木那珂川町馬頭*1.4 宇都宮市中里町*1.3 芳賀町祖母井*1.3 栃木さくら市喜連川*1.2 下野市田中*1.2 日光市鬼怒川温泉大原*1.1 宇都宮市明保野町*1.1 佐野市高砂町*1.0 那須烏山市役所*1.0 下野市笹原*1.0 足利市大正町*0.9 茂木町北高岡天矢場*0.9 那須烏山市大金*0.9 那須町寺子*0.9 栃木さくら市氏家*0.7 栃木市藤岡町藤岡*0.7 栃木市岩舟町静*0.7 鹿沼市今宮町*0.7 日光市藤原庁舎*0.6 下野市大光山*0.6 日光市芹沼*0.5 那須塩原市共懇社*0.5 宇都宮市旭*0.5 栃木市旭町*0.5 宮城県 1 岩沼市桜*0.5 群馬県 1 渋川市赤城町*1.1 沼田市白沢町*0.9 桐生市黒保根町*0.9 沼田市利根町*0.8 前橋市粕川町*0.8 桐生市元宿町*0.8 千代田町赤岩*0.8 大泉町日の出*0.8 板倉町板倉*0.7 邑楽町中野*0.7 桐生市新里町*0.6 伊勢崎市西久保町*0.6 埼玉県 1 春日部市粕壁*1.0 羽生市東*0.6 久喜市下早見*0.6 宮代町笠原*0.6 熊谷市江南*0.6 本庄市児玉町*0.6 埼玉美里町木部*0.5 春日部市金崎*0.5 加須市大和根*0.5 深谷市花園*0.5 嵐山町杉山*0.5 千葉県 1 野田市鶴奉*1.0 香取市役所*0.8 香取市仁良*0.8 八千代市大和田新田*0.8 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*0.8 白井市復*0.8 香取市佐原平田*0.7 香取市羽根川*0.7 野田市東宝珠花*0.6 成田国際空港*0.6 印西市大森*0.6 神崎町神崎本宿*0.5 成田市名古屋*0.5 習志野市鷺沼*0.5	36° 25.6' N	140° 38.8' E	53km	M: 4.2
78	22 04 34	岩手県沿岸北部 青森県 岩手県 1 階上町道仏*1.2 1 遠野市青笹町*1.4 宮古市茂市*1.3 宮古市川井*1.1 遠野市宮守町*1.0 田野畑村田野畑*0.9 普代村銅屋*0.9 葛巻町葛巻元木*0.9 花巻市大迫総合支所*0.9 宮古市田老*0.9 宮古市区界*0.9 久慈市枝成沢*0.8 盛岡市藪川*0.8 葛巻町消防分署*0.7 住田町世田米*0.7 一関市室根町*0.7 盛岡市洪民*0.6 岩泉町大川*0.6 岩泉町岩泉*0.6 八幡平市田頭*0.6 山田町大沢*0.5	39° 45.4' N	141° 51.1' E	58km	M: 3.7
79	22 12 21	西表島付近 沖縄県 1 竹富町船浮*1.3 竹富町大原*0.6 竹富町上原*0.5	24° 04.7' N	123° 28.0' E	25km	M: 3.8
80	22 18 52	<b>徳島県南部</b> 徳島県 3 那賀町和食*2.5	33° 54.1' N	134° 27.9' E	3km	M: 3.1

令和2年1月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
81	22 19 38	福島県沖 福島県 茨城県 栃木県	37° 01.8' N	141° 19.0' E	49km	M: 3.5
82	22 22 40	茨城県南部 茨城県 千葉県	35° 59.5' N	140° 15.9' E	42km	M: 3.5
83	22 22 43	茨城県南部 茨城県 栃木県 千葉県	35° 59.5' N	140° 15.7' E	41km	M: 3.5
84	22 23 32	与那国島近海 沖縄県	23° 57.4' N	122° 39.4' E	39km	M: 4.6
85	23 06 09	日向灘 宮崎県	32° 03.4' N	131° 51.2' E	33km	M: 3.6
86	23 07 08	根室半島南東沖 北海道	42° 59.6' N	145° 46.7' E	73km	M: 4.0
87	23 08 28	滋賀県北部 岐阜県	35° 31.7' N	136° 22.1' E	13km	M: 2.5
88	23 16 13	静岡県西部 静岡県 愛知県 長野県 岐阜県	34° 41.0' N	137° 50.9' E	34km	M: 3.7
89	24 09 31	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 37.0' N	129° 43.5' E	0km	M: 2.1
90	24 09 33	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 36.0' N	129° 43.7' E	0km	M: 1.8

令和2年1月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
91	24 12 44	福島県沖 宮城県 福島県  茨城県	36° 58.0' N	142° 04.4' E	42km	M: 4.6
		1 岩沼市桜*0.9 丸森町鳥屋*0.8 角田市角田*0.8 1 郡山市湖南町*1.3 白河市新白河*1.1 天栄村下松本*1.1 玉川村小高*1.1 田村市大越町*1.0 小野町小野新町*0.9 須賀川市岩瀬支所*0.8 大熊町大川原*0.8 いわき市三和町*0.7 須賀川市八幡山*0.7 南相馬市原町区高見町*0.7 白河市郭内*0.7 田村市常葉町*0.6 浪江町幾世橋*0.6 田村市都路町*0.5 1 笠間市石井*0.8				
92	25 10 34	千葉県東方沖 千葉県	35° 16.0' N	140° 38.6' E	58km	M: 4.1
		2 長南町長南*2.1 勝浦市墨名*1.7 長南町総合グラウンド*1.6 1 いすみ市国府台*1.2 勝浦市新官*1.0 大多喜町大多喜*0.9 大網白里市大網*0.9 君津市久留里市場*0.7 一宮町一宮*0.7 鴨川市八色*0.7 東金市日吉台*0.6 山武市松尾町富士見台*0.6 東金市東新宿*0.5 市原市姉崎*0.5 鴨川市横濱*0.5				
93	25 19 04	熊本県阿蘇地方 熊本県	32° 57.8' N	131° 05.9' E	9km	M: 2.3
		1 阿蘇市一の宮町*0.5				
94	25 20 01	茨城県沖 福島県  茨城県  栃木県	36° 29.5' N	141° 36.8' E	61km	M: 4.4
		1 泉崎村泉崎*0.9 白河市新白河*0.9 天栄村下松本*0.9 玉川村小高*0.8 郡山市開成*0.7 郡山市湖南町*0.7 田村市都路町*0.7 二本松市油井*0.5 鏡石町不時沼*0.5 浅川町浅川*0.5 郡山市朝日*0.5 1 日立市助川小学校*1.0 笠間市石井*1.0 日立市十王町友部*0.8 水戸市内原町*0.7 東海村東海*0.7 大子町池田*0.7 鉾田市汲上*0.7 水戸市千波町*0.6 城里町小勝*0.5 土浦市常名*0.5 1 益子町益子*0.5				
95	26 02 44	釧路沖 北海道	42° 42.3' N	145° 13.9' E	50km	M: 3.7
		1 根室市落石東*1.1 根室市瑤瑤瑠*0.6 根室市牧の内*0.5				
96	26 07 45	五島列島近海 佐賀県 長崎県	33° 07.5' N	128° 36.6' E	16km	M: 3.9
		1 唐津市肥前*0.6 1 松浦市志佐町*1.3 五島市岐宿町*0.9 平戸市鏡川町*0.7 平戸市岩の上町*0.6				
97	26 18 55	奄美大島近海 鹿児島県	28° 22.6' N	129° 24.8' E	12km	M: 3.4
		1 奄美市名瀬港町*1.1 瀬戸内町西古見*0.9 大和村思勝*0.5 宇検村湯湾*0.5 奄美市名瀬幸町*0.5				
98	28 02 19	東京湾 東京都 神奈川県	35° 39.0' N	140° 01.9' E	65km	M: 3.0
		1 調布市西つつじヶ丘*0.6 1 川崎川崎区宮前町*0.7				
99	28 10 15	熊本県熊本地方 熊本県	32° 43.6' N	130° 45.0' E	13km	M: 2.9
		1 宇土市浦田町*1.0 宇城市不知火町*0.9 宇城市松橋町*0.8 熊本西区春日*0.7				
100	28 10 36	根室半島南東沖 北海道	43° 22.4' N	145° 59.0' E	96km	M: 5.5
		4 別海町常盤*3.6 別海町西春別*3.6 根室市牧の内*3.5 3 根室市瑤瑤瑠*3.3 根室市弥栄*3.1 根室市落石東*3.0 根室市厚床*3.0 釧路市黒金町*2.9 釧路町別保*2.9 標茶町塘路*2.8 白糠町西1条*2.8 標津町北2条*2.8 別海町本別海*2.8 中標津町丸山*2.7 根室市豊里*2.6 釧路市阿寒町中央*2.6 鶴居村鶴居東*2.5 釧路市音別町中園*2.5 2 厚岸町尾幌*2.4 標茶町川上*2.4 厚岸町真栄*2.3 浜中町茶内*2.3 釧路市幸町*2.3 羅臼町岬町*2.3 中標津町養老牛*2.1 弟子屈町サウンチサップ*2.0 浜中町湯沸*2.0 幕別町本町*1.9 十勝池田町西1条*1.9 浦幌町桜町*1.9 羅臼町緑町*1.9 斜里町ウトロ香川*1.9 標津町薫別*1.8 十勝大樹町生花*1.8 弟子屈町弟子屈*1.8 清里町羽衣町*1.7 本別町北2丁目*1.7 十勝清水町南4条*1.6 釧路市音別町尺別*1.6 羅臼町春日*1.6 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*1.6 足寄町上螺湾*1.6 足寄町南1条*1.5 標津町古多糠*1.5 本別町向陽町*1.5 1 函館市新浜町*1.4 大空町東藻琴*1.3 幕別町忠類錦町*1.3 十勝大樹町東本通*1.3 弟子屈町美里*1.3 斜里町本町*1.1 豊頃町茂岩本町*1.1 芽室町東2条*1.1 安平町早来北進*1.0 新得町2条*1.0 音更町元町*1.0 広尾町並木通*1.0 函館市泊町*1.0 美幌町東3条*0.9 帯広市東4条*0.9 小清水町小清水*0.9 新ひだか町静内山手町*0.8 浦河町潮見*0.8 帯広市東6条*0.8 広尾町白樺通*0.8 中札内村東2条*0.7 様似町栄町*0.7 浦河町築地*0.6 幕別町忠類明和*0.6 日高地方日高町門別*0.6 土幌町土幌*0.5 えりも町えりも岬*0.5 函館市川汲町*0.5 陸別町陸別*0.5 新ひだか町静内御幸町*0.5 浦河町野深*0.5 えりも町目黒*0.5 青森県 1 東北町上北南*1.3 八戸市南郷*1.1 階上町道仏*1.1 東通村砂子又沢内*1.1 外ヶ浜町蟹田*1.0 八戸市内丸*1.0 おいらせ町中下田*1.0 七戸町森上*0.9 青森南部町苔米地*0.9 八戸市湊町*0.9 東通村砂子又蒲谷地*0.9 野辺地町野辺地*0.9 六戸町犬落瀬*0.8 五戸町古館*0.8 むつ市金曲*0.6 青森市浪岡*0.6 六ヶ所村尾駈*0.5 岩手県 1 盛岡市薮川*1.2 宮城県 1 石巻市桃生町*0.7 登米市米山町*0.6				
101	28 12 23	岩手県沖 岩手県	39° 09.9' N	142° 34.0' E	29km	M: 4.1
		2 住田町世田米*1.5				

令和2年1月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
102	28 16 21	宮城県 1 一関市室根町*=1.1 一関市千厩町*=0.8 遠野市青笹町*=0.7 盛岡市洪民*=0.7 八幡平市田頭*=0.6 花巻市大迫町=0.6 陸前高田市高田町*=0.6 大船渡市大船渡町=0.6 釜石市只越町=0.5 一関市藤沢町*=0.5 2 宇城市豊野町*=1.5 3 熊本市西区春日=1.3 熊本美里町馬場*=0.6 嘉島町上島*=0.5 甲佐町豊内*=0.5	32° 41.1' N	130° 43.1' E	13km	M: 2.6
103	28 19 13	青森県 3 八戸市湊町=3.2 2 階上町道仏*=2.4 八戸市内丸*=2.3 青森南部町苦米地*=1.7 野辺地町野辺地*=1.6 1 野辺地町田狭沢*=1.4 五戸町古籓=1.3 三沢市桜町*=1.2 東通村白糠*=1.1 八戸市南郷*=1.1 東北町上北南*=1.0 五戸町倉石中市*=1.0 おいらせ町中下田*=1.0 六ヶ所村尾敷=1.0 三戸町在府小路町*=1.0 東北町塔ノ沢山*=0.9 東通村砂子又沢内*=0.9 青森南部町沖田面*=0.9 七戸町森ノ上*=0.9 平内町東田沢*=0.8 七戸町七戸*=0.7 十和田市西二番町*=0.6 八戸市島守=0.5 東通村砂子又蒲谷地=0.5 六ヶ所村出戸=0.5 岩手県 2 久慈市枝成沢=1.5 1 軽米町軽米*=1.2 二戸市浄法寺町*=1.0 岩手洋野町種市=0.9 岩手洋野町大野*=0.8 八幡平市田頭*=0.6 盛岡市薮川*=0.5 九戸村伊保内*=0.5 北海道 1 函館市泊町*=0.8	40° 58.9' N	142° 00.1' E	57km	M: 4.2
104	28 23 59	宮城県 2 気仙沼市笹が陣*=1.5 1 気仙沼市赤岩=1.3 気仙沼市唐桑町*=1.1 石巻市桃生町*=0.9 登米市東和町*=0.8 南三陸町志津川=0.8 大崎市田尻*=0.7 石巻市北上町*=0.7 南三陸町歌津*=0.6 気仙沼市本吉町西川内=0.5 岩手県 1 大船渡市猪川町=1.4 一関市千厩町*=1.2 大船渡市大船渡町=1.2 一関市室根町*=0.9 釜石市中妻町*=0.8 陸前高田市高田町*=0.8 一関市藤沢町*=0.7 住田町世田米*=0.5	38° 53.3' N	141° 58.2' E	49km	M: 3.9
105	29 01 33	釧路市 2 標茶町塘路*=1.9 釧路市黒金町*=1.6 釧路市幸町=1.5 別海町西春別*=1.5 1 厚岸町尾幌=1.4 鶴居村鶴居東*=1.4 浜中町茶内*=1.2 浜中町湯沸=1.2 標茶町川上*=1.0 根室市厚床*=1.0 根室市落石東*=1.0 釧路町別保*=0.9 中標津町丸山*=0.8 弟子屈町弟子屈*=0.8 厚岸町真栄*=0.8 中標津町養老牛=0.7 別海町常盤=0.6 別海町本別海*=0.5	43° 00.9' N	144° 50.8' E	61km	M: 3.9
106	29 07 00	周防灘 1 防府市寿=1.4 山口市秋穂二島*=1.0 防府市西浦*=1.0 山口市秋穂東*=0.9 1 国東市国見町伊美*=0.5	33° 56.1' N	131° 26.3' E	15km	M: 3.0
107	29 08 39	沖縄本島北西沖 2 久米島町比嘉*=1.5 1 久米島町謝名堂=1.3 本部町役場*=1.2 渡名喜村渡名喜*=1.1 久米島町仲泊*=1.0 名護市港*=0.8 久米島町山城=0.7 栗国村浜=0.6	27° 19.9' N	126° 31.9' E	14km	M: 5.7
108	29 17 45	茨城県 2 日立市助川小学校*=1.5 1 常陸太田市大中町*=1.3 土浦市常名=1.2 城里町小勝*=1.1 常陸大宮市上小瀬*=1.1 ひたちなか市南神敷台*=1.0 常陸大宮市北町*=0.9 常陸大宮市山方*=0.9 石岡市柿岡=0.9 筑西市門井*=0.9 かすみがうら市上土田*=0.9 笠間市石井*=0.9 笠間市笠間*=0.8 常陸太田市高柿町*=0.8 東海村東海*=0.8 常陸太田市町屋町=0.7 常陸太田市町田町*=0.7 坂東市山*=0.7 水戸市千波町*=0.7 常陸大宮市野口*=0.7 桜川市羽田*=0.7 日立市役所*=0.7 大子町池田*=0.6 土浦市藤沢*=0.6 ひたちなか市東石川*=0.6 常総市水海道諏訪町*=0.6 石岡市若宮*=0.6 日立市十王町友部*=0.6 水戸市栗崎町*=0.5 水戸市内原町*=0.5 笠間市下郷*=0.5 常陸大宮市高部*=0.5 城里町石塚*=0.5 取手市寺田*=0.5 つくば市小茎*=0.5 栃木県 1 宇都宮市明保野町=1.1 栃木市旭町=0.7	36° 47.7' N	140° 32.7' E	9km	M: 3.7
109	29 19 32	千葉県 1 茨城県鹿嶋市鉢形=0.6 1 銚子市小畑新町=1.4 芝山町小池*=1.2 横芝光町宮川*=1.2 九十九里町片貝*=1.1 多古町多古=1.0 旭市南堀之内*=1.0 山武市蓮沼二*=1.0 山武市埴谷*=1.0 東金市日吉台*=0.9 山武市松尾町富士見台=0.9 匝瑳市今泉*=0.9 香取市仁良*=0.9 山武市松尾町五反田*=0.9 旭市萩園*=0.8 香取市役所*=0.8 銚子市川口町=0.8 山武市蓮沼ハ*=0.8 一宮町一宮=0.8 長南町総合グラウンド=0.7 東金市東新宿=0.7	35° 40.2' N	140° 44.2' E	47km	M: 4.2
110	29 22 52	日向灘 1 宮崎市松橋*=1.3 日南市南郷町南町*=1.0	31° 31.3' N	131° 45.9' E	21km	M: 3.8
111	30 11 54	熊本県 3 和水町江田*=2.7 2 山鹿市鹿北町*=2.2 和水町板楠*=2.1 南関町関町*=2.0 玉東町木葉*=1.8 玉名市中尾*=1.7 荒尾市宮内出目*=1.6 1 熊本北区植木町*=1.4 玉名市築地=1.3 山鹿市鹿央町*=1.1 玉名市岱明町*=1.0 玉名市天水町*=1.0	33° 01.3' N	130° 33.2' E	9km	M: 3.6

令和2年1月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
112	30 19 55	山鹿市老人福祉センター*=1.0 長洲町長洲*=0.9 玉名市横島町*=0.8 山鹿市菊鹿町*=0.8 菊池市隈府*=0.5	32° 35.6' N	130° 39.2' E	12km	M: 3.9
		福岡県 2 大牟田市昭和町*=2.2 みやま市高田町*=2.0				
		1 みやま市山川町*=1.4 柳川市三橋町*=1.3 柳川市大和町*=1.2 八女市黒木町今*=1.2 みやま市瀬高町*=1.1 柳川市本町*=1.1 八女市矢部村*=1.0 八女市黒木町北木屋=0.9 大牟田市笹林=0.9 大牟田市有明町*=0.8 久留米市城島町*=0.8 久留米市三潞町*=0.8 筑後市山ノ井*=0.8 八女市吉田*=0.6 八女市本町*=0.6 八女市立花町*=0.6 大川市酒見*=0.6 福岡広川町新代*=0.6 大木町八町牟田*=0.5 久留米市津福本町=0.5				
		佐賀県 1 佐賀市三瀬*=1.3 太良町多良=1.1 嬉野市下宿乙*=0.8 佐賀市駅前中央=0.7 上峰町坊所*=0.6 みやま市中原*=0.6 みやま市三根*=0.5 佐賀市川副*=0.5 神埼市千代田*=0.5 唐津市相知*=0.5				
		長崎県 1 島原市有明町*=1.3 雲仙市国見町=1.3 島原市下折橋町*=1.0 雲仙市愛野町*=0.8 雲仙市瑞穂町*=0.6				
		大分県 1 日田市前津江町*=0.9				
		<b>熊本県熊本地方</b>				
		熊本県 3 八代市千丁町*=2.7 八代市平山新町=2.6 八代市鏡町*=2.6 八代市坂本町*=2.5 2 宇城市豊野町*=2.4 八代市東陽町*=2.2 氷川町島地*=2.2 八代市泉支所*=2.1 宇城市松橋町=2.1 宇城市小川町*=2.0 宇土市浦田町*=2.0 上天草市姫戸町*=2.0 上天草市松島町*=1.9 宇城市不知火町*=1.8 氷川町宮原*=1.8 熊本美里町永富*=1.7 熊本南区富合町*=1.6 五木村甲*=1.6 上天草市龍ヶ岳町*=1.5 八代市泉町=1.5 球磨村渡*=1.5				
		1 西原村小森*=1.4 熊本美里町馬場*=1.4 宇城市三角町*=1.4 天草市牛深町=1.4 あさぎり町須恵*=1.3 芦北町田浦町*=1.3 上天草市大矢野町=1.3 芦北町芦北=1.2 あさぎり町免田東*=1.2 天草市倉岳町*=1.2 甲佐町豊内*=1.1 天草市河浦町*=1.1 水俣市牧ノ内*=1.1 水俣市陣内*=1.0 御船町御船*=1.0 錦町一武*=1.0 嘉島町上島*=1.0 あさぎり町岡原*=1.0 湯前町役場*=1.0 水上村岩野*=1.0 人吉市蟹作町*=0.9 多良木町上球磨消防署*=0.9 人吉市西間下町=0.9 天草市有明町*=0.9 天草市五和町*=0.9 熊本西区春日=0.8 熊本南区城南町*=0.8 天草市栖本町*=0.8 あさぎり町深田*=0.7 天草市御所浦町*=0.6 天草市天草町*=0.6 多良木町多良木=0.6 山江村山田*=0.6				
		長崎県 2 雲仙市小浜町雲仙=1.6				
1 南島原市北有馬町*=1.4 南島原市西有家町*=1.3 南島原市布津町*=1.3 雲仙市雲仙出張所*=1.3 南島原市口之津町*=1.0 南島原市深江町*=1.0 雲仙市小浜町北本町*=0.7 長崎市元町*=0.7 島原市有明町*=0.6 諫早市多良見町*=0.6						
鹿児島県 2 長島町鷹巣*=1.8 長島町伊唐島*=1.8 長島町獅子島*=1.6						
1 鹿児島出水市野田町*=1.2 鹿児島出水市高尾野町*=1.0 長島町指江*=1.0 伊佐市大口山野=1.0 伊佐市大口島巢*=1.0 霧島市横川町中ノ*=0.9 鹿児島出水市緑町*=0.8 薩摩川内市中郷=0.8 薩摩川内市東郷町*=0.7 阿久根市鶴見町*=0.6 薩摩川内市神田町*=0.5 阿久根市赤瀬川=0.5 さつま町宮之城保健センタ*=0.5						
宮崎県 1 椎葉村総合運動公園*=0.9 国富町本庄*=0.9 小林市野尻町東麓*=0.8 西都市上の宮*=0.8 椎葉村下福良*=0.8 小林市真方=0.8 宮崎美郷町田代*=0.7 宮崎市霧島=0.7 小林市中原*=0.6						
113	30 22 07	神奈川県西部 神奈川県 山梨県	35° 30.2' N	139° 08.6' E	18km	M: 2.9
1 相模原中央区水郷田名*=1.1 相模原中央区上溝*=0.8						
1 上野原市役所*=0.7						
114	31 20 29	福島県沖 福島県	37° 23.1' N	141° 20.9' E	34km	M: 3.6
2 檜葉町北田*=1.7						
1 大熊町大川原*=1.0 富岡町本岡*=0.9 福島広野町下北迫大谷地原*=0.5 浪江町幾世橋=0.5						
115	31 20 50	三重県北部 三重県	34° 52.5' N	136° 34.3' E	12km	M: 2.0
1 鈴鹿市西条=0.8						
116	31 21 26	福島県沖 福島県	37° 46.4' N	141° 48.7' E	40km	M: 3.7
1 檜葉町北田*=1.1						

● 付録2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数  
 <平成31年（2019年）2月～令和2年（2020年）1月>

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
平成31年/令和元年（2019年）											
2月	82	40	7	1			1			131	「平成30年北海道胆振東部地震」の地震活動 (震度6弱：1回、震度3：1回、震度2：3回、震度1：6回)
3月	93	30	10	5						138	
4月	78	24	8	1						111	
5月	78	30	10	4	2					124	10日 日向灘（震度5弱） 25日 千葉県北東部（震度5弱）
6月	118	51	9	6				1		185	18日 山形県沖（震度6強） 地震活動（震度6強：1回、震度4：1回、震度3：4回、 震度2：8回、震度1：27回）
7月	84	32	13	1						130	
8月	67	24	11	1	1					104	4日 福島県沖（震度5弱）
9月	72	24	9							105	
10月	65	35	6	1						107	
11月	79	34	12	3						128	
12月	99	19	19	4	2					143	12日 宗谷地方北部（震度5弱） 19日 青森県東方沖（震度5弱）
令和2年（2020年）											
1月	68	35	8	5						116	
2020年計	68	35	8	5	0	0	0	0	0	116	
過去1年計	983	378	122	32	5	0	1	1	0	1522	(平成31年2月～令和2年1月)

注) 「記事」の欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または震度1以上を10回以上観測した地震活動について記載した。



● 付録3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数  
 〈平成31年（2019年）2月～令和2年（2020年）1月〉

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
平成31年/令和元年（2019年）								
2月	369	66	14			449	80	
3月	336	69	14	3		422	86	2日 根室半島南東沖（M6.2） 11日 福島県沖（M6.0） 11日 硫黄島近海（M6.1）
4月	414	79	14	2		509	95	11日 三陸沖（M6.2） 18日 台湾付近（M6.5）
5月	337	70	7	1		415	78	10日 日向灘（M6.3）
6月	355	67	7	2		431	76	4日 鳥島近海（M6.2） 18日 山形県沖（M6.7）
7月	316	83	12	3		414	98	13日 奄美大島北西沖（M6.0） 27日 フィリピン付近（M6.0） 28日 三重県南東沖（M6.6）
8月	327	71	9	3		410	83	4日 福島県沖（M6.4） 8日 台湾付近（M6.4） 29日 青森県東方沖（M6.1）
9月	341	57	7			405	64	
10月	320	72	7			399	79	
11月	306	57	6			369	63	
12月	361	98	10	1		470	109	11日 鳥島近海（M6.1）
令和2年（2020年）								
1月	360	65	6			431	71	
2020年計	360	65	6	0	0	431	71	
過去1年計	4142	854	113	15	0	5124	982	（平成31年2月～令和2年1月）

注）日本及びその周辺：原則、北緯20～49度、東経120～154度の範囲。「記事」の欄には主にM6.0以上の地震を記載した。

## ● 付録4. 長周期地震動階級1以上を観測した地震

令和2年1月に、長周期地震動階級\*1以上を観測した地震は1回であった。

平成25年3月～令和2年1月に長周期地震動階級1以上を観測した地震の月別回数

年 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成25年 (2013年)			1	4	1	0	0	1	1	1	1	1	11
平成26年 (2014年)	0	1	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	10
平成27年 (2015年)	0	3	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	9
平成28年 (2016年)	1	0	0	13	1	1	0	2	0	2	4	1	25
平成29年 (2017年)	1	2	0	0	0	1	2	0	1	1	0	1	9
平成30年 (2018年)	1	0	1	1	1	2	2	0	2	2	0	0	12
平成31年 /令和元年 (2019年)	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	6
令和2年 (2020年)	1												1

長周期地震動階級関連解説表

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げもの大きく揺れる。	—
長周期地震動階級2	室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
長周期地震動階級3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
長周期地震動階級4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、地震・火山月報（防災編）令和元年12月号「付録11. 長周期地震動階級関連解説表」を参照。

1. 令和2年1月3日03時23分 千葉県東方沖の地震

長周期地震動階級1以上を観測した地域・観測点

2020年1月3日03時23分 千葉県東方沖 北緯35度48.6分 東経141度06.9分 深さ34km M5.8				
都道府県	長周期地震動階級	地域名称	観測点名称	震度
千葉県	1	千葉県北東部	銚子市川口町	4

長周期地震動階級1以上が観測された地域



長周期地震動階級の凡例: ■ 階級1 ■ 階級2 ■ 階級3 ■ 階級4

## ● 付録5. 緊急地震速報の提供状況

令和2年1月に緊急地震速報（警報）を発表した回数は1回であった。また、緊急地震速報（予報）を発表した回数は60回であった。

### 令和2年1月に発表した緊急地震速報（警報）

地震発生日時	震央地名	マグニチュード（M）	最大震度	予想最大震度	警報発表までの経過時間（秒）
令和2年1月3日03時23分	千葉県東方沖	5.8	4	5弱	9.8

※表中の「予想最大震度」は緊急地震速報（警報）で発表した予想震度の最大値、「警報発表までの経過時間（秒）」は地震検知から緊急地震速報（警報）第1報発表までの経過時間（秒）を示す。

### 平成19年10月～令和2年1月に発表した緊急地震速報の月別回数

年\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成19年（2007年）										0(48)	0(33)	0(39)	0(120)
平成20年（2008年）	0(35)	0(41)	0(48)	1(42)	1(70)	3(75)	2(63)	0(47)	1(58)	0(46)	1(40)	0(57)	9(622)
平成21年（2009年）	0(44)	0(39)	0(34)	0(34)	0(24)	0(54)	0(36)	2(65)	0(47)	1(44)	0(39)	0(47)	3(507)
平成22年（2010年）	0(53)	1(44)	1(50)	0(36)	0(27)	0(35)	0(47)	0(51)	1(40)	1(50)	0(40)	1(34)	5(507)
平成23年（2011年）	0(50)	0(74)	45(1191)	26(770)	5(425)	5(304)	5(248)	3(239)	4(188)	1(163)	2(135)	1(136)	97(3923)
平成24年（2012年）	2(149)	3(141)	3(142)	2(128)	1(129)	3(118)	0(102)	1(107)	0(70)	0(109)	0(77)	1(134)	16(1406)
平成25年（2013年）	0(81)	2(99)	0(53)	3(103)	0(91)	0(83)	0(102)	2(97)	1(61)	0(80)	0(93)	1(67)	9(1010)
平成26年（2014年）	0(70)	0(70)	1(68)	0(62)	0(53)	0(57)	2(97)	1(96)	1(68)	0(84)	1(87)	0(75)	6(887)
平成27年（2015年）	0(67)	1(88)	0(90)	1(77)	3(71)	0(84)	1(74)	0(88)	0(81)	0(92)	1(86)	0(75)	7(973)
平成28年（2016年）	1(76)	0(71)	0(65)	20(228)	1(101)	2(89)	0(95)	0(71)	1(80)	3(92)	2(124)	1(86)	31(1178)
平成29年（2017年）	0(77)	0(72)	0(61)	0(60)	0(52)	1(55)	1(79)	1(73)	2(52)	1(53)	0(57)	1(77)	7(768)
平成30年（2018年）	2(64)	0(61)	1(76)	2(80)	1(52)	2(70)	1(55)	0(58)	2(158)	4(97)	1(68)	0(69)	16(908)
平成31年/令和元年（2019年）	1(66)	1(62)	0(63)	0(88)	1(64)	2(59)	0(59)	1(56)	0(50)	0(72)	0(56)	2(68)	8(763)
令和2年（2020年）	1(60)												1(60)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、（）内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

緊急地震速報（警報及び予報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、国立研究開発法人防災科学技術研究所の地震観測データを利用している。

1. 令和2年01月03日03時23分 千葉県東方沖の地震

発生した地震の概要（暫定値）

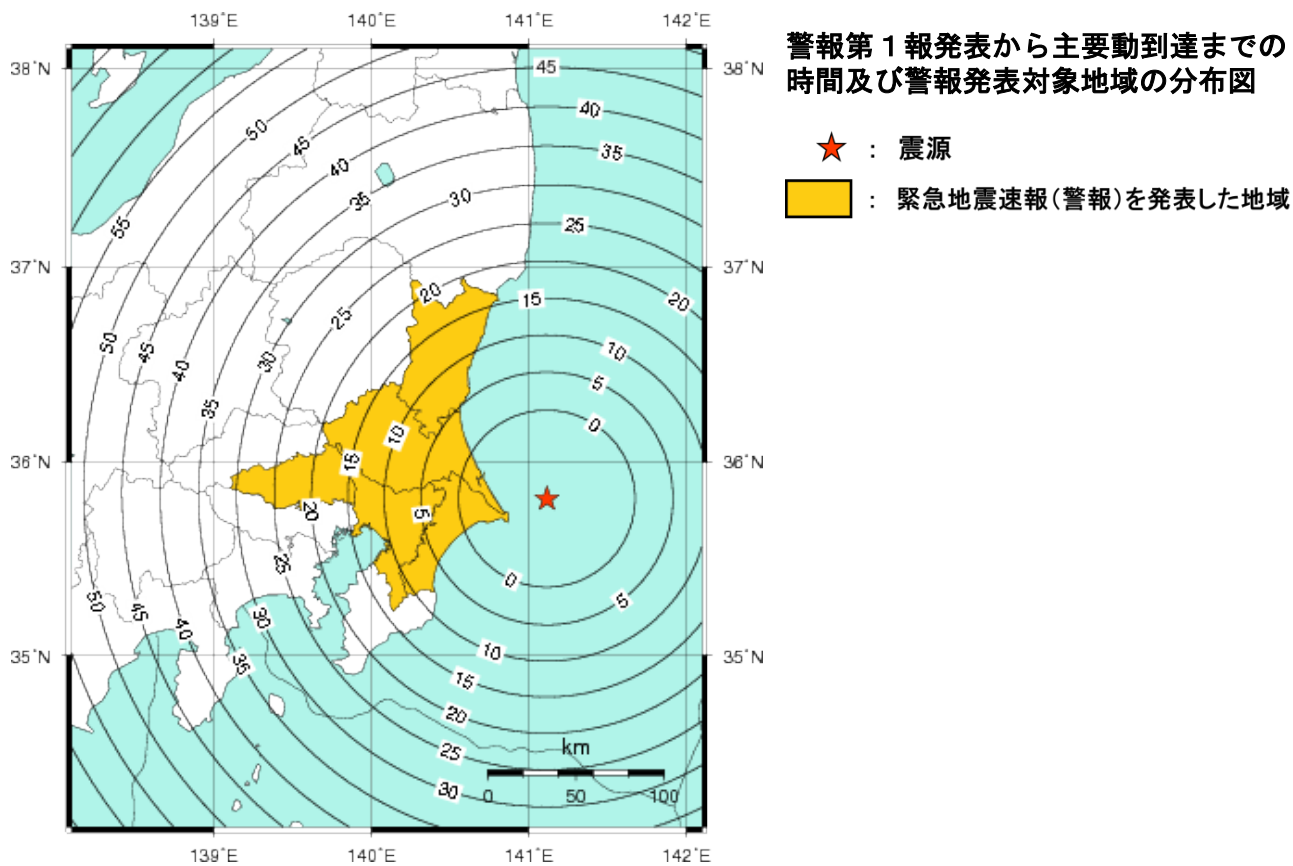
地震発生日時	震央地名	北緯	東経	深さ	M	最大震度
令和2年01月03日 03時23分53.3秒	千葉県東方沖	35° 48.6′	141° 06.9′	34km	5.8	4

緊急地震速報の詳細

提供時刻等		経過時間	震源要素					予測震度
地震波検知時刻			震央地名	北緯	東経	深さ	M	
第1報	03時24分04.5秒	4.4	千葉県東方沖	35.8	141.0	10km	5.3	※1
第2報	03時24分05.9秒	5.8	千葉県東方沖	35.8	141.0	10km	4.7	最大震度3程度以上
第3報	03時24分06.0秒	5.9	千葉県東方沖	35.8	141.0	30km	5.6	※2
第4報	03時24分06.6秒	6.5	千葉県東方沖	35.8	141.0	30km	5.7	※3
第5報	03時24分07.5秒	7.4	千葉県東方沖	35.8	141.1	30km	5.1	※4
第6報	03時24分08.3秒	8.2	千葉県東方沖	35.8	141.1	30km	5.5	※1
第7報	03時24分09.8秒	9.7	千葉県東方沖	35.8	141.0	30km	5.5	※5
第8報	03時24分09.8秒	9.7	千葉県東方沖	35.8	141.0	30km	5.8	※3
<b>第9報</b>	<b>03時24分09.9秒</b>	<b>9.8</b>	<b>千葉県東方沖</b>	<b>35.8</b>	<b>141.0</b>	<b>30km</b>	<b>5.8</b>	<b>※6</b>
第10報	03時24分10.0秒	9.9	千葉県東方沖	35.8	141.1	30km	5.8	※3
第11報	03時24分10.3秒	10.2	千葉県東方沖	35.8	141.1	30km	5.8	※3
第12報	03時24分10.4秒	10.3	千葉県東方沖	35.8	141.0	30km	5.8	※6
第13報	03時24分11.4秒	11.3	千葉県東方沖	35.8	141.0	30km	6.0	※7
第14報	03時24分18.6秒	18.5	千葉県東方沖	35.8	141.0	30km	5.5	※5
第15報	03時24分19.2秒	19.1	千葉県東方沖	35.8	141.0	30km	5.7	※3
第16報	03時24分21.8秒	21.7	茨城県沖	35.9	141.0	30km	5.9	※8
第17報	03時24分22.1秒	22.0	茨城県沖	35.9	141.0	30km	6.0	※9
第18報	03時24分30.4秒	30.3	茨城県沖	35.9	141.0	30km	6.0	※9
第19報	03時24分47.9秒	47.8	茨城県沖	35.9	141.0	20km	6.1	※10
第20報	03時24分50.9秒	50.8	茨城県沖	35.9	141.0	20km	6.1	※10
第21報	03時24分52.0秒	51.9	茨城県沖	35.9	141.0	20km	6.1	※10

- ※1 震度4程度 千葉県北東部、茨城県南部
- ※2 震度4程度 千葉県北東部、茨城県南部、茨城県北部
- ※3 震度4程度 千葉県北東部、茨城県南部、茨城県北部、千葉県北西部
- ※4 震度4程度 茨城県南部
- ※5 震度4程度 千葉県北東部、茨城県南部  
震度3から4程度 茨城県北部
- ※6 震度4から5弱程度 茨城県南部  
震度4程度 千葉県北東部、茨城県北部、千葉県北西部  
震度3から4程度 埼玉県南部
- ※7 震度5弱程度 茨城県南部  
震度4程度 千葉県北東部、茨城県北部、千葉県北西部、埼玉県南部  
震度3から4程度 埼玉県北部
- ※8 震度5弱程度 茨城県南部  
震度4程度 千葉県北東部、茨城県北部、千葉県北西部、埼玉県南部
- ※9 震度5弱程度 茨城県南部

- 震度4程度           千葉県北東部、茨城県北部、千葉県北西部、埼玉県南部
- 震度3から4程度   栃木県南部、埼玉県北部
- ※10 震度5弱程度   茨城県南部
- 震度4から5弱程度 千葉県北東部
- 震度4程度           茨城県北部、千葉県北西部、栃木県南部、埼玉県南部、埼玉県北部



● 付録6. 地震・火山月報（防災編）で用いる震央地名

